



MB2338、MX321、MFP

ユーザーズガイド

2024 年 7 月

www.lexmark.com

機種タイプ:

7017

モデル:

276, 278

目次

安全に関する情報.....	6
表記規則.....	6
製品ステートメント.....	6
プリンタについての確認.....	9
プリンタに関する情報を見つける.....	9
プリンタのシリアル番号を確認する.....	10
プリンタの設置場所を選択する.....	10
プリンタ構成.....	11
ケーブルを接続する.....	12
操作パネルを使用する.....	13
電源ボタンとインジケータランプの状態について理解する.....	14
用紙と特殊用紙をセットする.....	15
特殊用紙のサイズと種類を設定する.....	15
ユニバーサル用紙を設定する.....	15
用紙をトレイにセットする.....	15
手差しトレイに用紙をセットする.....	17
トレイのリンク.....	18
用紙サポート.....	19
サポートされている用紙サイズ.....	19
サポートされている用紙タイプ.....	21
サポートされている用紙重量.....	21
使用できない用紙.....	21
再生紙を使用する.....	22
印刷.....	23
コンピュータから印刷する.....	23
モバイルデバイスから印刷する.....	23
フォントサンプルリストを印刷する.....	24
コピー.....	25
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	25
コピーを作成する.....	25

写真をコピーする.....	25
レターヘッド紙にコピーする.....	26
用紙の両面にコピーする.....	26
コピーを縮小または拡大する.....	26
部単位でコピーする.....	26
コピーの区切りとして挿入紙を挿入する.....	27
1枚の用紙に複数ページをコピーする.....	27
コピー・ショートカットを作成する.....	27
E メールで送信する.....	28
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	28
E メール SMTP 設定を構成する.....	28
E メールショートカットを作成する.....	35
ショートカット番号を使用して E メールを送信する.....	36
FAX.....	37
プリンタを設定して Fax を送信する.....	37
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	44
FAX を送信する.....	44
FAX をスケジュール設定する.....	45
FAX 宛先のショートカットを作成する.....	46
FAX の解像度変更.....	46
FAX の濃度を調整する.....	46
FAX ログを印刷する.....	47
迷惑 FAX のブロック.....	47
FAX の保留.....	47
Fax の転送.....	47
スキャン.....	49
自動原稿フィーダーと原稿台を使用する.....	49
コンピュータへのスキャン.....	49
FTP ショートカットを作成する.....	50
ネットワークフォルダのショートカットを作成する.....	51
ショートカット番号を使用して FTP サーバーにスキャンする.....	51
プリンタメニューを理解する.....	52
メニュー・マップ.....	52

デバイス.....	53
印刷.....	62
用紙.....	69
コピー.....	71
FAX.....	75
E メール.....	84
FTP.....	91
ネットワーク/ポート.....	95
セキュリティ.....	106
レポート.....	110
ヘルプ.....	112
問題に対処する.....	112
メニュー設定ページを印刷する.....	112
プリンタを保護する.....	113
セキュリティスロットの場所.....	113
プリンタメモリを消去する.....	113
工場出荷状態に復元する.....	114
データの揮発性に関する注意.....	114
プリンタのメンテナンス.....	115
ネットワーク.....	115
プリンタ部品の清掃.....	118
部品と消耗品を注文する.....	121
消耗品を交換する.....	124
プリンタを移動する.....	136
電力と用紙を節約する.....	137
リサイクル.....	138
紙詰まりを取り除く.....	140
紙詰まりを防止する.....	140
紙詰まりの場所を確認する.....	141
ドア A の紙詰まり.....	142
背面ドアの紙詰まり.....	146
標準排紙トレイの紙詰まり.....	147
両面印刷ユニット内の紙詰まり.....	148
トレイの紙詰まり.....	149

多目的フィーダの紙詰まり.....	149
ADF(自動原稿フィーダー)内の紙詰まり.....	150
問題に対処する.....	152
印刷品質の問題.....	152
印刷の問題.....	153
ネットワーク接続の問題.....	180
内蔵オプションの問題.....	181
消耗品の問題.....	182
給紙の問題.....	183
E メールの問題.....	186
FAX に関するトラブル.....	187
スキャンに関するトラブル.....	192
カスタマサポートに問い合わせる.....	196
アップグレードと移行.....	198
ハードウェア.....	198
ソフトウェア.....	203
ファームウェア.....	205
通知.....	207
索引.....	214

安全に関する情報

表記規則

メモ: メモは、役立つ情報を示します。

注意: 注意は、製品本体またはソフトウェアに障害を与える可能性のある場合を示します。

警告: 警告は、人体に損傷を与える可能性のある、潜在的に危険な状況を示します。

以下の警告文があります。

 **注意—傷害の恐れあり:** 損傷の危険性を示します。

 **注意—感電危険:** 感電の危険性を示します。

 **注意—表面高温:** 接触した場合、火傷を起こす危険性を示します。

 **注意—転倒危険:** 押しつぶしの危険性を示します。

 **注意—挟み込み危険:** 動作している部品の間に挟まれる危険があることを示します。

製品ステートメント

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品の近くにあって簡単にアクセスでき、正しく接地され、定格を守ったコンセントに電源コードを接続してください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 本製品をご使用の際は、延長コードや、複数コンセントの電源タップ、多口の延長プラグ、UPS 機器に接続しないでください。このようなタイプのアクセサリは、レーザープリンタを接続すると簡単に電力容量を超過してしまい、火災、機器の故障、プリンタの性能低下などの原因になる可能性があります。

 **注意—傷害の恐れあり:** 本製品とともに使用できるのは、プリンタと付属の電源コードの間に適切に接続できる Lexmark インラインサービスプロテクタのみです。Lexmark 以外のサービスプロテクタを使用すると、火災、物的損傷、プリンタの性能低下などが起こるおそれがあります。

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル(RJ-11)のみを使用してください。オーストラリアで使用する場合、ケーブルはオーストラリア通信メディア庁によって承認されているものである必要があります。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷雨時には、本製品のセットアップや、電源コード、FAX、電話など、電気的な接続を行わないでください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 電源コードを切断したり、結んだり、束ねたり、傷を付けたりしないでください。また、コードの上に重いものを置いたりしないでください。電源コードがこすれたり、引っ張られたりする状態で使用しないでください。電源コードを家具や壁などの間に挟まないでください。以上のことを守らないと、火災や感電の原因になる恐れがあります。電源コードが以上の状態になっていないか、定期的に確認してください。確認の前には、電源コードをコンセントから抜いてください。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、イーサネットおよび電話線の接続など、すべての外部接続が表示どおりのポートに正しく行われていることを確認してください。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの設置後にコントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアやメモリデバイスを取り付ける場合、作業を行う前にプリンタの電源を切り、コンセントから電源コードを抜いてください。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、雷のときは、FAXを使用しないでください。

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの外側の掃除を始める前に電源コードをコンセントから抜き、プリンタのすべてのケーブルを外します。

 **注意—傷害の恐れあり:** プリンタの重量が 20 kg(44 ポンド)以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。

 **注意—傷害の恐れあり:** プリンタを移動するときは、けがやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- すべてのドアとトレイが閉じられていることを確認します。
- プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- プリンタからコードやケーブル類をすべて取り外します。
- プリンタに別途フロアスタンド型オプショントレイまたは排紙オプションが取り付けられている場合は、それらを取り外してからプリンタを移動します。
- プリンタにキャスターベースがある場合は、慎重に新しい場所に移動します。しきいや床の割れ目を通るときは注意してください。
- プリンタにキャスターベースがなく、オプションのトレイまたは排紙オプションで構成されている場合は、排紙オプションを取り外してからプリンタをトレイから取り外します。どのオプションの場合も、プリンタと同時に持ち上げないでください。
- 必ずプリンタの持ち手を使用してプリンタを持ち上げます。
- プリンタの移動に台車を使用する場合は、プリンタの底面全体を載せられる台車を使用してください。
- オプションの移動に台車を使用する場合は、オプション全体を載せられる台車を使用してください。
- プリンタは直立状態に保ってください。
- 急激な動きは避けてください。
- 下に置くときにプリンタの下に指が入らないようにしてください。
- プリンタの周囲に十分なスペースがあることを確認します。

 **注意—転倒危険:** プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスターベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

 **注意—転倒危険:** 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

 **注意—表面高温:** プリンタの内部は高温になっている場合があります。高温になったコンポーネントで火傷などを負わないように、表面が冷えてから触れてください。

 **注意—挟み込み危険:** 挟み込みを防止するため、このラベルが貼られている作業領域では、十分注意してください。挟み込みによる負傷は、ギア、ドア、トレイ、およびカバーなどの動作している部品の周りで起こる可能性があります。

 **注意—傷害の恐れあり:** 本製品はレーザーを使用しています。『ユーザーズガイド』に記載されている手順以外の制御、調整などを行うと、有害な放射にさらされる恐れがあります。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: この製品に使用されているリチウム電池は、交換を前提としていません。リチウム電池の交換を誤ると破裂する危険性があります。リチウム電池の再充電、分解、焼却は行わないでください。使用済みのリチウム電池を廃棄する際は、製造元の指示およびお使いの地域の法律に従ってください。

本機は、特定のメーカーのコンポーネントとともに使用した場合に、安全性に関する厳しい世界標準を満たすように設計、テスト、承認されています。一部の部品の安全性に関する機能は開示されていない場合があります。メーカーは、他の交換部品の使用については責任を負わないものとします。

取扱説明書に記載以外の事項については、サービス担当者にお尋ねください。

本製品は印刷処理において印刷用紙を加熱するため、この熱が原因で用紙から有害ガスが発生する可能性があります。操作説明書に記載されている、用紙選択についてのセクションをよく読み、有害ガスが放出されないようにしてください。

この製品は、通常の操作中に少量のオゾンが発生する可能性があるため、推奨される被爆制限値をはるかに下回るレベルまでオゾンの濃度を抑制するよう設計されたフィルタが取り付けられています。非常に頻繁に使用してもオゾンの濃度レベルが高くならないよう、この製品は換気のよいエリアに設置し、製品の保守説明に記載されているとおりに、オゾンおよび排気フィルタを交換してください。フィルタに関する記述が製品の保守説明に見当たらない場合、この製品には交換が必要なフィルタが搭載されていないことを意味します。

この手引きを大切に保管してください。

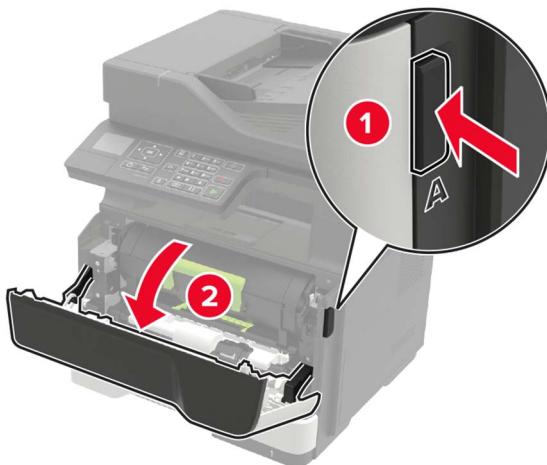
プリンタについての確認

プリンタに関する情報を見つける

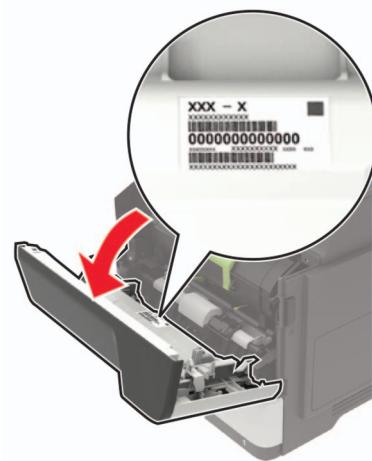
検索する場所	入手先
初期設定の手順	<p>詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ プリンタソフトウェア ・ 印刷または FAX ドライバ ・ プリンタファームウェア ・ ユーティリティ
<ul style="list-style-type: none"> ・ 用紙および特殊用紙を選択して保存する ・ 用紙をセットする ・ プリンタ設定を構成する ・ ドキュメントおよび写真を表示して印刷する ・ ネットワーク上でプリンタを構成する ・ プリンタの手入れと保守を実施する ・ 問題に対処して解決する 	<p>インフォメーションセンター—https://infoserve.lexmark.com にアクセスします。 使い方ビデオ—https://infoserve.lexmark.com/idv/ を参照してください。 [ヘルプ]メニュー—プリンタのファームウェアのガイドを参照するか、 http://support.lexmark.com を参照してください。 タッチ画面ガイド—http://support.lexmark.com を参照してください。</p>
プリンタのユーザー補助機能のセットアップと設定	Lexmark アクセシビリティガイド— http://support.lexmark.com を参照してください。
プリンタソフトウェアの使用に関するヘルプ情報	<p>Microsoft Windows または Macintosh のオペレーティングシステムのヘルプ—プリンタソフトウェアプログラムまたはアプリケーションを開き、[ヘルプ]をクリックします。</p> <p> をクリックすると、状況に対応した情報が表示されます。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヘルプシステムはプリンタソフトウェアとともに自動的にインストールされます。 ・ オペレーティングシステムに応じて、プリンタソフトウェアは、プリンタのプログラムフォルダまたはデスクトップにあります。
<ul style="list-style-type: none"> ・ マニュアル ・ ライブチャットサポート ・ E メールサポート ・ 電話サポート 	<p>http://support.lexmark.com を参照してください。</p> <p>メモ: 国または地域を選択してから、製品を選択し、該当するサポートサイトを表示します。お住まいの国または地域を担当するサポートの連絡先情報については、Web サイトまたはプリンタに同梱されている書面の保証書をご確認ください。</p> <p>カスタマサポートにお問い合わせの際には、次の情報を手元に用意しておいてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ご購入の場所と日付 ・ プリンタタイプとシリアル番号 <p>詳細については、「プリンタのシリアル番号を確認する」、10 ページ を参照してください。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全情報 ・ 規制情報 ・ 保証情報 ・ 環境情報 	<p>保証情報は国または地域によって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米国—プリンタに同梱されている『限定保証宣言』を参照するか、 http://support.lexmark.com を参照してください。 ・ その他の国および地域—プリンタに同梱されている書面の保証書をご覧ください。 <p>『製品情報ガイド』—詳細については、プリンタに同梱されているマニュアルを参照するか、 http://support.lexmark.com を参照してください。</p>

プリンタのシリアル番号を確認する

- 正面ドアを開きます。



- 正面ドアの後ろにあるプリンタのシリアル番号を確認します。



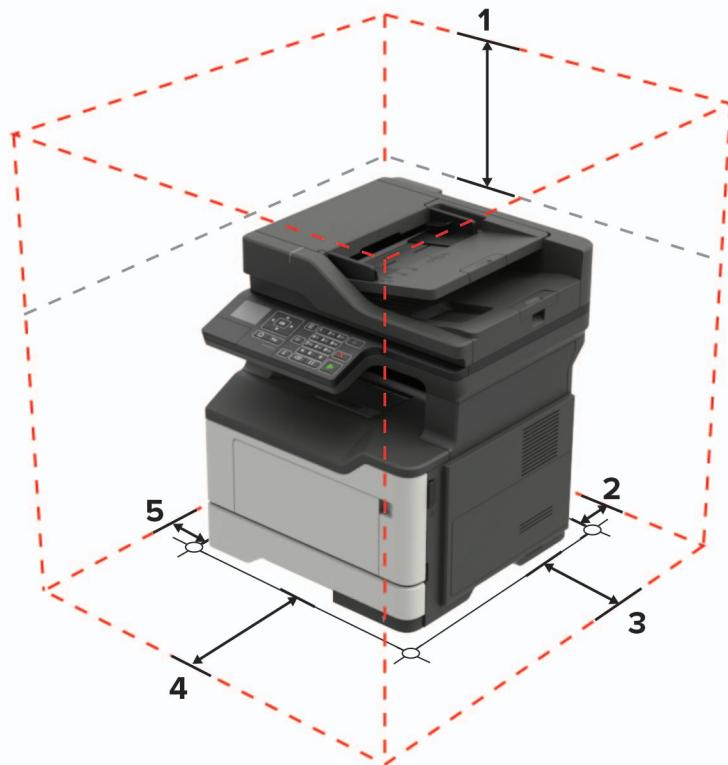
プリンタの設置場所を選択する

- トレイ、カバー、ドアを開くためのスペースを十分確保し、ハードウェアオプションを取り付けます。
- プリンタをコンセントの近くにセットします。
注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。
- 注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、本製品を水に濡れる恐れのある場所に置いたり、そのような場所で使用しないでください。
- 室内の空気の流れが最新版の ASHRAE 62 基準または CEN Technical Committee 156 基準を満たしていることを確認します。
- 設置面が平らかつ丈夫で、安定していることを確認します。

- プリンタを以下の状態に保ちます。
 - 清潔で乾燥した、ほこりのない状態にする。
 - ホチキスの針や紙クリップを近くに置かない。
 - エアコン、ヒーター、換気装置の風が直接当たらないようにする。
 - 直射日光、極度の湿気を避ける。
- 推奨温度になるように観察し、変動しないようにする。

周辺温度	10 ~ 32°C(50 ~ 90°F)
保管温度	0 ~ 40°C(32 ~ 104°F)

- 適切な通気を保つために、プリンタの周囲に以下のスペースを確保することをお勧めします。



1	上部	540 mm(21 インチ)
2	背面	203 mm(8 インチ)
3	右側	305 mm(12 インチ)
4	正面	510 mm(20 インチ)
メモ: プリンタの前面に必要な最小スペースは 76 mm(3 インチ)です。		
5	左側	203 mm(8 インチ)

プリンタ構成

⚠ 注意—転倒危険: プリンタまたは MFP に 1 つ以上のオプションを取り付ける場合は、けがを防ぐためにキャスターベース、ファニチャ、または他のフィーチャを使用して安定させる必要があります。サポートされる構成の詳細については、www.lexmark.com/multifunctionprinters を参照してください。

⚠ 注意—転倒危険: 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットしてください。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

オプションの 250 枚または 550 枚トレイを追加して、プリンタを構成できます。詳細については、「[オプショントレイを取り付ける](#)」、202 ページ を参照してください。



1	操作パネル
2	自動原稿フィーダー(ADF)
3	標準排紙トレイ
4	コントローラボードのアクセスカバー
5	標準の 250 枚トレイ
6	オプションの 250 または 550 枚トレイ
7	多目的フィーダー
8	ドア A

ケーブルを接続する

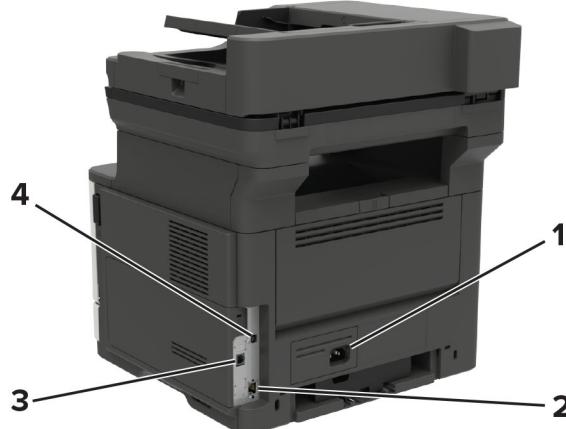
⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、雷雨時には、本機のセットアップ、電源コード、FAX 機能などの電気的接続、電話などとのケーブル接続を行わないでください。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。

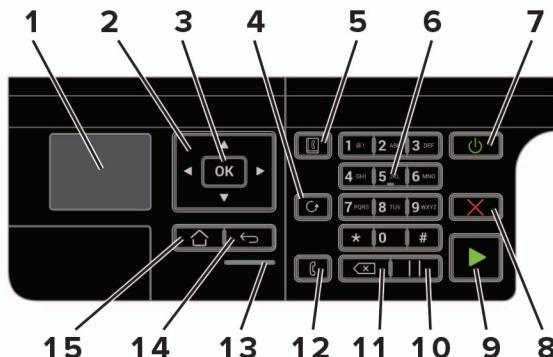
⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル(RJ-11)のみを使用してください。オーストラリアのお客様は、オーストラリア通信メディア庁(Australian Communications and Media Authority)が承認するケーブルを必ず使用してください。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作の発生を防ぐため、印刷を実行している間は、USB ケーブル、ワイヤレスネットワークアダプタ、またはプリンタの以下のエリアに触れないでください。



	項目	目的
1	電源コードソケット	プリンタを正しく接地されたコンセントに接続します。
2	イーサネットポート	プリンタをネットワークに接続します。
3	LINE ポート	標準壁ジャック (RJ-11)、DSL フィルタ、または VoIP アダプタ、または FAX を送受信するために電話回線にアクセスできるその他のアダプタ経由で、プリンタをアクティブな電話回線に接続します。
4	USB プリンタポート	プリンタをコンピュータに接続します。

操作パネルを使用する



	項目	目的
1	ディスプレイ	印刷オプション、プリンタの状態、エラーメッセージを表示します。
2	[矢印]ボタン	メニューをスクロールするか、画面とメニュー/オプション間を移動します。

項目	目的
3 [選択]ボタン	<ul style="list-style-type: none"> メニューオプションを選択します。 設定を保存します。
4 [リダイヤル]ボタン	最後にダイヤルした番号を表示します。
5 [アドレス帳]ボタン	保存されているショートカットを表示します。
6 数値キーパッド	入力欄に数字または記号を入力します。
7 [スリープ]ボタン	スリープモードを有効にします。 メモ: スリープモードを有効にするには、ボタンを 2 回押します。
8 [ストップ]または[キャンセル]ボタン	現在のプリンタのタスクを停止します。
9 [スタート]ボタン	選択されているモードに応じて、プリンタのタスクを開始します。
10 [ポーズ]ボタン	FAX 番号にダイヤルポーズを入れます。
11 バックスペースボタン	カーソルを後ろに移動し、入力欄の文字を削除します。
12 [FAX]ボタン	FAX を送信します。
13 インジケータランプ	プリンタの状態をチェックします。
14 [戻る]ボタン	前の画面に戻ります。
15 [ホーム]ボタン	ホーム画面に移動します。

電源ボタンとインジケータランプの状態について理解する

インジケータランプ	プリンタの状態
オフ	プリンタがオフまたは休止モードです。
青	プリンタは、準備ができているかデータの処理中です。
赤	ユーザーによるプリンタ操作が必要です。

電源ボタンのランプ	プリンタの状態
オフ	プリンタはオフか、準備ができているか、データの処理中です。
黄色で点灯	プリンタはスリープモードです。
黄色で点滅	プリンタは休止モードです。

用紙と特殊用紙をセットする

特殊用紙のサイズと種類を設定する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

【Home】> [設定] > 【OK】> [用紙] > 【OK】> [トレイ構成設定] > 【OK】> [用紙サイズ/タイプ] > 【OK】

2 紙給源を選択し、普通紙以外の用紙のサイズとタイプを設定します。

ユニバーサル用紙を設定する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

【Home】> [設定] > 【OK】> [用紙] > 【OK】> [用紙設定] > 【OK】> [ユニバーサル設定] > 【OK】

2 [縦長の幅]または[縦長の高さ]を選択し、【OK】を押します。

3 設定を調整して、【OK】を押します。

用紙をトレイにセットする

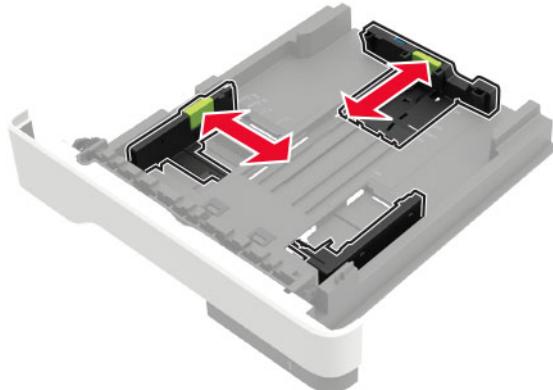
 **注意—転倒危険:** 本機が不安定にならないように、用紙トレイは個別にセットします。その他のすべてのトレイは必要になるまで閉じた状態にします。

1 トレイを取り外します。

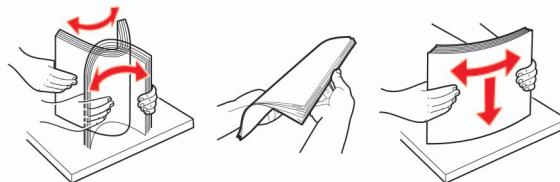
メモ: 紙詰まりを防ぐために、プリンタがビジー状態の間はトレイを取り外さないでください。



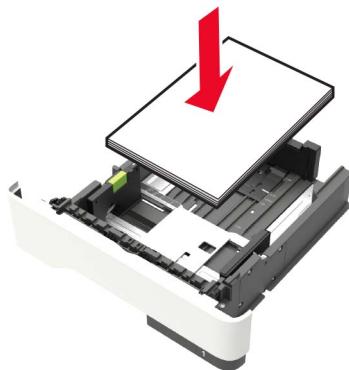
2 セットする用紙のサイズに合わせて用紙ガイドを調整します。



3 用紙をほぐし、パラパラとめくってから端をそろえ、用紙をセットします。



4 印刷面を下にして、用紙の束をセットしたら、用紙ガイドが用紙にぴったりと合っていることを確認します。



メモ:

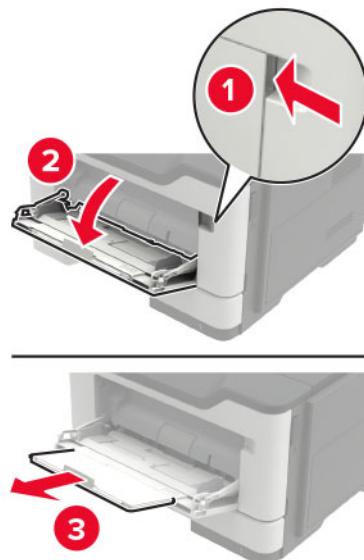
- 片面印刷する場合は、レターヘッド紙の上端がトレイの正面を向くように下向きにセットします。
- 両面印刷する場合は、レターヘッド紙の下端がトレイの正面を向くように上向きにセットします。
- トレイに用紙を滑らせて入れないでください。
- 紙詰まりを避けるために、重ねた用紙の高さが、給紙上限マークを超えないようにします。

5 トレイを挿入します。

必要に応じて、セットした用紙に合わせて、操作パネルから用紙サイズと用紙タイプを設定します。

手差しトレイに用紙をセットする

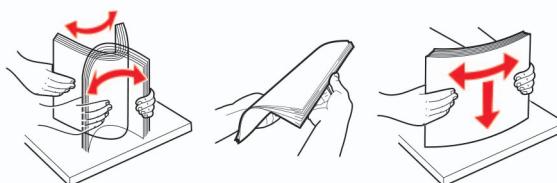
1 手差しトレイを開きます。



2 セットする用紙のサイズに合わせてガイドを調整します。



3 用紙をほぐし、パラパラとめくってから端をそろえ、用紙をセットします。



4 印刷面を上に向けて用紙をセットします。

メモ:

- 片面印刷する場合は、レターヘッド紙の上端がトレイの正面を向くように上向きにセットします。
- 両面印刷する場合は、レターヘッド紙の下端がトレイの正面を向くように下向きにセットします。
- 封筒は、フラップ面を左側にして下向きにセットします。
- ヨーロッパサイズの封筒は、フラップ面を下にして、フラップからプリンタに給紙されるようにセットします。

警告—破損の恐れあり: 切手、留め金、スナップ、窓、つや出し加工された内張り、封かん用口糊の付いた封筒は使用しないでください。

- 5 操作パネルから用紙サイズと用紙タイプを設定し、セットされた用紙に一致させます。

トレイのリンク

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [用紙] > [OK] > [トレイ構成設定] > [OK] > [用紙サイズ/タイプ] > [OK]

- 2 リンクしているトレイと同じ用紙サイズと用紙タイプを設定します。

- 3 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [デバイス] > [OK] > [メンテナンス] > [OK] > [構成設定メニュー] > [OK] > [トレイ構成設定]
> [OK]

- 4 同一用紙サイズのトレイのリンクを[自動]に設定します。

トレイとのリンクを解除するには、同じ用紙サイズと用紙タイプの設定を持つトレイが他にないことを確認してください。

警告—破損の恐れあり: フューザーの温度は、指定した用紙タイプによって異なります。印刷の問題を回避するには、プリンタの用紙タイプの設定をトレイにセットした用紙に合わせます。

用紙サポート

サポートされている用紙サイズ

用紙サイズ	トレイ	多目的フィーダー	両面印刷	ADF	原稿台
A4 210 x 297 mm (8.3 x 11.7 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓
A5 210 x 148 mm (8.3 x 5.8 インチ)	✓	✓	✗	✓	✓
A5 LEF¹ 148 x 210 mm (5.8 x 8.3 インチ)	✓	✓	✗	✓	✓
A6¹ 105 x 148 mm (4.1 x 5.8 インチ)	✓	✓	✗	✓	✓
JIS B5 182 x 257 mm (7.2 x 10.1 インチ)	✓	✓	✗	✓	✓
オフィシオ(メキシコ) 216 x 340 mm (8.5 x 13.4 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓
はがき 100 x 148 mm (3.9 x 5.8 インチ)	✗	✓	✗	✗	✓
名刺 50.8 x 88.9 mm (2 x 3.5 インチ)	✗	✗	✗	✗	✓
ステートメント 140 x 216 mm (5.5 x 8.5 インチ)	✓	✓	✗	✓	✓
エグゼクティブ 184 x 267 mm (7.3 x 10.5 インチ)	✓	✓	✗	✓	✓
レター 216 x 279 mm (8.5 x 11 インチ)	✓	✓	✓	✓	✓

¹ この用紙サイズは、オプショントレイではサポートされていません。

² この給紙源は最大 216 x 297 mm(8.5 x 11.7 インチ)までの用紙サイズをサポートしています。

用紙サイズ	トレイ	多目的フィーダー	両面印刷	ADF	原稿台
リーガル 216 x 356 mm (8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✓	✓	✗
フォリオ 216 x 330 mm (8.5 x 13 インチ)	✓	✓	✓	✓	✗
ユニバーサル 76.2 x 127 mm ~ 216 x 356 mm (3 x 5 インチ~ 8.5 x 14 インチ)	✓	✓	✗	✓	✓ ²
7 3/4 封筒(モナーク) 98 x 191 mm (3.9 x 7.5 インチ)	✗	✓	✗	✗	✓
9 封筒 98 x 225 mm (3.9 x 8.9 インチ)	✗	✓	✗	✗	✓
10 封筒 105 x 241 mm (4.1 x 9.5 インチ)	✗	✓	✗	✗	✓
DL 封筒 110 x 220 mm (4.3 x 8.7 インチ)	✗	✓	✗	✗	✓
C5 封筒 162 x 229 mm (6.4 x 9 インチ)	✗	✓	✗	✗	✓
B5 封筒 176 x 250 mm (6.9 x 9.8 インチ)	✗	✓	✗	✗	✓
その他 封筒 76.2 x 127 mm ~ 216 x 356 mm (3 x 5 インチ~ 8.5 x 14 インチ)	✗	✓	✗	✗	✓
¹ この用紙サイズは、オプショントレイではサポートされていません。					
² この給紙源は最大 216 x 297 mm(8.5 x 11.7 インチ)までの用紙サイズをサポートしています。					

サポートされている用紙タイプ

サポートされている用紙タイプ

用紙タイプ	トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
普通紙	✓	✓	✓
厚紙	✗	✓	✗
OHP フィルム	✓	✓	✗
再生紙	✓	✓	✓
ラベル紙 ¹	✓	✓	✗
ボンド紙 ²	✓	✓	✓
レターヘッド紙	✓	✓	✓
事前印刷用紙	✓	✓	✓
カラー用紙	✓	✓	✓
軽量紙	✓	✓	✓
重量紙 ²	✓	✓	✓
ラフ/コットン紙	✓	✓	✓
封筒	✗	✓	✗
ラフ紙封筒	✗	✓	✗

¹ レーザープリンタ専用の片面のラベル用紙は、少量であれば使用できます。印刷する枚数は、毎月 20 ページ以下を推奨します。ビニールラベル、薬瓶ラベル、および両面ラベルはサポートされていません。

² 両面印刷では、最大 90 g/m²(24 ポンド)の重さのボンド紙および重量紙がサポートされています。

サポートされている用紙重量

	トレイ	多目的フィーダー	両面印刷
用紙の重量	60 ~ 120 g/m ² (16 ~ 32 ポンド)	60 ~ 216 g/m ² (16 ~ 58 ポンド)	60 ~ 90 g/m ² (16 ~ 24 ポンド)

使用できない用紙

次の種類の用紙は、プリンタで使用しないでください。

- カーボン紙なしでコピーの作成に使用される化学処理済みの用紙。これらは、ノーカーボン紙、感圧複写紙(CCP)、カーボン不要(NCR)紙とも呼ばれます。
- プリンタを汚染する可能性のある化学薬品を使用して事前印刷された用紙。

- プリンタファーザーの温度の影響を受ける可能性のある事前印刷用紙。
- $\pm 2.3\text{ mm} (\pm 0.09\text{ インチ})$ よりも高い精度で位置合わせする必要がある事前印刷用紙。例えば、光学式文字認識(OCR)フォームなどです。
場合によっては、ソフトウェアアプリで位置合わせを調整することで、このようなフォームにも正常に印刷できます。
- コート紙(消去可能ボンド紙)、合成紙、または感熱紙。
- 縁がぎざぎざな用紙、表面のきめが粗い用紙、ざらつきのある用紙、カールした用紙。
- EN12281:2002(欧州)に準拠していない用紙。
- 重量が 60 g/m^2 (16 ポンド)未満の用紙。
- マルチパートフォームまたはマルチパートドキュメント。

再生紙を使用する

Lexmark は、さまざまなオプションをお客様に提供することで、紙の使用による環境負荷の低減に取り組んでいます。これを実現する方法の一つが、再生紙を使用できるか確認するために製品をテストすることです。具体的には、30%、50%、100% の再生紙をテストできます。Lexmark は、再生紙がバージンパルプを使用する用紙と同等の性能をプリンタで発揮できるように取り組んでいます。オフィス機器での用紙利用に関する公式な規格は存在しませんが、Lexmark は欧州規格 EN 12281 を最低限の特性基準として用いています。広範なテストを行うことができるよう、テストのための用紙には北米、ヨーロッパ、アジアの 100% 再生紙を使用し、試験は相対湿度 8~80% で実施されています。両面印刷についてもテストを行っています。再生可能素材、リサイクル素材、非塩素系素材を使用した事務用の用紙を使用できます。

印刷

コンピュータから印刷する

メモ: ラベル紙、厚紙、封筒の場合、プリンタで用紙のサイズとタイプを設定してからドキュメントを送信してください。

- 1 印刷するドキュメントで、[印刷]ダイアログボックスを開きます。
- 2 必要に応じて、設定を調整します。
- 3 ドキュメントを印刷します。

モバイルデバイスから印刷する

Lexmark モバイル印刷を使用してモバイルデバイスから印刷する

Lexmark モバイル印刷を使用してモバイルデバイスから印刷する

Lexmark™ モバイル印刷では、サポートされている Lexmark プリンタにドキュメントや画像を直接送信できます。

- 1 ドキュメントを開いてから、ドキュメントを Lexmark モバイル印刷に送信または共有します。
メモ: サードパーティ製アプリケーションの中には、送信機能または共有機能をサポートしていないものもあります。詳細については、アプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。
- 2 プリンタを選択します。
- 3 ドキュメントを印刷します。

Mopria プリントサービスを使用してモバイルデバイスから印刷する

Mopria® プリントサービスは、Android™ バージョン 5.0 以降が実行されているモバイルデバイス用の、モバイル印刷ソリューションです。お好きな Mopria 認定プリンタへ直接印刷できます。

メモ: 必ず、Google Play™ ストアから Mopria プリントサービスアプリケーションをダウンロードし、モバイルデバイスで有効にしてください。

- 1 Android モバイルデバイスで対応アプリケーションを起動するか、ファイルマネージャでドキュメントを選択します。
- 2 > [印刷]をタップします。
- 3 プリンタを選択し、必要に応じて設定を調整します。
- 4 をタップします。

AirPrint を使用してモバイルデバイスから印刷する

AirPrint ソフトウェア機能は、Apple デバイスから AirPrint 認定プリンタへ直接印刷することができる、モバイル印刷ソリューションです。

メモ:

- Apple デバイスとプリンタが同じネットワークに接続していることを確認しますネットワークが複数のワイヤレス ハブに接続している場合、両方のデバイスが同じサブネットに接続されていることを確認します。
- このアプリケーションは、一部の Apple デバイスのみでサポートされています。

1 モバイルデバイスで、ファイルマネージャからドキュメントを選択するか、互換性のあるアプリケーションを起動します。

2  > [印刷]をタップします。

3 プリンタを選択し、必要に応じて設定を調整します。

4 ドキュメントを印刷します。

Wi-Fi Direct® を使用してモバイルデバイスから印刷する

wifi ダイレクト® は、お好きな wifi ダイレクト対応のプリンタへ印刷することができる、印刷サービスです。

メモ: モバイルデバイスがプリンタのワイヤレスネットワークに接続されていることを確認してください。(⇒ [「プリンタにモバイルデバイスを接続する」、117 ページ](#))

1 モバイルデバイスで対応アプリケーションを起動するか、ファイルマネージャでドキュメントを選択します。

2 モバイルデバイスに応じて、次の手順のいずれかを実行します。

•  > [印刷]をタップします。

•  > [印刷]をタップします。

•  > [印刷]をタップします。

3 プリンタを選択し、必要に応じて設定を調整します。

4 ドキュメントを印刷します。

フォントサンプルリストを印刷する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [設定] >  > [レポート] >  > [印刷] >  > [フォント一覧を印刷]

2 [PCL フォント]または[PostScript フォント]を選択してから、 を押します。

コピー

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 <ul style="list-style-type: none"> 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。 	 <ul style="list-style-type: none"> 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

コピーを作成する

1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

メモ: 画面が途切れることを防止するには、原稿と印刷物の用紙サイズが同じであることを確認してください。

2 操作パネルから、コピー部数を指定します。

3 必要に応じて、コピー設定を調整します。

4 ドキュメントをコピーします。

メモ: クイックコピーを実行するには、操作パネルで  を押します。

写真をコピーする

1 写真を原稿台にセットします。

2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [コピー] >  > [コンテンツタイプ] >  > [写真]

3 [コンテンツソース]メニューから、元の写真に最適な設定を選択します。

4 コピージョブを送信します。

レターヘッド紙にコピーする

1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [コピー] >  > [コピー元] > 原稿のサイズを選択

3 [コピー先]メニューで給紙トレイを選択します。

レターヘッド紙を多目的フィーダーにセットしている場合は、次のメニューを選択します。

[多目的フィーダー] >  > 用紙サイズを選択 > [レターヘッド紙] > 

4 ドキュメントをコピーします。

用紙の両面にコピーする

1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [コピー] >  > [印刷面]

3 設定を調整します。

4 ドキュメントをコピーします。

コピーを縮小または拡大する

1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [コピー] >  > [倍率] > 倍率の値を指定

メモ: [倍率]を設定してから、原稿または出力のサイズを変更すると、倍率は[自動]に戻ります。

3 ドキュメントをコピーします。

部単位でコピーする

1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [コピー] >  > [部単位] > [オン「1,2,1,2,1,2」]

3 ドキュメントをコピーします。

コピーの区切りとして挿入紙を挿入する

1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [コピー] >  > [挿入紙]

3 設定を調整します。

4 ドキュメントをコピーします。

1 枚の用紙に複数ページをコピーする

1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [コピー] >  > [ページ集約]

3 設定を調整します。

4 ドキュメントをコピーします。

コピーショートカットを作成する

メモ: ショートカットを作成するには、管理者権限が必要になることがあります。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [ショートカット] > [ショートカットを追加] の順にクリックします。

3 [ショートカットタイプ] メニューで [コピー] を選択して設定します。

4 変更を適用します。

E メールで送信する

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 <ul style="list-style-type: none"> 複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。 スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。 セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。 	 <ul style="list-style-type: none"> 1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。 原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

E メール SMTP 設定を構成する

スキャンしたドキュメントを E メールで送信するように、簡易メール転送プロトコル(SMTP)設定を構成します。設定は、E メールサービスプロバイダによって異なります。

開始する前に、プリンタがネットワークに接続されていること、ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。

プリンタの[設定]メニューを使用する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [E メール] > [OK] > [E メール設定] > [OK]

2 設定を行います。

メモ:

- パスワードの詳細については、[E メールサービスプロバイダ](#)。
- リストにない E メールサービスプロバイダの場合は、プロバイダに連絡して設定を問い合わせます。

内蔵 Web サーバーを使用する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [E メール] をクリックします。

3 [E メール設定] セクションで、設定を構成します。

メモ:

- パスワードの詳細については、[E メールサービスプロバイダ](#)。
- リストにない E メールサービスプロバイダの場合は、プロバイダに連絡して設定を問い合わせます。

4 [保存] をクリックします。

E メールサービスプロバイダ

- [AOL メール](#)
- [Comcast メール](#)
- [Gmail](#)
- [iCloud メール](#)
- [Mail.com](#)
- [NetEase メール\(mail.126.com\)](#)
- [NetEase メール\(mail.163.com\)](#)
- [NetEase メール\(mail.yeah.net\)](#)
- [Outlook Live](#)
- [QQ メール](#)
- [Sina メール](#)
- [Sohu メール](#)
- [Yahoo! メール](#)
- [Zoho メール](#)

メモ:

- 指定された設定を使用してエラーが発生した場合は、E メールサービスプロバイダにお問い合わせください。
- リストにない E メールサービスプロバイダの場合は、プロバイダにお問い合わせください。

AOL メール

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.aol.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス

設定	値
デバイスのパスワード	アプリのパスワード メモ: アプリのパスワードを作成するには、 AOL アカウントのセキュリティページ にアクセスしてアカウントにログインし、[アプリのパスワードを生成する]をクリックします。

Comcast メール

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.comcast.net
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アカウントパスワード

Gmail™

メモ: Google アカウントで 2 段階認証が有効になっていることを確認します。2 段階認証を有効にするには、[Google アカウントのセキュリティページ](#)に移動してアカウントにログインし、[Google にサインイン] セクションで [2 段階認証プロセス] をクリックします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.gmail.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アプリのパスワード メモ: <ul style="list-style-type: none"> アプリのパスワードを作成するには、Google アカウントセキュリティページにアクセスしてアカウントにログインし、[Google にサインイン] セクションで [アプリパスワード] をクリックします。 [アプリパスワード] は、2 段階認証が有効になっている場合にのみ表示されます。

iCloud メール

メモ: アカウントで 2 段階認証が有効になっていることを確認します。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.mail.me.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アプリのパスワード メモ: アプリのパスワードを作成するには、 iCloud アカウント管理 ページにアクセスしてアカウントにログインし、[セキュリティ] セクションで [パスワードの生成] をクリックします。

Mail.com

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.mail.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アカウントパスワード

NetEase メール (mail.126.com)

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、NetEase メールのホームページで、[設定] > [POP3/SMTP/IMAP] をクリックし、[IMAP/SMTP] サービスまたは [POP3/SMTP] サービスのいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.126.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	465
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス

設定	値
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	認証パスワード メモ: 認証パスワードは、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスが有効になっている場合に提供されます。

NetEase メール(mail.163.com)

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、NetEase メールのホームページで、[設定] > [POP3/SMTP/IMAP]をクリックし、[IMAP/SMTP]サービスまたは[POP3/SMTP]サービスのいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.163.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	465
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	認証パスワード メモ: 認証パスワードは、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスが有効になっている場合に提供されます。

NetEase メール(mail.yeah.net)

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、NetEase メールのホームページで、[設定] > [POP3/SMTP/IMAP]をクリックし、[IMAP/SMTP]サービスまたは[POP3/SMTP]サービスのいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.yeah.net
一次 SMTP ゲートウェイポート	465
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス

設定	値
デバイスのパスワード	認証パスワード メモ: 認証パスワードは、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスが有効になっている場合に提供されます。

Outlook Live

これらの設定は、outlook.com および hotmail.com の E メールドメインに適用されます。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.office365.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アカウントパスワードまたはアプリのパスワード メモ: <ul style="list-style-type: none">• 2 段階認証が無効なアカウントの場合は、アカウントパスワードを使用します。• 2 段階認証が有効になっているアカウントの場合は、アプリのパスワードを使用します。アプリのパスワードを作成するには、Outlook Live アカウントの管理ページに移動し、アカウントにログインします。

QQ メール

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、QQ メールのホームページで、[Settings] > [Account] の順にクリックします。

[POP3/IMAP/SMTP/Exchange/CardDAV/CalDAV Service] セクションで、POP3/SMTP サービスまたは IMAP/SMTP サービスのいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.qq.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス

設定	値
デバイスのパスワード	認証コード メモ: 認証コードを生成するには、QQ Mail ホームページで [設定] > [アカウント] をクリックし、[POP3/IMAP/SMTP/Exchange/CardDAV/CalDAV サービス] セクションで [認証コードの生成] をクリックします。

Sina メール

メモ: アカウントで POP3/SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、Sina メールのホームページで、[設定] > [その他の設定] > [ユーザーと POP/IMAP/SMTP] の順にクリックし、POP3/SMTP サービスを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.sina.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	認証コード メモ: 認証コードを作成するには、E メールのホームページで、[設定] > [その他の設定] > [ユーザーと POP/IMAP/SMTP] の順にクリックし、[認証コードの状態] を有効にします。

Sohu メール

メモ: アカウントで SMTP サービスが有効になっていることを確認します。サービスを有効にするには、SOHU メールのホームページで、[オプション] > [設定] > [POP3/SMTP/IMAP] をクリックし、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスのいずれかを有効にします。

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.sohu.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	465
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	独立したパスワード メモ: 独立したパスワードは、IMAP/SMTP サービスまたは POP3/SMTP サービスが有効になっている場合に提供されます。

Yahoo! メール

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.mail.yahoo.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アプリのパスワード メモ: アプリのパスワードを作成するには、 Yahoo アカウントのセキュリティページ にアクセスしてアカウントにログインし、[アプリのパスワードを生成する]をクリックします。

Zoho メール

設定	値
一次 SMTP ゲートウェイ	smtp.zoho.com
一次 SMTP ゲートウェイポート	587
Use SSL/TLS	必須
信頼済み証明書を使用	無効
返信アドレス	お客様の E メールアドレス
SMTP サーバー認証	Login/Plain
デバイスから送信される E メール	デバイスの SMTP 証明書を使用
SMTP サーバーのユーザー ID	お客様の E メールアドレス
デバイスのパスワード	アカウントパスワードまたはアプリのパスワード メモ: <ul style="list-style-type: none">• 2 段階認証が無効なアカウントの場合は、アカウントパスワードを使用します。• 2 段階認証が有効になっているアカウントの場合は、アプリのパスワードを使用します。アプリのパスワードを作成するには、Zoho メールのアカウントセキュリティページに移動してアカウントにログインし、[アプリケーション固有のパスワード]セクションで [新しいパスワードの生成]をクリックします。

E メールショートカットを作成する

メモ: ショートカットを作成するには、管理者権限が必要になることがあります。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [ショートカット] > [ショートカットを追加] の順にクリックします。

3 [ショートカットタイプ] メニューで [E メール] を選択して設定します。

4 変更を適用します。

ショートカット番号を使用して E メールを送信する

1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

2 操作パネルで # を押してから、キーパッドを使用してショートカット番号を入力します。

3 E メールを送信します。

FAX

プリンタを設定して Fax を送信する

メモ:

- 以下の接続方法は、一部の国と地域でのみご利用できます。
- プリンタの初期設定時には、[FAX 機能] チェックボックスや後で設定する他の機能をオフにして、[続行]を選択します。
- FAX 機能が有効になっていても設定が完了していない場合、インジケータランプが赤く点滅することがあります。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作の発生を防ぐため、実際に FAX を送受信している間は、ケーブルや下記に示すプリンタの部分に触らないでください。



サポートされている FAX

プリンタ機種	アナログ FAX	etherFAX ¹	FAX サーバー	Fax over IP(FoIP) ²
MB2338adw	✓	✓	✗	✓
MX321adn	✓	✓	✗	✓
MX321adw	✓	✓	✗	✓

¹ サブスクリプションが必要です。詳細については、<https://www.etherfax.net/lexmark>をご覧いただきか、プリンタの販売店までお問い合わせください。

² インストール済みのライセンスバンドルが必要です。詳細については、プリンタの販売店までお問い合わせください。

アナログ FAX を使用した FAX 機能の設定

メモ:

- 一部の接続方法は、一部の国と地域でのみ利用できます。
- FAX 機能が有効になっていても設定が完了していない場合、インジケータランプが赤く点滅することがあります。
- TCP/IP 環境がない場合、操作パネルを使用して FAX を設定します。

警告—破損の恐れあり: データの損失やプリンタの誤動作の発生を防ぐため、実際に FAX を送受信している間は、ケーブルや下記に示すプリンタの部分に触らないでください。



プリンタの[設定]メニューを使用する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [FAX] > [OK] > [FAX 設定] > [OK] > [一般 FAX 設定] > [OK]

2 設定を行います。

内蔵 Web サーバーを使用する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [一般 FAX 設定]をクリックします。

3 設定を行います。

4 変更を適用します。

etherFAX を使用した FAX 機能の設定

メモ:

- プリントファームウェアを最新バージョンにアップデートする必要があります。詳細については、「[ファームウェアを更新する](#)」、[206 ページ](#) を参照してください。
- 適切なライセンスバンドルがプリンタにインストールされている必要があります。詳細については、etherFAX にお問い合わせください。
- プリンタが etherFAX ポータルに登録されていることを確認します。詳細については、<https://www.etherfax.net/lexmark>
- 登録時にはプリンタのシリアル番号が必要です。シリアル番号を確認するには、「[プリンタのシリアル番号を確認する](#)」、[10 ページ](#) を参照してください。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [一般 FAX 設定]をクリックします。

メモ: [FAX 設定] は、[FAX モード] が[FAX]に設定されている場合にのみ表示されます。

3 [FAX 名] フィールドに一意の名前を入力します。

4 [FAX 番号] フィールドに、etherFAX から提供される FAX 番号を入力します。

5 [FAX の転送] メニューで [etherFAX] を選択します。

6 変更を適用します。

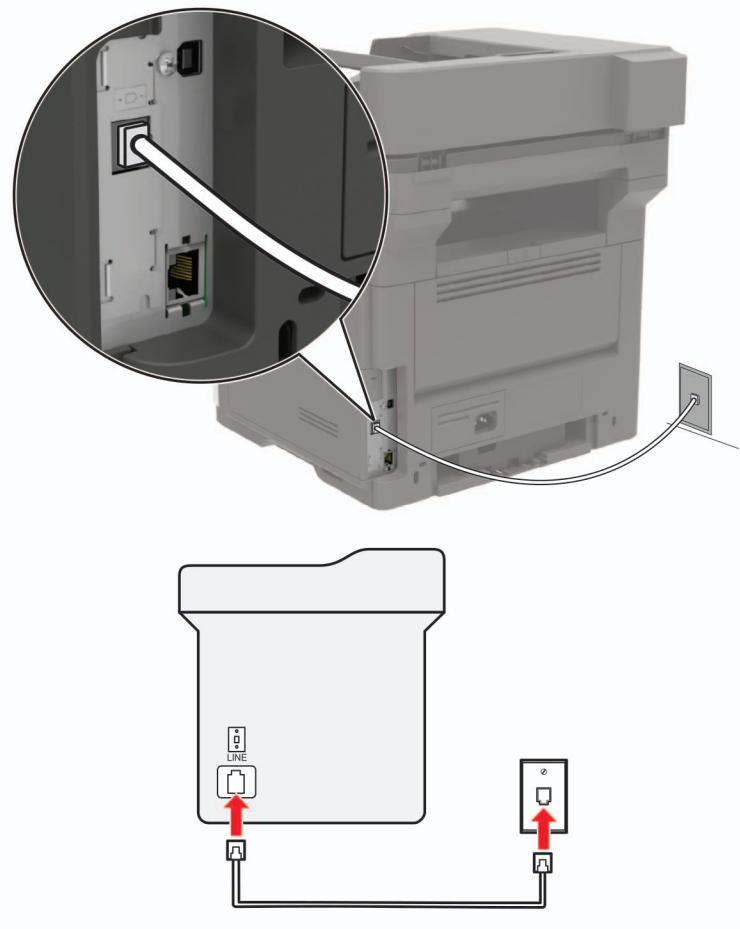
標準電話回線を使用して FAX を設定する

 **注意—感電危険:** プリンタの外部を清掃する際には、雷雨時には、本機のセットアップ、電源コード、FAX 機能などの電気的接続、電話などのケーブル接続を行わないでください。

 **注意—感電危険:** 雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル(RJ-11)のみを使用してください。オーストラリアのお客様は、オーストラリア通信メディア庁(Australian Communications and Media Authority)が承認するケーブルを必ず使用してください。

セットアップ 1: プリンタが専用 FAX 回線に接続されている場合



1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。

2 ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログのコンセントに接続します。

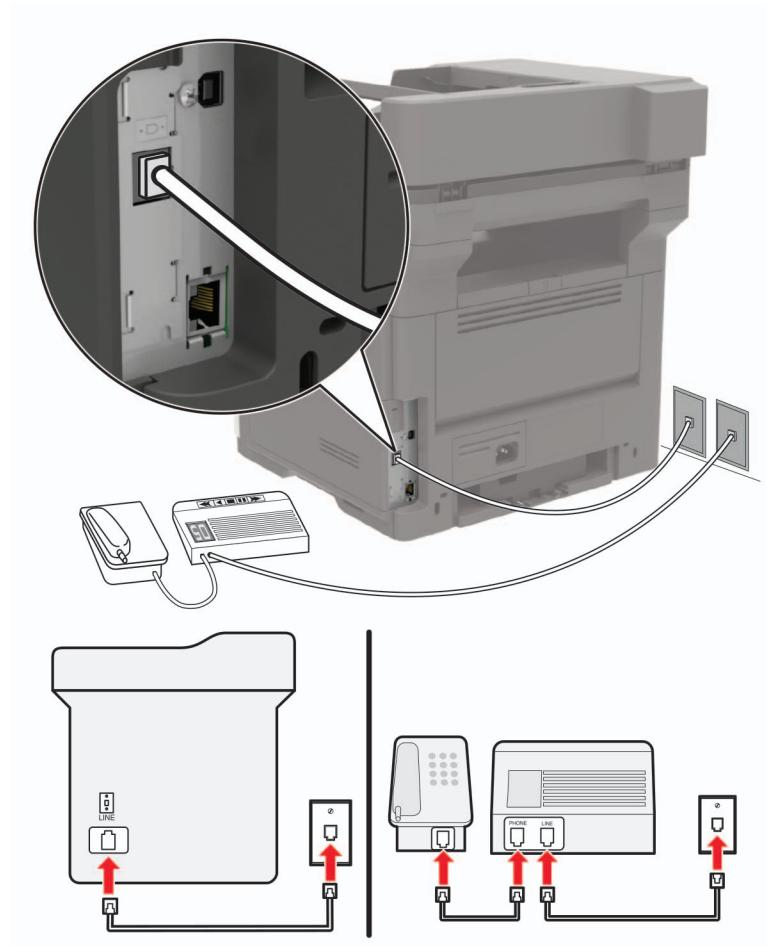
メモ:

- FAX を自動(自動受信オン)または手動(自動受信オフ)で受信するようにプリンタを設定できます。
- FAX を自動的に受信する場合は、応答するまでの呼び出し回数を設定してください。

セットアップ 2: プリンタが留守番電話機と回線を共有している場合

メモ: 着信識別サービスに加入している場合は、プリンタが正しい着信音に応答するように設定します。間違った着信音を設定すると、FAX を自動受信するように設定していたとしてもプリンタは FAX を受信しません。

別々の電話コンセントに接続されている場合



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 ケーブルのもう一方の端を、現在ご使用のアナログのコンセントに接続します。

メモ:

- お使いの電話回線で 1 つの電話番号しか持っていない場合は、FAX を自動で受信するようにプリンタを設定します。
- 留守番電話が応答してから着信音が 2 回鳴った後でプリンタが応答するように、プリンタを設定します。たとえば、留守番電話が着信音 4 回で応答する場合は、プリンタの [呼び出し回数] 設定を 6 回に設定します。

異なる電話のモジュラージャックとプラグを使用する国または地域で FAX を設定する

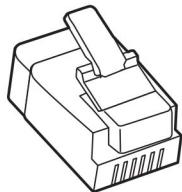
⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、雷雨時には本機のセットアップや、電源コード、FAX 機能、電話などの電気的接続またはケーブル接続を行わないでください。

⚠ 注意—感電危険: 雷雨時には、感電の危険を避けるため、FAX 機能を使用しないでください。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災発生の恐れがないように、本製品を公共電話回線ネットワークに接続する場合は、26 AWG 以上の太さの電気通信ケーブル(RJ-11)のみを使用してください。オーストラリアのユーザーは、オーストラリア通信メディア庁(Australian Communications and Media Authority)が承認するケーブルを必ず使用してください。

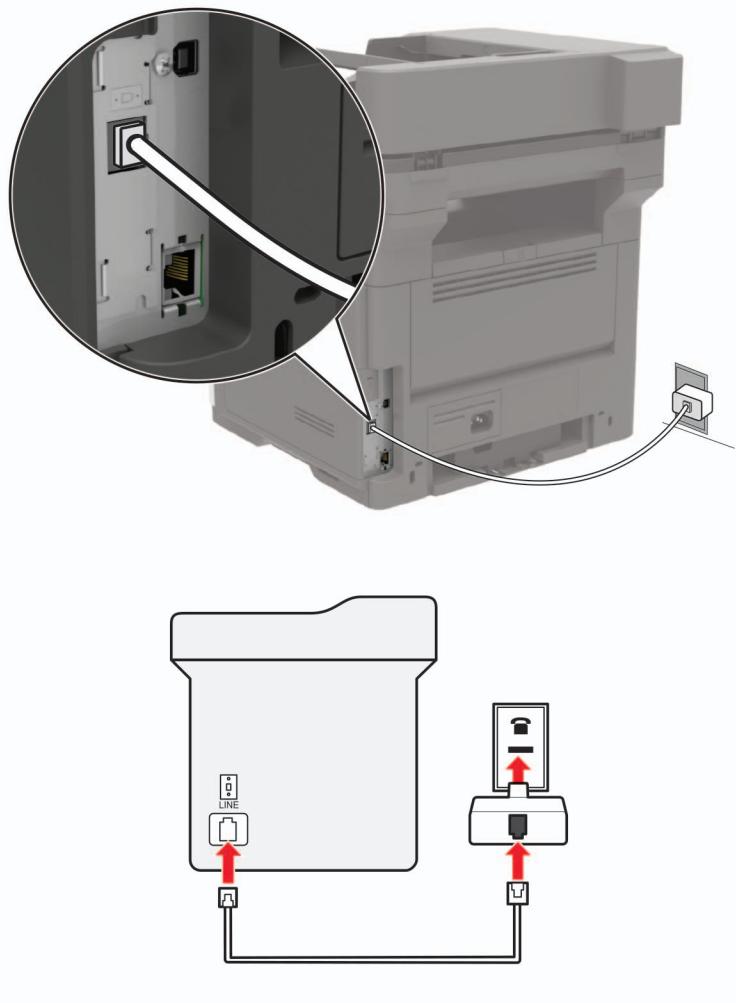
ほとんどの国または地域で標準として採用されているモジュラージャックは、RJ11 です。ファシリティ内のモジュラージャックまたは機器がこのタイプの接続に互換性がない場合は、電話アダプタを使用します。お住まいの国または地域のアダプタがプリンタに含まれておらず、別途購入する必要がある場合があります。

プリンタの電話ポートにアダプタプラグが取り付けられている場合があります。シリアルまたはカスケード式電話システムに接続している場合、プリンタの電話ポートからアダプタプラグを取り外さないでください。



部品名	部品番号
Lexmark アダプタプラグ	40X8519

プリンタを RJ11 以外のモジュラージャックに接続する



- 1 電話ケーブルの一方の端をプリンタの LINE ポートに接続します。
- 2 もう一方の端を RJ11 アダプタに接続し、アダプタをモジュラージャックに接続します。
- 3 RJ11 以外のコネクタを使用した別のデバイスを同じモジュラージャックに接続する場合は、直接電話アダプタに接続します。

着信識別サービスへの接続

着信識別サービスを使用すると、1 つの電話回線で複数の電話番号を持つことができます。各電話番号がそれぞれ異なる着信音パターンに割り当てられます。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [FAX] > [OK] > [FAX 設定] > [OK] > [FAX 受信設定] > [OK] > [管理者用設定] > [OK] > [受信の設定] > [OK]

- 2 着信音パターンを選択します。

FAX の日時を設定する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、37 ページを参照してください。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [デバイス] > [OK] > [基本設定] > [OK] > [日付/時刻] > [OK] > [設定] > [OK]

- 2 設定を行います。

夏時間設定する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、37 ページを参照してください。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [デバイス] > [OK] > [基本設定] > [OK] > [日付/時刻] > [OK] > [設定] > [OK]

- 2 [タイムゾーン]メニューで、[(UTC+時差)カスタム]を選択します。

- 3 設定を行います。

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 <ul style="list-style-type: none">複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。	 <ul style="list-style-type: none">1 ページの文書、本文のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

FAX を送信する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、37 ページを参照してください。

操作パネルを使用する

1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [FAX] >  > 必要な情報を入力 > 

必要に応じて、設定を調整します。

3 FAX を送信します。

コンピュータを使用する

開始する前に、FAX ドライバがインストールされていることを確認してください。詳細については、「[FAX ドライバをインストールする](#)」、204 ページ を参照してください。

Windows の場合

1 FAX するドキュメントで、[印刷]ダイアログを開きます。

2 プリンタを選択し、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または[設定]をクリックします。

3 [FAX] > [FAX を有効化] > [FAX 送信前に FAX 設定を常に表示]をクリックして、受信者番号を入力します。
必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。

4 FAX を送信します。

Macintosh の場合

1 ドキュメントが開いている状態で、[ファイル] > [印刷]の順に選択します。

2 名前の後に「- Fax」が追加されているプリンタを選択します。

3 [宛先]フィールドに送信先番号を入力します。
必要に応じて、その他の FAX 設定を変更します。

4 FAX を送信します。

FAX をスケジュール設定する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、37 ページ を参照してください。

1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [FAX] >  > [FAX 番号を入力] > [送信時刻] > 

3 日付と時刻を設定し、 を押します。

4 FAX を送信します。

FAX 宛先のショートカットを作成する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、37 ページを参照してください。

- 1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 2 [ショートカット] > [ショートカットを追加] の順にクリックします。

- 3 [ショートカットタイプ] メニューで [FAX] を選択して設定します。

- 4 変更を適用します。

FAX の解像度変更

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、37 ページを参照してください。

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

- 2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [FAX] >  > 必要な情報を入力

- 3 解像度の設定を調整します。

- 4 FAX を送信します。

FAX の濃度を調整する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、37 ページを参照してください。

- 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

- 2 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [FAX] >  > 必要な情報を入力

- 3 濃度の設定を調整します。

- 4 FAX を送信します。

FAX ログを印刷する

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、37 ページを参照してください。

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [レポート] > [OK] > [FAX] > [OK]

2 [FAX ジョブログ]または[FAX 通信ログ]を選択し、[OK]を押します。

迷惑 FAX のブロック

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、37 ページを参照してください。

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [FAX] > [OK] > [FAX 初期設定] > [OK] > [FAX 設定] > [OK] > [FAX 受信設定] > [OK] > [管理者用設定] > [OK]

2 [無記名 FAX をブロック]を [オン]に設定し、[OK]を押します。

FAX の保留

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、37 ページを参照してください。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [FAX] > [FAX の設定] > [FAX 受信設定] > [FAX 保持]をクリックします。

3 モードを選択します。

4 [保存]をクリックします。

Fax の転送

メモ: FAX が設定されていることを確認します。詳細については、「[プリンタを設定して Fax を送信する](#)」、37 ページを参照してください。

1宛先ショートカットを作成します。

a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

b [ショートカット] > [ショートカットを追加] の順にクリックします。

c ショートカットの種類を選択してから、設定を構成します。

メモ: ショートカット番号を書き留めます。

d 変更を適用します。

2 [設定] > [FAX] > [FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理者用設定] をクリックします。

3 [FAX 転送] メニューで、[転送] または [印刷して転送] を選択します。

4 [転送先] メニューで宛先のタイプを選択し、ショートカット番号を入力します。

5 変更を適用します。

スキャン

自動原稿フィーダーと原稿台を使用する

自動原稿フィーダー(ADF)	原稿台
 <ul style="list-style-type: none">複数ページの原稿や両面印刷の原稿の場合、ADF を使用します。スキャンする面を上にして原稿をセットします。複数ページの文書の場合は、セットする前に用紙の先端をそろえてください。セットする用紙の幅に合わせて ADF ガイドを調整します。	 <ul style="list-style-type: none">1 ページの文書、本のページ、小さいもの(葉書や写真など)、OHP フィルム、感光紙、薄いもの(雑誌の切り抜きなど)には原稿台を使用します。原稿を下向きにして、矢印のある隅にセットします。

コンピュータへのスキャン

開始する前に、次の点を確認してください。

- プリンタのファームウェアが更新されている詳細については、「[ファームウェアを更新する](#)」、206 ページ を参照してください。
- コンピュータとプリンタが同じネットワークに接続されている

Windows の場合

Lexmark ScanBack ユーティリティを使用する

- コンピュータから Lexmark ScanBack ユーティリティを実行し、[次へ]をクリックします。

メモ: ユーティリティをダウンロードするには、www.lexmark.com/downloads にアクセスします。

- [設定]をクリックし、プリンタの IP アドレスを追加します。

メモ: プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。

- [閉じる] > [次へ]をクリックします。

- 原稿のサイズを選択し、[次へ]をクリックします。

- ファイル形式とスキャン解像度を選択し、[次へ]をクリックします。

- 一意のスキャンプロファイル名を入力し、[次へ]をクリックします。

7 スキャンした原稿を保存する場所を参照し、ファイル名を作成して、[次へ]をクリックします。

メモ: スキャンプロファイルを再利用するには、[ショートカットを作成]を有効にして、一意のショートカット名を作成します。

8 [終了]をクリックします。

9 原稿を、自動原稿フィーダの中、または原稿台の上にセットします。

10 プリンタのホーム画面で、[Scan to Computer]をタッチしてから、スキャンプロファイルを選択します。

メモ: [Scan to Computer]が有効になっていることを確認します。ホーム画面で、[設定] > [デバイス] > [ホーム画面アイコンの表示] > [Scan to Computer] > [ディスプレイ]の順にタッチします。

[Windows FAX とスキャン]を使用する

メモ: プリンタがコンピュータに追加されていることを確認します。詳細については、[「コンピュータにプリンタを追加する」、204 ページ](#) を参照してください。

1 原稿を、自動原稿フィーダの中、または原稿台の上にセットします。

2 コンピュータで、[Windows FAX とスキャン]を開きます。

3 [ソース]メニューからスキャナソースを選択します。

4 必要に応じて、スキャン設定を変更します。

5 原稿をスキャンします。

Macintosh の場合

メモ: プリンタがコンピュータに追加されていることを確認します。詳細については、[「コンピュータにプリンタを追加する」、204 ページ](#) を参照してください。

1 原稿を、自動原稿フィーダの中、または原稿台の上にセットします。

2 コンピュータから以下のいずれかの手順を実行します。

- イメージキャプチャを開きます。
- [プリンタとスキャナ]を開き、プリンタを選択します。[スキャン] > [スキャナを開く]をクリックします。

3 [スキャナ]ウィンドウで、次の手順の内 1 つ以上を実施します。

- スキャンした原稿の保存先を選択します。
- 原稿のサイズを選択します。
- ADF からスキャンするには、[スキャン]メニューから[原稿フィーダ]を選択するか、[原稿フィーダの使用]を有効化します。
- 必要に応じて、スキャン設定を構成します。

4 [スキャン]をクリックします。

FTP ショートカットを作成する

メモ: ショートカットを作成するには、管理者権限が必要になることがあります。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [ショートカット] > [ショートカットを追加] の順にクリックします。

3 [ショートカットタイプ] メニューで [FTP] を選択して設定します。

4 変更を適用します。

ネットワークフォルダのショートカットを作成する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた数字の 4 セットで表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効化し、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [ショートカット] > [ショートカットを追加] の順にクリックします。

3 [ショートカットタイプ] メニューで [ネットワークフォルダ] を選択して設定します。

4 変更を適用します。

ショートカット番号を使用して FTP サーバーにスキャンする

1 原稿を ADF トレイまたは原稿台にセットします。

2 操作パネルで # を押してから、キーパッドを使用してショートカット番号を入力します。

3 原稿をスキャンします。

プリンタメニューを理解する

メニュー・マップ

デバイス	<ul style="list-style-type: none"> 基本設定 エコモード 遠隔操作パネル 通知 電源管理 	<ul style="list-style-type: none"> 匿名データの収集 工場出荷状態に復元 メンテナンス ホーム画面アイコンの表示 このプリンタについて
印刷	<ul style="list-style-type: none"> レイアウト セットアップ 印刷品質 ジョブアカウント XPS 	<ul style="list-style-type: none"> PDF PostScript PCL HTML 画像
用紙	<ul style="list-style-type: none"> トレイ構成設定 	<ul style="list-style-type: none"> 用紙構成
コピー	コピー初期設定	
FAX	FAX 初期設定	
E メール	<ul style="list-style-type: none"> E メール設定 E メール初期値設定 	<ul style="list-style-type: none"> Web リンク設定
FTP	FTP 初期値設定	
ネットワーク/ポート	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークの概要 ワイヤレス wifi ダイレクト イーサネット TCP/IP SNMP 	<ul style="list-style-type: none"> IPSec 802.1x LPD 設定 HTTP/FTP の設定 ThinPrint USB
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> セキュリティ監査ログ ログイン制限 コンフィデンシャル印刷設定 	<ul style="list-style-type: none"> ソリューション LDAP 設定 モバイルサービスの管理 その他
レポート	<ul style="list-style-type: none"> メニュー設定ページ デバイス 印刷 	<ul style="list-style-type: none"> ショートカット FAX ネットワーク
ヘルプ	<ul style="list-style-type: none"> すべてのガイドを印刷 接続ガイド コピーガイド E メールガイド FAX ガイド FTP ガイド 	<ul style="list-style-type: none"> 情報ガイド 用紙ガイド モノクロ品質ガイド 移動ガイド 印刷品質ガイド 消耗品ガイド
問題に対処する	<ul style="list-style-type: none"> 印刷品質テストページ 	<ul style="list-style-type: none"> スキヤナの清掃

デバイス

基本設定

基本設定

メニュー項目	説明
表示言語 〔言語リスト〕	ディスプレイに表示されるテキストの言語を設定します。 メモ: プリンタモデルによっては、使用できない言語があります。一部の言語では、特殊ハードウェアをインストールしなければならない場合があります。
国／地域 〔国リスト〕	プリンタが動作するように設定する国を特定します。
初期設定を実行 いいえ はい*	セットアップウィザードを実行します。
ホーム画面に表示する情報 表示テキスト 1 表示テキスト 2 カスタムテキスト 1 カスタムテキスト 2	ホーム画面に表示する情報を指定します。 メモ: カスタムテキスト 1 とカスタムテキスト 2 は、一部のプリンタ機種でのみ表示されます。
日付/時刻 設定 日時を手動設定 日付形式 時刻形式 タイムゾーン ネットワークタイムプロトコル NTP の有効化 NTP サーバー [*] 認証を有効化 キー ID パスワード	プリンタの日時を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 〔認証を有効化〕は、一部のプリンタ機種でのみ表示されます。 〔認証を有効化〕が〔MD5 キー〕に設定されている場合は、キー ID とパスワードが表示されます。
用紙サイズの単位 インチ * ミリ	用紙サイズの測定方法を指定します。 メモ: 用紙サイズの初期設定は、初期設定ウィザードで選択した国や地域によって決まります。
下地調整を許可 オン* オフ	コピーや FAX、E メール、FTP、USB へのスキャン転送の各ジョブにおいて、背景画像の削除を許可します。
原稿台連続スキャンの抑制 オン オフ *	原稿台から一度に 1 ページずつコピーするよう設定します。
画面タイムアウト 10 ~ 300(60 *)	ディスプレイにホーム画面が表示されるまでのアイドル時間、またはユーザー アカウントが自動的にログオフされるまでのアイドル時間を秒単位で設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

エコモード

メニュー項目	説明
印刷 両面片面選択 片面 * 両面	用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
印刷 割り付けるページ数 オフ * 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷します。
印刷 トナーの濃さ 1-10(8 *)	文字画像の明るさや濃度を指定します。
コピー 両面片面選択 片面->片面 * 片面を両面に 両面を片面に 両面を両面に	原稿に応じてスキャン動作を指定します。
コピー 割り付けるページ数 オフ * 縦 2 アップ 縦 4 アップ 横 2 アップ 横 4 アップ	原稿に応じてスキャン動作を指定します。
コピー 濃さ 1 ~ 9(5 *)	スキャンした文字画像の濃度を指定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。

遠隔操作パネル

メニュー項目	説明
外部 VNC 接続 許可しない * 許可	外部の Virtual Network Computing(VNC) クライアントをリモート操作パネルに接続します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
認証タイプ なし* 標準認証	VNC クライアントサーバーにアクセスする際の認証タイプを設定します。
VNC パスワード	VNC サーバーに接続するためのパスワードを指定します。 メモ: このメニュー項目は、[認証タイプ]が[標準認証]に設定されている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

通知

メニュー項目	説明
ADF セットビープ オフ オン*	ADF に用紙をセットするときの音を有効にします。
アラーム音設定 オフ 1回* 連続	プリンタでユーザーの操作が必要なときに、アラームを鳴らす回数を設定します。
消耗品 消耗品の寿命表示 寿命を表示* 寿命を表示しない	消耗品の推定状態を表示します。
消耗品 寿命を表示 ページ数* パーセント	プリンタが、消耗品使用量を推定し、ユーザーの操作が必要な場合にカスタム通知を実行するために使用する単位を決定します。 メモ: このメニュー項目は、EWS でのみ表示されます。
消耗品 消耗品残量低下時のアラーム オフ* 1回 連続	トナーカートリッジの残量が少ないときに、アラームを鳴らす回数を設定します。
消耗品 消耗品のカスタム通知	ユーザーの操作が必要なときの通知設定を構成します。 メモ: このメニュー項目は、EWS でのみ表示されます。
エラー防止 紙詰まり時の復旧サポート オフ オン*	詰まった用紙を取り除いた後に、空白ページまたは一部印刷されたページを自動的に標準排紙トレイへ排出するようプリンタを設定します。
エラー防止 自動続行 無効 5~255(5*)	特定の操作が必要な状態が解消されたら、プリンタがジョブの処理や印刷を自動的に続行するようにします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
エラー防止 自動再起動 自動再起動 アイドル時に再起動 常に再起動 * 再起動しない	エラー発生時にプリンタを再起動するように設定します。
エラー防止 自動再起動 最大自動再起動 1~20 (2*)	プリンタが実行可能な自動再起動回数を指定します。
エラー防止 自動再起動 自動再起動までの時間 1~525600 (720*)	プリンタが自動的に再起動するまでの秒数を設定します。
エラー防止 自動再起動 自動再起動カウンタ	再起動カウンタの読み取り専用情報を表示します。
エラー防止 「用紙が短すぎます」エラーを表示 オン 自動クリア *	「用紙が短すぎます」エラーが発生した場合に、プリンタにメッセージを表示するかどうかを設定します。 メモ: 短い用紙とは、セットされている用紙のサイズを示します。
エラー防止 ページ保護 オフ * オン	印刷の前に、ページ全体をメモリで処理するように設定します。
紙詰まりしたページの再印刷 紙詰まりしたページの再印刷 オフ オン 自動 *	紙詰まりが発生したページを再印刷するかどうかを設定します。
紙詰まりしたページの再印刷 スキャナで紙詰まりしたページの再読み込み ジョブ別 ページレベル *	紙詰まりの解決後にスキャンジョブを再開する方法を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

電源管理

メニュー項目	説明
スリープモード時の動作 画面消灯時の印刷 画面を消灯した状態で印刷 * 印刷時に画面を点灯	画面を消灯した状態での印刷を許可します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
時間切れ スリープモード 1 ~ 120 分(15*)	プリンタがスリープモードになるまでのアイドル時間を指定します。
時間切れ 休止モード 無効 1 時間 2 時間 3 時間 6 時間 1 日 2 日 3 日 * 1 週間 2 週間 1 か月	プリンタが休止モードになるまでの時間を指定します。
時間切れ ネットワーク接続時の休止モード 休止モードにする 休止モードにしない*	有効なイーサネット接続が存在する場合でも、プリンタを休止モードに設定します。
エコモード オフ * 電力 電力/用紙 用紙	電力や用紙、特殊用紙の使用量を最小にします。 メモ: [エコモード]を[電力]または[用紙]に設定すると、プリンタのパフォーマンスに影響が生じる場合がありますが、印刷品質には影響しません。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

匿名データの収集

メニュー項目	説明
匿名データの収集 デバイス使用量およびパフォーマンスに関する情報 なし *	プリンタ使用方法およびパフォーマンスに関する情報を Lexmark へ送信します。 メモ: [匿名データ送信時間]は、[匿名データの収集]を[デバイス使用量およびパフォーマンス]に設定した場合にのみ表示されます。
匿名データ送信時間 開始時間 停止時刻	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

工場出荷状態に復元

メニュー項目	説明
設定を復元 すべての設定を復元 プリンタ設定の復元 ネットワーク設定を復元 FAX 設定を復元	プリンタを工場出荷状態に復元します。

メンテナンス

設定メニュー

設定メニュー

メニュー項目	説明
USB 設定 USB PnP 1 * 2	プリンタの USB ドライバモードを変更して、PC との互換性を向上させます。
USB 設定 ローカルに USB スキャン オン* オフ	コンピュータへのスキャンを有効化します。
USB 設定 USB 速度 最大 自動 *	USB ポートが最高速で動作するように設定し、USB ポートの高速機能を無効化します。
トレイ設定 同一用紙サイズのトレイのリンク 自動 * オフ	同じ用紙タイプと用紙サイズが設定されているトレイをリンクするように、プリンタを設定します。
トレイ設定 トレイ挿入時のメッセージ表示 オフ 不明なサイズのみ * 常時	トレイ挿入メッセージを表示します。
トレイ設定 A5 読み込み方向 短辺 * 長辺	A5 サイズの用紙をセットしたときのページの向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
トレイ設定 用紙の給紙トレイ 自動 * 多目的フィーダー [*] 手差し用紙 封筒の給紙トレイ 自動 * 多目的フィーダー [*] 手動封筒	用紙または封筒をセットするよう要求された場合に、ユーザーがセットする給紙トレイを設定します。 メモ: 多目的フィーダーを表示するには、[用紙]メニューで[多目的フィーダー設定]を[トレイ]に設定します。
トレイ設定 用紙変更時のアクション ユーザーに確認 * 続行 現在の用紙を使用	用紙または封筒関連の変更を求めるプロンプトを表示するようにプリンタを設定します。
レポート メニュー設定ページ イベントログ イベントログサマリ ヘルスチェック統計	プリンタメニュー設定、状況、イベントログに関するレポートを印刷します。
消耗品使用量とカウンタ 消耗品使用履歴をクリア ブラックカートリッジのカウンタをリセット ブラックイメージングユニットのカウンタをリセット メンテナンスカウンタをリセット	消耗品ページカウンタをリセット、または印刷済みページ合計を表示します。
プリンタエミュレーション PPDS エミュレーション オフ * オン	プリンタで PPDS データストリームを使用するかどうかを設定します。
FAX 設定 FAX 節電サポート スリープしない スリープする 自動 *	FAX モード時のプリンタの電力設定を指定します。
印刷設定 フォントのシャープ度 0 ~ 150(24 *)	フォントデータの印刷時に高周波数スクリーンを使用する場合の、テキストポイントサイズの最高値を設定します。
印刷設定 印刷濃度 1 ~ 5(3 *) コピー濃度 1 ~ 5(3 *)	ドキュメントの印刷またはコピー時のトナー濃度を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
デバイスの操作 静音モード オン オフ*	プリンタの印刷中の騒音を低減するように設定します。 メモ: この設定によりプリンタ全体のパフォーマンスが低下します。
デバイスの操作 パネルメニュー 有効化* 無効化	プリンタで操作パネルメニューを表示するかどうかを設定します。
デバイスの操作 セーフモード オフ* オン	既知の問題が発生しても、プリンタを特別なモードで動作させ、できるだけ多くの機能の提供を続行するかどうかを設定します。
デバイスの操作 最小コピーメモリ 20MB* 30MB 50MB 80MB 100MB	コピージョブを保存するために、メモリの割り当てを設定します。 メモ: この値は、取り付けられた DRAM の量が少なくとも値の 2 倍以上の場合にのみ表示されます。
デバイスの操作 カスタムメッセージをクリア	すべてのカスタムメッセージを消去します。
デバイスの操作 クラウドからのメッセージをすべて消去	リモートインストール中に作成されたすべてのログを削除します。
デバイスの操作 エラー画面の自動表示 オン* オフ	プリンタを使用しない状態が続くと、既存のプリンタに関するメッセージがホーム画面に自動的に表示されるように設定します。
デバイスの操作 高速コピー時に向きの設定を使用 オン オフ*	プリンタでクリックコピージョブを送信する場合に、[コピー]メニューの[向き]設定を使用するかどうかを設定します。
スキャナ設定 スキャナ手動登録 印刷簡易テスト 正面 ADF 登録 フラットベッド登録	スキャン領域を用紙位置と合わせます。
スキャナ設定 枠消し ADF フチ消去 0 ~ 6(3*) フラットベッドフチ消去 0 ~ 6(3*)	スキャン画像周囲の消去される枠のサイズを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
スキャナ設定 スキャナを無効化 有効 * 無効 ADF 無効	スキャナが正常に動作しない場合、スキャナを無効にします。
スキャナ設定 Tiff バイトオーダー [*] CPU エンディアン * リトルエンディアン ビッグエンディアン	TIFF 形式のスキャン出力のバイトオーダーを指定します。
スキャナ設定 正しい Tiff RowsPerStrip オン* オフ	TIFF 形式のスキャン出力の RowsPerStrip タグ値を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

データ完全消去

メニュー項目	説明
プリンタのメモリを消去 前回のプリンタメモリ消去 不揮発性メモリにあるすべての情報を消去 すべてのプリンタおよびネットワーク設定を消去 すべてのショートカットとショートカット設定を消去	プリンタのハードディスクに保存されているすべての設定およびアプリケーションを消去します。

ホーム画面アイコンの表示

メニュー	説明
コピー	ホーム画面に表示されるアイコンを指定します。
E メール	
FAX	
言語設定	
ブックマーク	
保留ジョブ	
FTP	

このプリンタについて

メニュー項目	説明
アセットタグ	プリンタのシリアル番号を示します。
プリンタの設置場所	プリンタの設置場所を特定します。最大文字数は 63 文字です。
連絡先	プリンタ名を定義します。最大文字数は 63 文字です。

印刷

レイアウト

メニュー項目	説明
両面片面選択 片面 * 両面	用紙の片面に印刷するか両面に印刷するかを指定します。
反転スタイル 長辺 * 短辺	両面印刷を実行する場合は、用紙のどちら側(長辺または短辺)を綴じるかを決定します。 メモ: 選択したオプションに応じて、プリンタはページの各印刷情報を自動的にオフセットしてジョブを正しく綴じます。
白紙ページ 印刷 印刷しない *	印刷ジョブに含まれる白紙ページを印刷します。
丁合印刷 オフ「1,1,1,2,2,2」 * オン「1,2,1,2,1,2」	特にジョブを複数部印刷する場合は、各印刷ジョブのページ順が維持されるように積み重ねます。
セパレータ紙 なし * 各部の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に白紙の挿入紙を挿入します。
区切り紙給紙源 トレイ [x](1 *) 手差しトレイ	区切り紙の給紙源を指定します。 メモ: 手差しトレイは、一部のプリンタ機種でのみ使用可能です。
割り付けるページ数 オフ * 2 アップ 3 アップ 4 アップ 6 アップ 9 アップ 12 アップ 16 アップ	複数のページ画像を1枚の用紙の片面に印刷します。
集約順 横方向 * 横方向(右から) 縦方向 縦方向(右から)	[ページ集約]を使用する場合に、複数ページの画像の位置を指定します。 メモ: 配置は、ページの画像数とページの向きによって異なります。
原稿セット方向 自動 * 横長 縦	[ページ集約]を使用する場合に、複数ページのドキュメントの向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ページ枠 なし* 実線	[ページ集約]を使用する場合に、各ページの画像に枠線を印刷します。
部数 1 ~ 9999(1*)	各印刷ジョブの部数を指定します。
印刷領域 標準* ページに合わせる ページ全体	1枚の用紙の印刷領域を設定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。

設定

メニュー項目	説明
プリンタ言語 PCL 設定* PS	プリンタ言語を設定します。 メモ: デフォルトのプリンタ言語を設定しても、ソフトウェアプログラムでは別のプリンタ言語を使用する印刷ジョブを送信できます。
リソース保存 オフ* オン	プリンタの使用可能なメモリ容量を超えるメモリを必要とするジョブを受信した場合の、一時的なダウンロードデータの処理方法を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [オフ]を選択すると、メモリが必要になるまでダウンロードデータが保持されます。印刷ジョブを処理するためにダウンロード物は削除されます。 [オン]に設定した場合、メモリが不足すると、「メモリが満杯です[38]」が表示されます。ただし、ダウンロードデータは削除されません。
[全て印刷]の順序 アルファベット順* 古い順 新しい順	[全て印刷]が選択されたとき、保留またはコンフィデンシャルジョブをどの順序で印刷するかを指定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

印刷品質

メニュー項目	説明
印刷解像度 600 dpi* 1200 イメージ品質 2400 イメージ品質 1200 dpi 300 dpi	印刷出力におけるテキストと画像の解像度を設定します。 メモ: 解像度は、ドット/インチ(dpi)または画質で指定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
ピクセルブースト オフ * フォント 横方向 縦方向 双方向	特定領域のピクセル数を増やして鮮明度を高めることで、テキストと画像を見やすくすることができます。
トナーの濃さ 1-10 (8 *)	テキストイメージの明るさを指定します。
ハーフトーン 普通 * 詳細	印刷出力を向上して鋭いエッジの滑らかな線にします。
明るさ -6 ~ 6(0 *)	印刷出力の明るさを調整します。
コントラスト 0 ~ 5(0 *)	印刷出力のコントラストを調整します。
グレー補正 オフ 自動 *	イメージに適用されるコントラスト補正を調整します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

ジョブアカウント

メモ: このメニュー項目は、ハードディスクがプリンタに取り付けられている場合のみ表示されます。

メニュー項目	説明
ジョブアカウント オフ * オン	プリンタで受信した印刷ジョブのログを作成するかどうかを設定します。
ジョブアカウントのログ回数 毎日 毎週 毎月 *	プリンタでログファイルを作成する頻度を指定します。
最後に行うログ操作 なし * 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 現在のログをポスト 現在のログをポストして削除	頻度のしきい値を経過したときに、プリンタが行う処理を指定します。 メモ: このメニュー項目の動作をいつ実行させるかは、[ジョブアカウント情報のログ周期]で指定します。
ニアフルの状態をログ オフ * オン	プリンタがニアフル時のログ操作を実行する前に、ログファイルの最大サイズを指定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。

メニュー項目	説明
ニアフル時のログ操作 なし * 現在のログを E メールで送信 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログをポスト 現在のログをポストして削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 現在のログ以外すべて削除 すべてのログを削除	ハードディスクがほぼ満杯になったときのプリンタの動作を指定します。 メモ: このメニュー項目の動作をいつ実行させるかは、[ニアフルの状態をログ]にて指定します。
フル時のログ操作 なし * 現在のログを E メールで送信して削除 最も古いログを E メール送信して削除 現在のログをポストして削除 最も古いログを送信して削除 現在のログを削除 最も古いログを削除 現在のログ以外すべて削除 すべてのログを削除	ディスクの使用領域が上限(100MB)に達したときに、プリンタが行う処理を指定します。
ログ記録用 URL	プリンタによるジョブアカウント情報のログの記録先を指定します。
ログを送信するための E メールアドレス	ジョブアカウントのログを送信する E メールアドレスを指定します。
ログファイルのプレフィックス	ログファイル名に使用するプレフィックスを指定します。 メモ: [TCP/IP]メニューで現在設定されているホスト名が、ログファイルの初期設定のプレフィックスとして使用されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

XPS

メニュー項目	説明
エラーページを印刷 オフ * オン	XML マークアップエラーを含め、エラーに関する情報を含むテストページを印刷します。
最小線幅 1 ~ 30(2 *)	1200 dpi で印刷されるすべてのジョブの最小ストローク幅を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

PDF

メニュー項目	説明
用紙に合わせて印刷 オフ * オン	選択した用紙サイズに合わせてページの内容を拡大/縮小します。
注釈 印刷しない * 印刷	PDF 内の注釈を印刷するかどうかを指定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

PostScript

メニュー項目	説明
PS エラーを印刷 オン オフ *	PostScript のエラー情報を含むテストページを印刷します。
最小線幅 1 ~ 2(30 *)	1200 dpi で印刷されるすべてのジョブの最小ストローク幅を設定します。
PS スタートアップモードをロック オン オフ *	SysStart ファイルを無効化します。
フォント優先順位 常駐 * フラッシュメモリ/ハードディスク	フォントの検索順序を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [常駐]に設定すると、要求されたフォントがプリンタメモリで検索されてから、フラッシュメモリで検索されます。 [フラッシュメモリ/ハードディスク]に設定すると、要求されたフォントがフラッシュメモリで検索されてから、プリンタメモリで検索されます。 このメニュー項目は、フラッシュメモリが取り付けられている場合にのみ表示されます。
データ待ち時間 無効 15 ~ 65535(40*)	印刷ジョブをキャンセルする前に、プリンタが次のデータを待つかどうかを設定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

PCL

メニュー項目	説明
フォントソース 内蔵 * すべて	標準設定のフォント選択項目を含むソースを選択します。
フォント名 [利用可能なフォントの一覧]	指定したフォントソースからフォントを選択します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
シンボルセット [利用可能なシンボルセットの一覧]	各フォント名のシンボルセットを指定します。 メモ: シンボルセットは英数字、句読点、および特殊記号の組み合わせです。シンボルセットは、科学的な文章内の数学記号など、異なる言語またはプログラムをサポートします。
ピッチ 0.08 ~ 100(10*)	調整可能フォントのフォントピッチを指定します。 メモ: ピッチとは、横方向 1 インチあたりの固定スペース文字の数のことです。
用紙の向き 縦 * 横	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
1 ページ当たりの行数 1~255	PCL® データストリームで印刷される各ページのテキストの行数を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目によって、ページの標準設定の余白間に選択した数の要求された行を印刷させる縦方向のおくりを有効にします。 米国向けの工場出荷時設定は、[60]になっています。米国以外の出荷時標準設定は[64]です。
PCL5 の最小線幅 1 ~ 2(30*)	初期最小ストローク幅を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 1200 dpi で印刷されるジョブでは、この値がそのまま使用されます。 4800CQ で印刷されるジョブでは、この値の半分が使用されます。
PCLXL の最小線幅 1 ~ 2(30*)	
A4 サイズの幅 198 mm* 203 mm	A4 サイズの用紙の論理ページ幅を設定します。 メモ: 論理ページとは、データが印刷される物理的な用紙上のスペースのことです。
LF 後に CR を自動実行 オン オフ *	改行制御コマンドの後にキャリッジリターンを実行します。 メモ: キャリッジリターンは、同じ線上の最初の位置にカーソルを移動するようにプリンタに命令するメカニズムです。
CR 後に LF を自動実行 オン オフ *	キャリッジリターン制御コマンドの後に改行を実行するかどうかを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
トレイ番号変更 多目的フィーダー割当 オフ* なし 0 ~ 201 トレイ [X] 割当て オフ* なし 0 ~ 201 手差し用紙割当て オフ* なし 0 ~ 201 手差し封筒を割当て オフ* なし 0 ~ 201	給紙トレイの割り当てが異なるプリンタドライバまたはアプリケーションで動作するようにプリンタを設定します。
トレイ番号変更 出荷時初期設定の表示	各給紙トレイに割り当てられている工場出荷時設定を表示します。
トレイ番号変更 初期設定に復元	すべての給紙トレイの割り当てが出荷時標準値に戻ります。
印刷タイムアウト 無効 1 ~ 255(90*)	指定した時間(秒)アイドル状態が続いた場合に印刷ジョブを終了するようにプリンタを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

HTML

メニュー項目	説明
フォント名 [フォントの一覧](Times*)	HTML ドキュメントに使用するフォントを設定します。
フォントサイズ 1 ~ 255(12*)	HTML ドキュメントで使用するフォントサイズを設定します。
倍率 1 ~ 400%(100*)	HTML ドキュメントを拡大/縮小します。
原稿の向き 縦* 横	HTML ドキュメントのページの向きを設定します。
余白 8 ~ 255 mm(19*)	HTML ドキュメントのページ余白を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
下地 印刷しない 印刷 *	HTML ドキュメントの背景情報またはグラフィックスを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

イメージ

メニュー項目	説明
自動合わせ オフ オン *	イメージで利用可能な最適な用紙サイズと向きの設定を選択します。 メモ: [オン]に設定した場合、このメニュー項目では、イメージの拡大/縮小と向きの設定は上書きされます。
反転 オフ * オン	モノクロ 2 階調のイメージを反転します。 メモ: このメニュー項目は、GIF または JPEG イメージには適用されません。
倍率 自動合わせ * 左上隅に固定 中央に固定 高さ/幅に合わせる 高さに合わせる 幅に合わせる	イメージ印刷領域に合わせてイメージを調整します。 メモ: [自動合わせ]を[オン]に設定すると、[倍率]は自動的に[自動合わせ]に設定されます。
原稿の向き 縦 * 横 縦の反転 横の反転	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

用紙

トレイ設定

メニュー項目	説明
標準設定給紙トレイ トレイ[x](1*) 多目的フィーダー ¹ 手差し用紙 手動封筒	すべての印刷ジョブの給紙トレイを設定します。 メモ: 多目的フィーダーは、[多目的フィーダー設定]が[トレイ]に設定されている場合のみ、表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
用紙サイズ/タイプ トレイ[x] 多目的フィーダー [*] 手差し用紙 手動封筒	各給紙トレイにセットされている用紙のサイズまたは用紙タイプを指定します。
代替サイズ オフ ステートメント/A5 レター/A4 一覧のすべて*	要求したサイズの用紙が給紙トレイにセットされていない場合に、指定のサイズの用紙を代替で使用するかどうかを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [オフ]に設定すると、必要なサイズの用紙をセットするように画面に指示が表示されます。 [ステートメント/A5]に設定すると、ステートメントがセットされている場合は A5 サイズのドキュメントがステートメントに印刷され、A5 がセットされている場合はステートメントサイズのドキュメントが A5 に印刷されます。 [レター/A4]に設定すると、レターがセットされている場合は A4 サイズのドキュメントがレターに印刷され、A4 がセットされている場合はレターサイズのドキュメントが A4 に印刷されます。 [一覧のすべて]に設定すると、レターと A4 の代替が行われます。
MP を構成する トレイ * 手差し 優先	プリンタで、多目的フィーダーにセットされている用紙をいつ選択するかを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [トレイ]に設定した場合、多目的フィーダーはトレイのように扱われます。 [手差し]に設定した場合、多目的フィーダーは手差しフィーダーのように扱われます。 [優先]に設定すると、要求された給紙トレイや用紙のサイズに関係なく、多目的フィーダーに用紙がセットされている場合は多目的フィーダーから用紙が選択されます。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

用紙構成

ユニバーサル設定

メニュー項目	説明
長さの単位 インチ mm	ユニバーサル用紙の長さの単位を指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は[インチ]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[mm]になっています。
縦長の幅 3 ~ 14.17 インチ(8.50 *) 76 ~ 359.91 mm(216 *)	ユニバーサル用紙の縦長の幅を設定します。
縦長の高さ 3 ~ 14.17 インチ(14 *) 76 ~ 359.91 mm(356 *)	ユニバーサル用紙の縦長の高さを設定します。
給紙方向 短辺 * 長辺	プリンタが短辺と長辺のいずれから用紙を選択するかを設定します。 メモ: [長辺]は、長い方の辺がサポートされる最大幅よりも短い場合にのみ表示されます。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

カスタムスキャンサイズ

メニュー項目	説明
カスタムスキャンサイズ [x] スキャンサイズ名 幅 1 ~ 8.50 インチ(8.50 *) 25 ~ 216 mm(216 *) 高さ 1 ~ 14 インチ(14 *) 25 ~ 356 mm(297 *) 原稿の向き 縦 * 横 2 アップスキャン オフ * オン	スキャンサイズ名を割り当てて、スキャン設定を構成します。

用紙の種類

メニュー項目	説明
普通紙	セットされた用紙の粗さと重さを指定します。
厚紙	以下のオプションから選択します。
OHP フィルム	用紙の粗さ
再生紙	滑らか
ラベル紙	標準 *
ボンド紙	粗い
封筒	用紙の重量
ラフ紙封筒	軽量紙
レターへッド	標準 *
プレプリント	重量紙
カラー用紙	
軽量紙	
重量紙	
ラフ/コットン紙	
ユーザー紙[x]	

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

コピー

コピー初期設定

コピー初期設定

メニュー項目	説明
コンテンツタイプ 文字 文字/写真 * 写真 グラフィックス	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
コンテンツソース モノクロレーザー [*] カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
印刷面 片面 -> 片面 * 片面 -> 両面	原稿に応じてスキャン動作を指定します。
挿入紙 なし * 各コピー部数の間 各ジョブの間 各ページの間	印刷時に空白の挿入紙を挿入するかどうかを指定します。
挿入紙のトレイ指定 トレイ[x](1*) 多目的フィーダー	挿入紙の給紙トレイを指定します。
ページ集約 オフ * 縦 2 in 1 縦 4 in 1 横 2 in 1 横 4 in 1	複数のページ画像を 1 枚の用紙の片面に印刷するように指定します。
ページ枠を印刷 オン オフ *	単一のページに複数のページを印刷する場合に、各画像の周囲に枠線を配置します。
ソート(1 部ごと) オフ[1,1,1,2,2,2] オン「1,2,1,2,1,2」*	順番に複数部印刷します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
[コピー元]のサイズ [用紙サイズのリスト]	<p>原稿の用紙サイズを設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 米国向けの工場出荷時設定は[レター]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 このメニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
[コピー先]の給紙トレイ トレイ[x](1*) 多目的フィーダー ¹ 自動サイズ調整	コピージョブの給紙トレイを指定します。
濃度 1 ~ 9(5*)	スキャンした画像の濃さを調整します。
部数 1 ~ 9999(1*)	部数を指定します。
オーバーレイ コンフィデンシャル コピー ドラフト 緊急 カスタム オフ*	コピージョブの各ページにオーバーレイ印刷する文字を指定します。
カスタムオーバーレイ	カスタムオーバーレイテキストを入力します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

イメージ詳細設定

メニュー項目	説明
カラー削除 なし* レッド グリーン ブルー	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
赤色 初期しきい値 0 ~ 255(128*)	
緑色 初期しきい値 0 ~ 255(128*)	
青色 初期しきい値 0 ~ 255(128*)	
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
コントラスト 原稿内容に最適な設定 * 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを指定します。
下地調整 下地の検出 自動 固定 レベル -4 ~ 4(0 *)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。
自動中央寄せ オフ * オン	コンテンツをページの中央に合わせます。
左右反転 オフ * オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガポジ反転 オフ * オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ調整 -4 ~ 4(0 *)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
端までスキャン オフ * オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3 *)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
OHP フィルム挿入紙 オフ オン*	各 OHP フィルムの間に白紙を挿入します。
優先コピーを許可 オン* オフ	印刷ジョブに割り込んで、ページまたはドキュメントをコピーします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

FAX

FAX モード

メニュー項目	説明
FAX モード FAX * 無効	FAX モードを選択します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。

FAX 設定

一般 FAX 設定

メニュー項目	説明
FAX 名	FAX 機を識別します。
FAX 番号	FAX 番号を識別します。
Fax ID FAX 名 FAX 番号 *	FAX 名または FAX 番号の FAX 受信者に通知します。
手差し FAX を有効化 オフ * オン	プリンタで FAX を手動で送受信する設定を行います。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、[FAX の転送]が[T.38]または[G711]に設定されている場合には表示されません。 このメニュー項目には、電話回線スプリッタと電話の受話器が必要となります。 FAX 着信への応答、および FAX 番号のダイヤルは、通常の電話回線で行います。 手動 FAX 機能に直接移動するには、キーパッドで # と 0 をタッチします。
メモリ割当て すべて受信 ほとんど受信 均等 * ほぼ送信完了 すべて送信	FAX 送受信用に割り当てられた内部プリンタメモリ容量を設定します。 メモ: このメニュー項目により、メモリバッファー状態や FAX の失敗が防止されます。
FAX をキャンセル 許可 * 許可しない	送信 FAX を送信前にキャンセルしたり、受信 FAX を印刷終了前に受信をキャンセルします。
発信者 ID オフ オン * 代替	FAX 送信者の電話番号を表示します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
FAX 番号のマスキング オフ * 左から 右から	送信 FAX 番号をマスキングする形式を指定します。
マスキングする桁数 0 ~ 58(0 *)	送信 FAX 番号をマスクする桁数を指定します。
接続回線の検出を有効化 オフ オン *	電話回線がプリンタに接続されているかどうかを確認します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの電源をオンにしたときと通話前に、検出が行われます。 ・このメニュー項目は、[FAX の転送]が[T.38]に設定されている場合には表示されません。
間違ったジャックの回線の検出を有効化 オフ * オン	電話回線がプリンタの正しいポートに接続されているかどうかを確認します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの電源をオンにしたときと通話前に、検出が行われます。 ・このメニュー項目は、[FAX の転送]が[T.38]に設定されている場合には表示されません。
使用中サポートの拡張を有効化 オフ オン *	同じ回線上の別の電話などの別のデバイスで電話回線が使用されているかどうかを確認します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> ・このメニュー項目により、プリンタの電源をオンにした後は常に監視が行われます。 ・このメニュー項目は、[FAX の転送]が[T.38]に設定されている場合には表示されません。
FAX 互換性の最適化	他の FAX 機との互換性を最適化するために、プリンタの FAX 機能を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

FAX 送信設定

メニュー項目	説明
解像度 標準 * 精細 高精細 超高精細	スキャンした画像の解像度を設定します。 メモ: 解像度を高くするほど FAX 送信にかかる時間が長くなり、多くのメモリが必要となります。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿のサイズを指定します。 メモ: 米国向けの工場出荷時設定は[大きさ混合]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。
原稿の向き 縦 * 横	原稿の向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
印刷面 オフ * 長辺 短辺	両面の原稿をスキャンする際のテキストおよびグラフィックスの向きを指定します。
コンテンツタイプ 文字 * 文字/写真 写真 グラフィックス	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
コンテンツソース モノクロレーザー [*] カラーレーザー * インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
濃度 1 ~ 9(5*)	スキャンした画像の濃さを調整します。
PABX 接続設定 オン オフ *	プリンタで、ダイヤルトーンを待機することなく FAX 番号をダイヤルするかどうかを設定します。 メモ: 構内自動交換機(PABX)は、単一のアクセス番号で外部発信者に複数の回線を共有するための電話網です。
ダイヤルモード トーン * パルス	送信 FAX または受信 FAX のダイヤルモードを指定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

イメージ詳細設定

メニュー項目	説明
カラー削除 なし * レッド グリーン ブルー	スキャン中にドロップアウトさせるカラーを指定し、そのカラーのドロップアウト設定を調整します。
赤色 初期しきい値 0 ~ 255(128*)	
緑色 初期しきい値 0 ~ 255(128*)	
青色 初期しきい値 0 ~ 255(128*)	

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
コントラスト 原稿内容に最適な設定 * 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを設定します。
下地調整 下地の検出 自動 * 固定 レベル -4 ~ 4(0 *)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 原稿から背景色を削除する場合は、[背景の検出]を[自動]に設定します。写真から画像ノイズを除去する場合は、[背景の検出]を[固定]に設定します。
左右反転 オン オフ *	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガポジ反転 オン オフ *	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ調整 -4 ~ 4(0 *)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
端までスキャン オン オフ *	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3 *)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0 *)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
自動リダイヤル 0 ~ 9(5 *)	受信側 FAX 機器のアクティビティレベルに応じて、リダイヤル回数を調整します。
リダイヤル頻度 1 ~ 200 分(3 *)	FAX が正常に送信される確率を高めるために、リダイヤル再試行までの間隔を長くします。
ECM を有効化 オン * オフ	FAX ジョブのエラー訂正モード(ECM)を有効にします。 メモ: FAX 送信処理において、電話回線ノイズや低下した信号強度のために、FAX 送信で発生したエラーを ECM が検出および修正します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
FAX スキャンを有効化 オン* オフ	プリンタでスキャンした原稿を FAX します。
PC-FAX オン* オフ	プリンタドライバによる FAX 送信を許可します。
ショートカットとして保存を許可 オン* オフ	FAX 番号をショートカットとしてプリンタに保存できるようにします。
送信最大ピット速度 33600 * 14400 9600 4800 2400	FAX 送信の最大速度を設定します。
カラー FAX スキャン有効化 初期設定でオフ* 初期設定でオン 使用しない 常に使用	FAX のカラースキャンを有効にします。
カラーからモノクロへの自動変換 オン* オフ	カラーの送信 FAX をすべてモノクロに変換します。
FAX 番号を確認 オフ* オン	ユーザーに FAX 番号を確認するように依頼します。
外線発信番号	外線発信番号を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

FAX 受信設定

メニュー項目	説明
呼び出し回数 1 ~ 25(3*)	受信 FAX の着信音の回数を設定します。
自動縮小 オフ オン*	ページに合わせて受信 FAX を縮小します。
トレイ指定 トレイ [x] 多目的フィーダー ¹ 自動*	受信 FAX を印刷する際の給紙トレイを指定します。 メモ: 多目的フィーダーは、オプションの 650 枚デュオトレイが取り付けられている場合にのみ表示されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
印刷面 オフ * オン	用紙の両面に印刷します。
挿入紙 なし * 出力前 出力後	印刷時に空白の挿入紙を挿入するかどうかを指定します。
挿入紙のトレイ指定 トレイ [x](1 *) 多目的フィーダー	挿入紙の給紙源を指定します。 メモ: 多目的フィーダーは、オプションの 650 枚デュオトレイが取り付けられている場合にのみ表示されます。
排紙トレイ 標準排紙トレイ	受信 FAX の排紙トレイを指定します。
FAX フッター オン オフ *	受信 FAX の各ページの下に、送信情報を印刷します。
FAX フッターデータ日時スタンプ 受信 * 印刷	受信 FAX の各ページの下に、タイムスタンプを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理者用設定

メニュー項目	説明
FAX 受信を有効化 オフ オン *	FAX を受信するようにプリンタを設定します。
カラー FAX 受信有効化 オフ オン *	FAX をカラーで受信するようにプリンタを設定します。
発信者番号表示を有効化 オフ オン *	受信 FAX を送信している番号を表示します。
無記名の FAX をブロック オフ * オン	ステーション ID または FAX ID が設定されていない機器から送信された受信 FAX をブロックします。
受信の設定 すべて * 着信音 1 回のみで受信 着信音 2 回のみで受信 着信音 3 回のみで受信 着信音 1 回または 2 回のみで受信 着信音 1 回または 3 回のみで受信 着信音 2 回または 3 回のみで受信	受信 FAX の FAX 専用呼出音を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
自動応答 オフ オン *	FAX を自動で受信するようにプリンタを設定します。
手動応答コード 0 ~ 9(9*)	電話番号パッドでコードを手動で入力し、FAX 受信を開始します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、プリンタと電話が同じ回線を共有している場合のみ、表示されます。 このメニュー項目は、FAX を手動で受信するようにプリンタを設定している場合のみ表示されます。
FAX 転送 印刷 * 印刷して転送 転送	受信 FAX の転送方法を指定します。
転送先 宛先 [x] タイプ ショートカット番号	受信した FAX の転送先を指定します。
確認用 E メール	FAX が正常に転送されると、確認用 E メールが送信されます。 メモ: この E メールは、FTP またはネットワークを共有する送信先に転送する場合のみ、送信されます。
送信最大ビット速度 33600 * 14400 9600 4800 2400	FAX 転送の送信最大ビット速度を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

FAX カバーシートページ

メニュー項目	説明
FAX カバーシートページ 初期設定でオフ * 初期設定でオン 使用しない 常に使用	FAX 送付状ページの設定を構成します。
宛先を含める オフ * オン	
送信者を含める オフ * オン	
送信者名	
本文を含める オフ * オン	
本文:	
ロゴを含める オフ * オン	
フッター[x]を含める オフ * オン	
フッター[x]	

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

FAX ログ設定

メニュー項目	説明
送信ログ周期 常に * 実行しない エラー時のみ	プリンタで送信ログを作成する頻度を指定します。
送信ログ操作 印刷する オフ オン * E メール オフ * オン	FAX の正常送信および送信エラーのログを印刷または E メール送信します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
受信エラーログ 印刷しない * エラー時に印刷	ファクス受信エラーのログを印刷します。
自動印刷ログ オン * オフ	すべての FAX アクティビティを印刷します。
給紙源を記録 トレイ [x](1 *) 多目的フィーダー	ログを印刷する際に用紙を使用する給紙トレイを指定します。
ログ表示 リモート FAX 名 * ダイヤルした番号	リモート FAX 名または FAX 番号で送信者を特定します。
ジョブログを有効化 オン * オフ	すべての FAX ジョブの概要を表示します。
通話ログを有効化 オン * オフ	FAX 発信履歴の概要を表示します。
ログ排出トレイ 標準排紙トレイ * 排紙トレイ[x]	印刷したログの排紙トレイを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

スピーカー設定

メニュー項目	説明
スピーカーモード 常にオフ 常にオン 接続されるまでオン *	FAX のスピーカーモードを設定します。
スピーカー音量 小 大 *	FAX のスピーカー音量を調整します。
着信音量 オフ オン *	着信音量を有効にします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

E メール

E メール設定

メニュー項目	説明
プライマリ SMTP ゲートウェイ	E メール送信用のプライマリ SMTP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力します。
プライマリ SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535(25*)	プライマリ SMTP サーバーのポート番号を入力します。
セカンダリ SMTP ゲートウェイ	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバー IP アドレスまたはホスト名を入力します。
セカンダリ SMTP ゲートウェイポート 1 ~ 65535(25*)	セカンダリまたはバックアップ SMTP サーバーのサーバーポート番号を入力します。
SMTP タイムアウト 5 ~ 30 秒(30*)	SMTP サーバーが応答しない場合、プリンタがタイムアウトするまでの時間を設定します。
返信アドレス	E メールの返信アドレスを指定します。
SMTP の初期設定返信アドレスを常に使用する オン* オフ	SMTP サーバーで標準設定の返信アドレスを常に使用します。
SSL/TLS 使用 無効* ネゴシエーション 必須	暗号化されたリンクを使用して E メールを送信するかどうかを指定します。
信頼済み証明書を使用 オフ オン*	SMTP サーバーにアクセスする際の信頼済み証明書が必要となります。
SMTP サーバー認証 使用しない* Login/Plain NTLM CRAM-MD5 Digest-MD5 Kerberos 5	SMTP サーバーの認証の種類を設定します。
デバイスから送信される E メール なし* デバイスの SMTP 証明書を使用	デバイスから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。
ユーザーから送信される E メール なし* デバイスの SMTP 証明書を使用 セッションユーザー ID およびパスワードを使用 セッション E メールアドレスとパスワードを使用 ユーザーに確認	ユーザーから送信される E メールに資格情報が必要かどうかを指定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
Active Directory デバイス資格証明書を使用 オフ オン *	SMTP サーバーに接続するために、ユーザー資格情報とグループ指定を有効にします。
SMTP サーバーのユーザー ID	SMTP サーバーに接続する際のユーザー ID とパスワードを指定します。
SMTP サーバーのパスワード	
Kerberos 5 レルム	Kerberos 5 認証プロトコルのレルムを指定します。
NTLM ドメイン	NTLM セキュリティプロトコルのドメイン名を指定します。
[SMTP サーバーが設定されていません]エラーを無効にする オフ * オン	[SMTP サーバーが設定されていません]エラーメッセージを非表示にします。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

E メール初期設定

メニュー項目	説明
件名	E メールの件名と本文を指定します。
本文	
ファイル名	スキャン画像のファイル名を指定します。
形式 PDF(.pdf) * TIFF(.tif) JPEG(.jpg) XPS(.xps) TXT(.txt) RTF(.rtf) DOCX(.docx)	スキャン画像のファイル形式を指定します。
グローバル OCR 設定 認識済み言語 自動回転 しみ除去 自動コントラスト補正	光学式文字認識(OCR)の設定を行います。 メモ: このメニュー項目は、OCR ソリューションを購入してインストールしている場合にのみ表示されます。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
PDF 設定 PDF バージョン 1.3 1.4 1.5 * 1.6 1.7 アーカイブバージョン A-1a * A-1b 高圧縮 オフ * オン セキュア オフ * オン 検索可能 オフ * オン アーカイブ(PDF/A) オフ * オン	スキャン画像の PDF 形式を設定します。
原稿の画質 文字 テキスト/写真 * 写真 グラフィック	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
原稿の種類 モノクロレーザー * カラーレーザー ¹ インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿に基づいて、出力結果を向上させます。
カラー モノクロ グレースケール カラー * 自動	画像をスキャンするときのカラーを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
解像度 75 dpi 150 dpi * 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃度 -4 ~ 4(0 *)	スキャンした画像の濃さを調整します。
原稿の向き 縦 * 横	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: 工場出荷時設定は[大きさ混在]になっています。
両面片面選択 オフ * 長辺 短辺	両面の原稿をスキャンする際のテキストおよびグラフィックの向きを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

イメージ詳細設定

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン - 赤 -4 ~ 4(0 *) マゼンタ - 緑 -4 ~ 4(0 *) イエロー - 青 -4 ~ 4(0 *)	スキャン中、カラーの彩度を調整します。
カラー削除 カラー削除 なし * レッド グリーン ブルー 赤色 初期しきい値 0 ~ 255(128 *) 緑色 初期しきい値 0 ~ 255(128 *) 青色 初期しきい値 0 ~ 255(128 *)	スキャン中に削除するカラーを指定し、そのカラーの削除設定を調整します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
自動カラー検出 カラー感度 1 ~ 9(5*) 判別範囲 1 ~ 9(5*) E メールビット深度 1 ビット* 8 ビット	プリンタが原稿から検出するカラーの量を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[カラー]が[自動]に設定されている場合にのみ、表示されます。
JPEG品質 原稿内容に最適な設定 * 5 ~ 95	JPEG 形式のスキャン画像の品質を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 5 に設定すると、ファイルサイズが小さくなりますが、画質も落ちます。 95 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが大きくなります。
コントラスト 原稿内容に最適な設定 * 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを指定します。
下地調整 下地の検出 自動* 固定 レベル -4 ~ 4(0*)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 原稿から背景色を削除する場合は、[下地の検出]を[自動]に設定します。写真から画像ノイズを除去する場合は、[下地の検出]を[固定]に設定します。
鏡像 オフ* オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガポジ反転 オフ* オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ調整 -4 ~ 4(0*)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
ちょっと小さめ(全面) オフ* オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3*)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0*)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
白紙ページ 白紙の除去 白紙ページの感度	白紙ページを含めるかどうかを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

管理制御

メニュー項目	説明
E メールの最大送信サイズ 0 ~ 65535(0*)	各 E メールのファイルサイズの上限を設定します。
メールサイズのエラーメッセージ	E メールがファイルサイズの上限を超えた場合、プリンタから送信されるエラーメッセージを指定します。 メモ: 1,024 文字以下で入力します。
送信先を制限	指定したリストのドメイン名にのみ E メールの送信を制限します。 メモ: カンマを使用して、各ドメインを区切ります。
自分にコピーを送信 表示しない* 初期設定でオン 初期設定でオフ 常にオン	自分自身に E メールのコピーを送信します。
E メール受信者を制限 オフ* オン	E メール受信者数を制限します。
CC:/BCC:を使用 オフ* オン	E メールの CC および BCC を有効にします。
複数ページ TIFF を使用 オン* オフ	単一ページ TIFF ファイルと複数ページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。
TIFF 圧縮 LZW* JPEG	TIFF ファイルの圧縮オプションを設定します。
文字の画質設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の文字の品質を設定します。
文字/写真の画質設定 5 ~ 95(75*)	スキャン画像の文字または写真の品質を設定します。
写真の画質設定 5 ~ 95(50*)	スキャン画像の写真の品質を設定します。
送信ログ ログを印刷* ログを印刷しない エラー時のみ印刷	送信に成功した E メールのログを印刷します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ログのトレイ指定 トレイ[x](1*) 多目的フィーダー	ログを印刷する際に用紙を使用する給紙トレイを指定します。
カスタムジョブスキャン オフ* オン	初期設定でカスタムジョブのスキャンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンプレビュー オフ オン*	ディスプレイにスキャンプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目は、プリンタにハードディスクが取り付けられている場合のみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン*	Eメールアドレスをショートカットとして保存できるようにします。 メモ: [オフ]を選択すると、Eメールの[送信先]画面に[ショートカットとして保存]ボタンが表示されません。
送信される画像 添付ファイル* Web リンク	Eメールで画像を送信する方法を指定します。
送信後に E メール情報をリセットする オフ オン*	Eメールの送信後、初期設定の Eメール情報に戻します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

Web リンク設定

メニュー項目	説明
サーバー	Web リンクとして E メールを送信するように、プリンタを設定します。
ログイン	
パスワード	
パス	
ファイル名	
Web リンク	

FTP

FTP 初期設定

メニュー項目	説明
形式 PDF(.pdf) * TIFF(.tif) JPEG(.jpg) XPS(.xps) TXT(.txt) RTF(.rtf) DOCX(.docx)	スキャン画像のファイル形式を指定します。 メモ: メニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
グローバル OCR 設定 認識済み言語 自動回転 しみ除去 自動コントラスト補正	光学式文字認識(OCR)の設定を行います。 メモ: このメニューは、OCR ソリューションを購入してインストールしている場合のみ表示されます。
PDF 設定 PDF バージョン 1.3 1.4 1.5 * 1.6 1.7 アーカイブバージョン A-1a * A-1b 高圧縮 オフ * オン セキュア オフ * オン 検索可能 オフ * オン アーカイブ(PDF/A) オフ * オン	スキャン画像の PDF 形式を設定します。
コンテンツタイプ 文字 テキスト/写真 * グラフィック 写真	原稿の内容に基づいて、出力結果を向上させます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
コンテンツソース モノクロレーザー [*] カラーレーザー [*] インクジェット 写真/フィルム 雑誌 新聞 出版物 その他	原稿のソースに基づいて、出力結果を向上させます。
カラー モノクロ グレースケール カラー [*] 自動	画像をスキャンするときのカラーを指定します。
解像度 75 dpi 150 dpi [*] 200 dpi 300 dpi 400 dpi 600 dpi	スキャンした画像の解像度を設定します。
濃度 -4 ~ 4(0 [*])	スキャンした画像の濃さを調整します。
原稿の向き 縦 [*] 横	ページに印刷される文字や画像の向きを指定します。
原稿サイズ [用紙サイズのリスト]	原稿の用紙サイズを設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 米国向けの工場出荷時設定は[レター]になっています。その他の国の工場出荷時設定は[A4]になっています。 メニュー項目は、お使いのプリンタ機種によって異なります。
印刷面 オフ [*] 長辺 短辺	両面の原稿をスキャンする際のテキストおよびグラフィックの向きを指定します。
ファイル名	スキャン画像のファイル名を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

イメージ詳細設定

メニュー項目	説明
カラーバランス シアン - 赤 -4 ~ 4(0 *) マゼンタ - 緑 -4 ~ 4(0 *) イエロー - 青 -4 ~ 4(0 *)	スキャン中、カラーの彩度を調整します。
カラー削除 カラー削除 なし* レッド グリーン ブルー 赤色 初期しきい値 0 ~ 255(128 *) 緑色 初期しきい値 0 ~ 255(128 *) 青色 初期しきい値 0 ~ 255(128 *)	スキャン中に削除するカラーを指定し、そのカラーの削除設定を調整します。
自動カラー検出 カラー感度 1 ~ 9(5 *) 判別範囲 1 ~ 9(5 *) FTP ビット深度 1 ビット * 8 ビット	プリンタが原稿から検出するカラーの量を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[カラー]が[自動]に設定されている場合にのみ、表示されます。
JPEG 品質 原稿内容に最適な設定 * 5 ~ 95	JPEG 形式画像の品質を設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> 5 に設定すると、ファイルサイズが小さくなりますが、画質も落ちます。 90 に設定すると、画質は最高になりますが、ファイルサイズが大きくなります。
コントラスト 原稿内容に最適な設定 * 0 1 2 3 4 5	出力のコントラストを指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
下地調整 下地の検出 自動 * 固定 レベル -4 ~ 4(0 *)	スキャン画像における背景の濃さを調節します。 メモ: 原稿から背景色を削除する場合は、[下地の検出]を[自動]に設定します。写真から画像ノイズを除去する場合は、[下地の検出]を[固定]に設定します。
左右反転 オフ * オン	原稿を左右反転した画像を作成します。
ネガポジ反転 オフ * オン	原稿のネガイメージを作成します。
シャドウ調整 -4 ~ 4(0 *)	スキャン画像におけるシャドウ部の濃さを調節します。
端までスキャン オフ * オン	原稿の端までスキャンできます。
シャープネス 1 ~ 5(3 *)	スキャン画像のシャープネスを調整します。
色温度 -4 ~ 4(0 *)	寒色の強い出力を生成するか暖色の強い出力を生成するかを指定します。
空白ページ 白紙の除去 空白ページの感度	空白ページを含めるかどうかを指定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

管理制御

メニュー項目	説明
文字の画質設定 5 ~ 95(75 *)	スキャン画像の文字の品質を設定します。
文字/写真の画質設定 5 ~ 95(75 *)	スキャン画像の文字または写真画像の品質を設定します。
写真の画質設定 5 ~ 95(50 *)	スキャン画像の写真画像の品質を設定します。
複数ページ TIFF を使用 オン * オフ	単一ページ TIFF ファイルと複数ページ TIFF ファイルのどちらを使用するかを選択します。
TIFF 圧縮 LZW * JPEG	TIFF ファイルの圧縮オプションを設定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
送信ログ ログを印刷 * ログを印刷しない エラー時のみ印刷	成功した FTP スキャン送信のログを印刷します。
ログのトレイ指定 トレイ[x] (1 *) 多目的フィーダー	FTP ログを印刷する際の給紙源を指定します。
カスタムジョブスキヤン オフ * オン	初期設定でカスタムジョブのスキヤンをオンにします。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
スキャンプレビュー オフ オン *	ディスプレイにスキャンのプレビューを表示します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
ショートカットとして保存を許可 オフ オン *	カスタム FTP 設定をショートカットとして保存します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

ネットワーク/ポート

ネットワークの概要

メニュー項目	説明
アクティブアダプタ 自動 * 標準ネットワーク	ネットワークの接続方法を指定します。
ネットワーク状況	プリンタのネットワークの接続状態を示します。
プリンタにネットワークの状態を表示 オン * オフ	ディスプレイにネットワーク状態を表示します。
速度、通信モード	現在有効になっているネットワークカードの速度を示します。
IPv4	IPv4 アドレスを表示します。
すべての IPv6 アドレス	すべての IPv6 アドレスを表示します。
プリントサーバーをリセット	プリンタへのアクティブなネットワーク接続すべてをリセットします。 メモ: この設定により、すべてのネットワーク設定が削除されます。
ネットワークジョブのタイムアウト オフ オン * (90 秒)	ネットワークの印刷ジョブがキャンセルされるまでの秒数を設定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
バナーページ オフ * オン	バナーページを印刷します。
PC ポートのスキャン範囲 9751:12000 *	ポートをブロックしているファイアウォールの背後にあるプリンタに対して、有効なポート範囲を指定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

ワイヤレス

メモ: このメニューは、Wi-Fi ネットワークに接続されているプリンタまたはワイヤレスネットワークアダプタが内蔵されているプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
モバイルアプリを使用した設定	Lexmark Mobile Assistant を使用して Wi-Fi 接続を設定します。
プリンタパネルで設定 ネットワークを選択 Wi-Fi ネットワークを追加 ネットワーク名 ネットワークモード インフラストラクチャ ワイヤレスセキュリティモード 無効 * WEP WPA2/WPA - Personal WPA2 - Personal 802.1x - RADIUS	操作パネルを使用して Wi-Fi 接続を設定します。 メモ: 802.1x - RADIUS は、EWS からのみ設定できます。
Wi-Fi Protected Setup WPS 自動検出 オフ オン * プッシュボタン方式を開始する 暗証番号方式を開始	Wi-Fi ネットワークを確立して、ネットワークセキュリティを有効にします。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> WPS 自動検出は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WEP]に設定されている場合にのみ表示されます。 [プッシュボタン方式を開始]を選択した場合、プリンタとアクセスポイント(ワイヤレスルーター)の両方のボタンを一定時間内に押すと、プリンタが Wi-Fi ネットワークに接続されます。 [暗証番号方式を開始]では、プリンタの暗証番号がアクセスポイントのワイヤレス設定に入力されると、プリンタが Wi-Fi ネットワークに接続されます。
ネットワークモード BSS タイプ インフラストラクチャ *	ネットワークモードを指定します。
Wi-Fi ダイレクトを有効化 オン オフ *	Wi-Fi Direct 対応デバイスを有効化して、プリンタに直接接続します。

メニュー項目	説明
互換性 802.11b/g/n(2.4GHz) * 802.11a/b/g/n/ac(2.4GHz/5GHz) 802.11a/n/ac(5GHz)	Wi-Fi ネットワークの規格を指定します。 メモ: 802.11a/b/g/n/ac(2.4GHz/5GHz)および802.11a/n/ac(5GHz)は、Wi-Fi オプションがインストールされている場合にのみ表示されます。
ワイヤレスセキュリティモード 無効 * WEP WPA2/WPA - Personal WPA2 - Personal 802.1x - RADIUS	プリンタを Wi-Fi デバイスに接続する際のセキュリティモードを設定します。 メモ: 802.1x - RADIUS は、EWS からのみ設定できます。
WEP 認証モード 自動 * オープン 共有	プリンタの WEP (Wireless Encryption Protocol) の種類を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WEP]に設定されている場合にのみ表示されます。
WEP キーの設定	安全な Wi-Fi 接続のための WEP パスワードを指定します。
WPA2/WPA - Personal AES	WPA (Wi-Fi Protected Access) を使用した Wi-Fi セキュリティを有効化します。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WPA2/WPA - Personal]に設定されている場合にのみ表示されます。
事前共有キーの設定	安全な Wi-Fi 接続のためのパスワードを指定します。
WPA2 - Personal AES	WPA2 を使用した Wi-Fi セキュリティを有効化します。 メモ: このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[WPA2 - Personal]に設定されている場合にのみ表示されます。
802.1x 暗号化モード WPA+ WPA2 *	802.1x 規格を使用した Wi-Fi セキュリティを有効化します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> このメニュー項目は、[ワイヤレスセキュリティモード]が[802.1x - RADIUS]に設定されている場合にのみ表示されます。 802.1x - RADIUS は、EWS からのみ設定できます。
IPv4 DHCP を有効化 オン * オフ 静的 IP アドレスを設定 IP アドレス ネットマスク ゲートウェイ	プリンタの IPv4 設定を有効化して設定します。

メニュー項目	説明
IPv6 IPv6 を有効化 オン * オフ DHCPv6 を有効化 オン オフ * ステートレスアドレスの自動設定 オン * オフ DNS サーバーアドレス IPv6 アドレス(手動割り当て) IPv6 ルーター(手動割り当て) アドレスプレフィックス すべての IPv6 アドレス すべての IPv6 ルーターアドレス	プリンタの IPv6 設定を有効化して設定します。
ネットワークアドレス UAA LAA	ネットワークアドレスを表示します。
PCL SmartSwitch オフ オン *	印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PCL スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS SmartSwitch オフ オン *	印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PS スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
ジョブバッファリング オン オフ *	印刷を実行する前に、プリンタのハードディスクに印刷ジョブを一時保存します。 メモ: このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
Mac バイナリ PS 自動 * オン オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> • [オン]を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。 • [オフ]を選択すると、標準プロトコルにて印刷ジョブがフィルタされます。

イーサネット

メニュー項目	説明
ネットワーク速度	アクティブなネットワークアダプタの速度を表示します。
IPv4 DHCP を有効化 オン * オフ	動的ホスト構成プロトコル(DHCP)を有効にします。 メモ: DHCP は、サーバーで IP アドレスと構成情報をクライアントに動的に割り当てる標準プロトコルです。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
IPv4 静的 IP アドレスを設定 IP アドレス ネットマスク ゲートウェイ	プリンタの静的 IP アドレスを設定します。
IPv6 IPv6 を有効化 オフ オン *	プリンタの IPv6 を有効にします。
IPv6 DHCPv6 を有効化 オフ * オン	プリンタの DHCPv6 を有効にします。
IPv6 ステートレスアドレスの自動設定 オフ オン *	ルーターから送信される自動 IPv6 アドレス構成エントリを受信できるように、ネットワークアダプタを設定します。
IPv6 DNS サーバーアドレス	DNS サーバーアドレスを指定します。
IPv6 IPv6 アドレス(手動割り当て)	IPv6 アドレスを割り当てます。
IPv6 IPv6 ルーター(手動割り当て)	IPv6 アドレスを割り当てます。
IPv6 アドレスプレフィックス 0 ~ 128(64 *)	アドレスプレフィックスを指定します。
IPv6 すべての IPv6 アドレス	すべての IPv6 アドレスを表示します。
IPv6 すべての IPv6 ルーターアドレス	すべての IPv6 ルーターアドレスを表示します。
ネットワークアドレス UAA LAA	プリンタの MAC(Media Access Control)アドレスを、LAA(Locally Administered Address)または UAA(Universally Administered Address)で示します。 メモ: プリンタの LAA は、手動で変更できます。
PCL スマートスイッチ オフ オン *	印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PCL エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PCL スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS スマートスイッチ オフ オン *	印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、自動的に PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PS スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
Mac バイナリ PS 自動 * オン オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> [オン]を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。 [オフ]を選択すると、標準プロトコルにて印刷ジョブがフィルタされます。
省電力型イーサネット オフ オン *	プリンタがイーサネットネットワークからデータを受信しない場合に、電力消費を節約します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

TCP/IP

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタ、またはプリントサーバーに接続されているプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
ホスト名を設定	現在の TCP/IP ホスト名を設定します。
ドメイン名	ドメイン名を設定します。
DHCP/BOOTP を許可して NTP サーバーを更新 オン * オフ	DHCP および BOOTP クライアントによる、プリンタの NTP 設定の更新を許可します。
ゼロ構成名	ゼロ構成ネットワークのサービス名を指定します。
自動 IP を有効化 オン * オフ	IP アドレスを自動的に割り当てます。
DNS アドレス	現在のドメイン名システム(DNS)サーバーアドレスを指定します。
バックアップ DNS アドレス	バックアップ DNS サーバーアドレスを指定します。
バックアップ DNS アドレス 2	
バックアップ DNS アドレス 3	
ドメイン検索順序	ドメイン名のリストを指定して、ネットワーク上の異なるドメインに存在するプリンタとそのリソースを確認します。
DDNS を有効化 オン * オフ	動的 DNS 設定を更新します。
DDNS TTL	現在の DDNS 設定を指定します。
初期設定 TTL	
DDNS 更新時間	
mDNS を有効化 オフ オン *	マルチキャスト DNS 設定を更新します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
WINS アドレス	Windows インターネット ネームサービス(WINS)のサーバーアドレスを指定します。
BOOTP を有効化 オフ * オン	BOOTP によるプリンタの IP アドレスの割り当てを許可します。
制限サーバーリスト	TCP 接続のための IP アドレスを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none">• カンマを使用して、各 IP アドレスを区切ります。• 最大 50 件の IP アドレスを追加できます。
制限サーバーリストのオプション すべてのポートをブロック * 印刷のみをブロック 印刷および HTTP のみをブロック	リスト内の IP アドレスがプリンタ機能にアクセスする方法を指定します。
MTU	TCP 接続のための最大伝送単位(MTU)パラメータを指定します。
RAW 印刷ポート 1 ~ 65535(9100 *)	ネットワーク上で接続されるプリンタの RAW ポート番号を指定します。
アウトバウンドトラフィックの最高速度 オフ * 100 ~ 1000000	プリンタの最大転送レートを有効にします。
SSLv2 を有効化 オフ * オン	SSLv2 プロトコルを有効にします。
SSLv3 を有効化 オフ * オン	SSLv3 プロトコルを有効にします。
TLSv1.0 を有効化 オフ オン*	TLSv1.0 プロトコルを有効にします。
TLSv1.1 を有効化 オフ オン*	TLSv1.1 プロトコルを有効にします。
SSL 暗号リスト	SSL 接続または TLS 接続に使用する暗号アルゴリズムを指定します。
DNS を使用してホスト名を解決する オフ オン*	DNS を使用して、ホスト名を IP アドレスに解決します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

SNMP

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
SNMP バージョン 1、2c 有効 オフ オン * SNMP の設定を許可 オフ オン * PPM MIB を有効化 オフ オン * SNMP コミュニティ	簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)のバージョン 1 および 2c を構成して、プリンタドライバとアプリケーションをインストールします。
SNMP バージョン 3 有効 オフ オン * 読み取り/書き込み認証資格情報の設定 ユーザー名 パスワード 読み取り専用認証資格情報の設定 ユーザー名 パスワード 認証ハッシュ MD5 SHA1 * 最小認証レベル 認証なし、暗号化なし 認証あり、暗号化なし 認証あり、暗号化あり * 暗号化アルゴリズム DES AES-128 *	SNMP バージョン 3 を構成して、プリンタのセキュリティをインストールおよび更新します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

IPSec

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
IPSec を有効化 オフ * オン	IPSec(Internet Protocol Security)を有効にします。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。

メニュー項目	説明
基本構成 初期設定 * 互換性 セキュア	IPSec の基本構成を設定します。 メモ: このメニュー項目は、[IPSec を有効化]が[オン]に設定されている場合にのみ表示されます。
IPSec デバイス証明書	IPSec 証明書を指定します。 メモ: このメニュー項目は、[基本構成]が[互換性]に設定されている場合にのみ表示されます。
事前共有鍵認証済み接続 ホスト [x] アドレス キー	プリンタの認証済みの接続を設定します。 メモ: これらのメニュー項目は、[IPSec を有効化]が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。
証明書認証接続 ホスト [x] アドレス[/サブネット] アドレス[/サブネット]	

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。

802.1x

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
有効 オフ * オン	アクセスを許可する前に認証を要求するネットワークにプリンタが参加できるようにします。 メモ: このメニュー項目を設定するには、EWS にアクセスします。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が出荷時初期設定であることを示します。	

LPD 設定

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタまたはプリントサーバーに接続したプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
LPD タイムアウト 0 ~ 65535 秒(90 *)	タイムアウト値を設定して、Line Printer Daemon(LPD)サーバーが停止または無効な印刷ジョブのために無制限に待機しないようにします。
LPD バナーページ オフ * オン	すべての LPD 印刷ジョブのバナーページを印刷します。 メモ: バナーページは、印刷ジョブの最初のページで、印刷ジョブの区切りとして使用され、印刷ジョブ要求の送信元を識別します。
LPD 最終ページ オフ * オン	すべての LPD 印刷ジョブの最終ページを印刷します。 メモ: 最終ページは、印刷ジョブの最後のページです。
LPD キャリッジリターン変換 オフ * オン	キャリッジリターン変換を有効にします。 メモ: キャリッジリターンは、同じ線上の最初の位置にカーソルを移動するようにプリンタに命令するメカニズムです。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

HTTP/FTP の設定

メモ: このメニューは、ネットワークプリンタ、またはプリントサーバーに接続されているプリンタでのみ表示されます。

メニュー項目	説明
HTTP サーバを有効化 オフ オン *	EWS にアクセスして、プリンタの監視および管理を行います。
HTTPS を有効化 オフ オン *	ハイパーテキスト転送プロトコルセキュア(HTTPS)設定を構成します。
FTP/TFTP を有効化 オフ オン *	FTP を使用して、ファイルを送信します。
ローカルドメイン	HTTP および FTP サーバーのドメイン名を指定します。 メモ: このメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
HTTP プロキシ IP アドレス	HTTP および FTP サーバーの設定を構成します。
FTP プロキシ IP アドレス	メモ: これらのメニュー項目は、一部のプリンタ機種にのみ表示されます。
HTTP 標準 IP ポート 1 ~ 65535(80 *)	
HTTPS デバイス証明書	
FTP 標準 IP ポート 1 ~ 65535(21 *)	
HTTP/FTP 要求のタイムアウト 1 ~ 299(30 *)	サーバー接続が停止するまでの時間を指定します。
HTTP/FTP 要求の再試行回数 1 ~ 299(3 *)	HTTP/FTP サーバーへの接続を再試行する回数を設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

ThinPrint

メニュー項目	説明
ThinPrint を有効化 オフ オン *	ThinPrint を使用して印刷します。
ポート番号 4000 ~ 4999(4000 *)	ThinPrint サーバーのポート番号を設定します。
帯域幅(ビット/秒) 0 * 100 ~ 1000000	ThinPrint 環境でデータを転送する速度を設定します。
パケットサイズ(KB) 0 ~ 64000(0 *)	データ転送のパケットサイズを設定します。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

USB

メニュー項目	説明
PCL SmartSwitch オン* オフ	USB ポート経由で受信された印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、PCL 設定に切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PCL スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
PS SmartSwitch オン* オフ	USB ポート経由で受信された印刷ジョブで必要な場合、デフォルトのプリンタ言語に関係なく、PS エミュレーションに切り替えるようにプリンタを設定します。 メモ: PS スマートスイッチがオフの場合、プリンタは受信データを確認せず、[設定]メニューで指定されたデフォルトのプリンタ言語が使用されます。
Mac バイナリ PS 自動 * オン オフ	Macintosh のバイナリ PostScript の印刷ジョブを処理するように設定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none">• [オン]を選択すると、Raw バイナリ PostScript の印刷ジョブが処理されます。• [オフ]を選択すると、標準プロトコルにて印刷ジョブがフィルタされます。
USB ポートを有効化 有効化 * 無効	標準 USB ポートを有効にします。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

Google クラウド プリント

メニュー項目	説明
登録 登録	Google クラウドプリントサーバーにプリンタを登録します。
オプション Google クラウドプリントを有効化 オフ オン *	Google アカウントから直接印刷します。
オプション ローカルディスカバリを有効化 オフ オン *	登録ユーザーおよび同じサブネットの他のユーザーがプリンタにローカルにジョブを送信できるようにします。
オプション SSL ピア検証を有効化 オフ オン *	Google アカウントに接続するために、ピア証明書の信頼性を確認します。
オプション 常に画像として印刷 オフ * オン	PDF ファイルを画像として処理するように設定して高速で印刷できます。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

wifi ダイレクト

メモ: このメニューは、ダイレクト Wi-Fi ネットワークがアクティブなネットワークの場合にのみ表示されます。

メニュー項目	説明
SSID	Wi-Fi ネットワークの SSID (Service Set Identifier) を指定します。
事前共有キーを設定	Wi-Fi 接続時にユーザーを認証および検証するための事前共有キー (PSK) を設定します。
設定ページに PSK を表示 オフ オン *	ネット設定ページに PSK を表示します。
グループオーナー IP アドレス	グループオーナーの IP アドレスを指定します。
自動受け付けプッシュボタン要求 オフ * オン	ネットワークへの接続リクエストを自動的に受け付けます。 メモ: クライアントの自動受け付けはセキュリティ保護されません。

メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が出荷時初期設定であることを示します。

セキュリティ

セキュリティ監査ログ

メニュー項目	説明
監査を有効化 オフ * オン	セキュリティ監査ログとリモート Syslog にイベントを記録します。
リモート Syslog を有効化 オフ * オン	監査ログをリモートサーバーに送信します。
リモート Syslog サーバー	リモート Syslog サーバーを指定します。
リモート Syslog ポート 1 ~ 65535(514 *)	リモート Syslog ポートを指定します。
リモート Syslog 方式 通常の UDP * スプリットトンネリング	ログに記録されたイベントをリモートサーバに送信する Syslog 方式を指定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク (*) は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

メニュー項目	説明
リモート Syslog ファシリティ 0 - カーネルメッセージ 1 - ユーザーレベルメッセージ 2 - メールシステム 3 - システムデーモン 4 - セキュリティ/承認メッセージ * 5 - Syslog で内部的に生成されたメッセージ 6 - ラインプリンタサブシステム 7 - ネットワークニュースサブシステム 8 - UUCP サブシステム 9 - クロックデーモン 10 - セキュリティ/承認メッセージ 11 - FTP デーモン 12 - NTP サブシステム 13 - ログ監査 14 - ログアラート 15 - クロックデーモン 16 - ローカル使用 0(local0) 17 - ローカル使用 1(local1) 18 - ローカル使用 2(local2) 19 - ローカル使用 3(local3) 20 - ローカル使用 4(local4) 21 - ローカル使用 5(local5) 22 - ローカル使用 6(local6) 23 - ローカル使用 7(local7)	リモートサーバーにログイベントを送信する際に、プリンタが使用するファシリティコードを指定します。
ログ記録するイベントの重要度 0 - 緊急 1 - アラート 2 - クリティカル 3 - エラー 4 - 警告 * 5 - 通知 6 - 情報 7 - デバッグ	メッセージとイベントを記録するための優先度レベル条件を指定します。
リモート Syslog にログ記録しないイベント オフ * オン	重要度に関係なく、すべてのイベントがリモートサーバーに送信されます。
管理者の E メールアドレス	記録されたイベントの E メール通知が管理者に送信されます。
ログ消去 E メールアラート オフ * オン	ログエントリが削除された場合、E メール通知が管理者に送信されます。
E メールログラップアラート オフ * オン	E メールログラップアラート-ログが満杯になり、最も古いエントリの上書きが開始される場合、E メール通知が管理者に送信されます。
メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。	

メニュー項目	説明
ログ満杯時の動作 古いエントリをラップオーバーする * ログを E メール送信し、全エントリを削除	割り当てられたメモリがログで満杯になった場合、ログ保存の問題を解決します。
E メール % フルアラート オフ * オン	割り当てられたメモリがログで満杯になった場合、E メール通知が管理者に送信されます。
% 満杯アラートレベル 1 ~ 99 (90 *)	
ログエクスポート E メールアラート オフ * オン	ログがエクスポートされた場合、E メール通知が管理者に送信されます。
ログ設定変更 E メールアラート オフ * オン	[監査を有効化]が設定された場合、E メール通知が管理者に送信されます。
ログの行末尾 LF(\n)* CR(\r) CRLF(\r\n)	ログファイルの各行の末尾の終了方法を指定します。
エクスポートにデジタル署名 オフ * オン	エクスポートされた各ログファイルにデジタル署名を追加します。
ログをクリア	すべての監査ログを削除します。
ログをエクスポート Syslog(RFC 5424) Syslog(RFC 3164) CSV	セキュリティログをフラッシュメモリにエクスポートします。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

ログイン制限

メニュー項目	説明
ログイン失敗許容回数 1 ~ 10 (3*)	[ログイン失敗許容回数]では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限回数を指定します。
ログイン失敗許容時間 1 ~ 60 分 (5*)	[ログイン失敗許容回数]では、ユーザーがロックアウトされる前にログイン失敗できる上限時間を指定します。
ロックアウト時間 1 ~ 60 分 (5*)	ロックアウト時間を指定します。
Web ログインのタイムアウト 1 ~ 120 分 (10*)	ユーザーが自動的にログオフされる前のリモートログインの遅延を指定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

コンフィデンシャル印刷設定

メニュー項目	説明
無効暗証番号許容回数 2 ~ 10	<p>無効な PIN を入力できる回数を設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 値を 0 にすると、この設定はオフになります。 • この上限回数に達すると、該当するユーザー名と暗証番号(PIN)に対する印刷ジョブが削除されます。 • このメニュー項目はハードディスクがある場合にのみ表示されます。
コンフィデンシャルジョブ期限切れ オフ* 1 時間 4 時間 24 Hours(24 時間表示) 1 週間	<p>コンフィデンシャル印刷ジョブの有効期限を設定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンフィデンシャル印刷ジョブがプリンタのメモリまたはハードディスクにあるときにこのメニュー項目が変更された場合、それらの印刷ジョブの有効期限は新しい設定値に変更されません。 • プリンタの電源がオフになると、プリンタのメモリにあったコンフィデンシャルジョブはすべて削除されます。
期限切れジョブの繰り返し オフ* 1 時間 4 時間 24 Hours(24 時間表示) 1 週間	繰り返すプリントジョブの有効期限を設定します。
期限切れジョブの確認 オフ* 1 時間 4 時間 24 Hours(24 時間表示) 1 週間	残りのコピーを印刷する前に、ユーザーが印刷品質を確認するためのコピーを実行する有効期限を設定します。
期限切れジョブの予約 オフ* 1 時間 4 時間 24 Hours(24 時間表示) 1 週間	後で印刷する予約印刷ジョブがプリンタに保存される有効期限を設定します。
すべてのジョブを保持する オフ* オン	すべてのプリントジョブを保留にするように、プリンタを設定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

ソリューション LDAP 設定

使用	目的
LDAP 参照を許可 オフ* オン	ドメイン内の異なるサーバーでログインしているユーザー アカウントを検索します。

使用	目的
LDAP 証明書の確認 いいえ * はい	LDAP 証明書の検証を有効にします。

モバイルサービスの管理

使用	目的
AirPrint 印刷 スキャン FAX	AirPrint ソフトウェア機能を有効にします。

その他

メニュー項目	説明
印刷許可 オン オフ *	ユーザーによる印刷を許可します。
セキュリティリセット設定 [ゲスト]アクセスを有効化 * 効果なし	セキュリティリセットジャンパ使用時の動作を指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> ジャンパは、コントローラボードのロックアイコンの横にあります。 「ゲスト」アクセスを有効にすると、ゲストにフルアクセス制御が提供されます。 【効果なし】を選択すると、プリンタのセキュリティ設定はリセットされません。
パスワードの最小の長さ 0 ~ 32(0 *)	パスワードの最小文字数を指定します。

メモ: 値の横にあるアスタリスク(*)は、その値が工場出荷時設定であることを示します。

レポート

メニュー設定ページ

メニュー項目	説明
メニュー設定ページ	プリンタの環境設定、印刷設定および構成に関するレポートを印刷します。

デバイス

メニュー項目	説明
デバイス情報	プリンタに関する情報が記載されているレポートを印刷します。
デバイス統計	プリンタの使用方法と消耗品の状態に関するレポートを印刷します。
プロファイル一覧	プリンタに保存されているプロファイルの一覧を印刷します。

メニュー項目	説明
監査レポート	プリンタのシリアル番号やモデル名などに関するレポートを印刷します。

印刷

メニュー項目	説明
フォント一覧を印刷 PCL フォント PostScript フォント	サンプルおよび各プリンタ言語で使用可能なフォントのサンプルと情報を印刷します。
印刷デモ デモページ	プリンタの機能およびサポートされているソリューションが記載されているページを印刷します。

ショートカット

メニュー項目	説明
すべてのショートカット	プリンタに保存されているショートカットのレポートを印刷します。
FAX ショートカット	
コピー ショートカット	
E メール ショートカット	
FTP ショートカット	
ネットワーク フォルダのショートカット	

FAX

メニュー項目	説明
FAX ジョブログ	送信された過去 200 件の FAX ジョブに関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、[ジョブログを有効化]が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。
FAX 通信ログ	ダイヤル、受信、着信拒否された過去 100 件の FAX に関するレポートを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、[ジョブログを有効化]が[オン]に設定されている場合のみ表示されます。

ネットワーク

メニュー項目	説明
ネット設定ページ	プリンタで設定されているネットワーク設定およびワイヤレス設定が記載されているページを印刷します。 メモ: このメニュー項目は、ネットワークプリンタ(またはプリントサーバーに接続されているプリンタ)でのみ表示されます。

ヘルプ

メニュー項目	説明
すべてのガイドを印刷	すべてのガイドを印刷します。
接続ガイド	プリンタをローカル接続(USB)またはネットワーク接続する方法を説明します。
コピーガイド	コピーの作成および設定の構成に関する情報を提供します。
E メールガイド	E メールの送信および設定の構成に関する情報を提供します。
FAX ガイド	FAX の送信および設定の構成に関する情報を提供します。
FTP ガイド	ドキュメントのスキャンおよび設定の構成に関する情報を提供します。
情報ガイド	プリンタのその他の情報源について情報を提供します。
用紙ガイド	用紙および特殊用紙のセット方法を説明します。
モノクロ品質ガイド	モノクロ印刷品質の設定を説明します。
移動ガイド	プリンタの移動、配置、搬送に関する情報を提供します。
印刷品質ガイド	印刷品質の問題を解決する方法を説明します。
消耗品ガイド	消耗品の注文に関する情報を提供します。

問題に対処する

メニュー項目	説明
印刷品質テストページ	サンプルページを印刷し、印刷品質の不良を特定して修正します。
スキャナの清掃	スキャナの清掃手順を印刷します。

メニュー設定ページを印刷する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [設定] >  > [レポート] > 

2 [メニュー設定印刷]を選択してから、 を押します。

プリンタを保護する

セキュリティスロットの場所

プリンタにはセキュリティロック機能があります。大半のノート型パソコンと互換性のあるセキュリティロックを図に示した場所に取り付けて、プリンタの盗難を防止できます。



プリンタメモリを消去する

揮発性メモリまたはバッファされているデータを消去するには、プリンタの電源をオフにします。

非揮発性メモリまたは個々の設定、デバイスおよびネットワークの設定、セキュリティ設定、および埋め込みソリューションを消去するには、以下を行います。

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[] > [設定] > [OK] > [デバイス] > [OK] > [メンテナンス] > [OK] > [データ完全消去] > [OK]

- 2 [不揮発性メモリにあるすべての情報を消去]を選択してから、[OK] を押します。

- 3 ジョブを開始するには、[続行]を選択してから、[OK] を押します。

- 4 ディスプレイに表示される手順に従います。

工場出荷状態に復元する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

【】 > [設定] > > [デバイス] > > [工場出荷状態に復元] > > [設定を復元] >

2 [すべての設定を復元]を選択してから、 を押します。

3 [復元]を選択してから、 を押します。

工場出荷状態に復元する方法についての総合的な説明は、「[プリンタメモリを消去する](#)」、113 ページ を参照してください。

データの揮発性に関する注意

本プリンタには、デバイスやネットワークの設定、ユーザーデータを保存できるさまざまな種類のメモリが搭載されています。

メモリの種類	説明
揮発性メモリ	標準のランダムアクセスメモリ(RAM)は、簡単な印刷ジョブ中のユーザーデータの一時的なバッファに使用されます。
不揮発性メモリ	プリンタでは EEPROM および NAND(フラッシュメモリ)の 2 種類の不揮発性メモリが 使用されます。どちらの種類も、オペレーティングシステム、デバイス設定、ネットワーク情報の格納に使用されます。

搭載されているプリンタメモリの内容は次の場合に消去してください。

- ・ プリンタを使用しなくなった場合。
- ・ プリンタの使用部署または使用場所を変更する場合。
- ・ 部外者がプリンタの保守を行う場合。
- ・ プリンタを保守のため施設から撤去する場合。
- ・ プリンタを別の組織に売却する場合。

プリンタのメンテナンス

警告—破損の恐れあり: 最適なプリンタのパフォーマンスを維持できない場合や、部品や消耗品を交換できない場合は、プリンタの損傷が生じるおそれがあります。

ネットワーク

プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続する

アクティブアダプタが自動的に設定されていることを確認します。操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [ネットワーク/ポート] > [OK] > [ネットワークの概要] > [OK] > [アクティブアダプタ] > [OK] >
[自動] > [OK]

操作パネルを使用する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [ネットワーク/ポート] > [OK] > [ワイヤレス] > [OK] > [プリンタパネルで設定] > [OK] > [ネットワークを選択] > [OK]

2 Wi-Fi ネットワークを選択して、ネットワークパスワードを入力します。

メモ: Wi-Fi ネットワーク対応のプリンタ機種では、初期セットアップ中に Wi-Fi ネットワークの設定を求めるメッセージが表示されます。

Lexmark モバイルアシスタントを使用する

1 お使いのモバイルデバイスに応じて、Google Play ストアまたは App Store から Lexmark モバイルアシスタンアプリケーションをダウンロードします。

2 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [ネットワーク/ポート] > [OK] > [ワイヤレス] > [OK] > [モバイルアプリを使用した設定] > [OK]
> [プリンタ ID] > [OK]

3 モバイルデバイスからアプリケーションを起動して、利用規約に同意します。

メモ: 必要に応じて、権限を付与します。

4 [プリンタに接続] > [Wi-Fi 設定に移動]をタップします。

5 モバイルデバイスをプリンタのワイヤレスネットワークに接続します。

6 アプリケーションに戻り、[Wi-Fi 接続の設定]をタップします。

7 Wi-Fi ネットワークを選択して、ネットワークパスワードを入力します。

8 [終了]をタップします。

WPS(Wi-Fi Protected Setup)を使用してワイヤレスネットワークにプリンタを接続する

開始する前に、次の点を確認してください。

- アクセスポイント(ワイヤレスルーター)が WPS(Wi-Fi Protected Setup)認定または互換である。詳細については、アクセスポイントに同梱されているマニュアルを参照してください。
- ワイヤレスネットワークアダプタがプリンタに取り付けられている。詳細については、アダプタに付属の説明書を参照してください。
- アクティブアダプタが自動に設定されていることを確認します。操作パネルから、次のメニューを選択します。

> [設定] > > [ネットワーク/ポート] > > [ネットワークの概要] > > [アクティブアダプタ] > > [自動] >

プッシュボタン方式を使用する場合

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

> [設定] > > [ネットワーク/ポート] > > [ワイヤレス] > > [WPS(Wi-Fi Protected Setup)] > > [プッシュボタン方式を開始] >

- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

個人 ID 番号(PIN)方式を使用する場合

- 1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

> [設定] > > [ネットワーク/ポート] > > [ワイヤレス] > > [WPS(Wi-Fi Protected Setup)] > > [暗証番号方式を開始] >

- 2 8 衔の WPS 暗証番号をコピーします。

- 3 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにアクセスポイントの IP アドレスを入力します。

メモ:

- IP アドレスを調べるには、アクセスポイントに同梱されているマニュアルを参照してください。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

- 4 WPS 設定にアクセスします。詳細については、アクセスポイントに同梱されているマニュアルを参照してください。

- 5 8 衔の PIN を入力して、変更を保存します。

wifi ダイレクトを設定する

メモ: この機能は、一部のプリンタ機種でのみ使用できます。

wifi ダイレクトは、ワイヤレスデバイスがアクセスポイント(ワイヤレスルーター)を使用せずに直接、wifi ダイレクト対応プリンタに接続できるようにする、wifi ベースのピアツーピア技術です。

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [ネットワーク/ポート] > [OK] > [wifi ダイレクト] > [OK]

2 設定を行います。

- [wifi ダイレクトを有効化] - プリンタが独自の wifi ダイレクトネットワークにブロードキャストできるようにします。
- [wifi ダイレクト名] - wifi ダイレクトのネットワークに名前を割り当てます。
- [wifi ダイレクトのパスワード] - ピアツーピア接続を使用しているときにワイヤレスセキュリティをネゴシエートするためのパスワードを割り当てます。
- [設定ページにパスワードを表示] - ネットワーク設定ページにパスワードを表示します。
- [自動受け付けプッシュボタン要求] - プリンタに接続要求を自動的に受け付けさせます。

メモ: プッシュボタン要求の自動承諾はセキュリティ保護されません。

プリンタにモバイルデバイスを接続する

モバイルデバイスを接続する前に、wifi ダイレクトが設定されていることを確認してください。詳細については、「[wifi ダイレクトを設定する](#)」、117 ページ を参照してください。

wifi ダイレクトを使用して接続する

メモ: 以下の手順は、Android モバイルデバイスにのみ適用されます。

- 1 モバイルデバイスから、[設定]メニューに移動します。
- 2 Wi-Fi を有効にして、[wifi ダイレクト]をタップします。
- 3 プリンタの wifi ダイレクト名を選択します。
- 4 プリンタ操作パネルの接続を確認します。

Wi-Fi を使用して接続する

- 1 モバイルデバイスから、[設定]メニューに移動します。
- 2 [Wi-Fi]をタップし、プリンタの wifi ダイレクト名を選択します。

メモ: 文字列 DIRECT-xy(x と y は 2 つのランダムな文字)が wifi ダイレクト名の前に追加されます。

- 3 wifi ダイレクトパスワードを入力します。

コンピュータをプリンタに接続する

コンピュータを接続する前に、wifi ダイレクトが設定されていることを確認してください。詳細情報(⇒「[wifi ダイレクトを設定する](#)」、117 ページ)。

Windows の場合

- 1 [プリンタとスキャナ]を開き、[プリンタまたはスキャナを追加]をクリックします。
- 2 [wifi ダイレクトプリンタを表示する]をクリックし、プリンタの wifi ダイレクト名を選択します。
- 3 プリンタのディスプレイから、プリンタの 8 枠の PIN をメモします。
- 4 コンピュータに PIN を入力します。

メモ: プリンタドライバがまだインストールされていない場合は、Windows によって適切なドライバがダウンロードされます。

Macintosh の場合

- 1 ワイヤレスアイコンをクリックし、プリンタの wifi ダイレクト名を選択します。
メモ: 文字列 DIRECT-xy(x と y は 2 つのランダムな文字)が wifi ダイレクト名の前に追加されます。
- 2 wifi ダイレクトのパスワードを入力します。
メモ: wifi ダイレクトのネットワークから切断した後で、コンピュータを以前のネットワークに戻します。

Wi-Fi ネットワークの無効化

- 1 プリンタコントロールパネルから、次のメニューを選択します。

 > [設定] >  > [ネットワーク/ポート] >  > [ネットワークの概要] >  > [アクティブアダプタ] >  > [標準ネットワーク] > 

- 2 ディスプレイに表示される手順に従います。

プリンタ部品の清掃

プリンタを清掃する

 **注意—感電危険:** プリンタの外部を清掃する際には、感電のリスクを避けるため、コンセントから電源コードを抜き、プリンタに接続されているすべてのケーブルを外してから作業を行ってください。

メモ:

- 数か月に 1 回この作業を実施します。
- 不適切な取り扱いにより生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。

- 1 プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- 2 標準排紙トレイと手差しトレイから用紙を取り除きます。
- 3 柔らかいブラシまたは掃除機を使用して、プリンタ周辺の埃、糸くず、用紙の切れ端を取り除きます。

4 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布を使用して、プリンタの外側を拭きます。

メモ:

- 家庭用クリーナーや洗剤を使用しないでください。プリンタ表面の仕上げを傷つけることがあります。
- 清掃後にプリンタのすべてのエリアが乾いていることを確認してください。

5 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

スキャナの清掃

1 スキャナカバーを開きます。



2 下に示した領域を、水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で拭きます。

- ADF ガラス



- ADF ガラスパッド



- 原稿台ガラス



- スキャナガラスパッド



3 スキャナカバーを閉じます。

部品と消耗品を注文する

米国内で部品や消耗品を注文するには、お住まいの地域の Lexmark 正規販売店の情報について、1-800-539-6275 にお問い合わせください。他の国または地域については、www.lexmark.com をご覧いただか、プリンタの販売店までお問い合わせください。

メモ: プリンタの消耗品の耐用期間見積もりは、レターまたは A4 サイズの普通紙を想定しています。

部品と消耗品の状況を確認する

操作パネルから、次のメニューを選択します。

Home > [状態/消耗品] > OK > [消耗品] > OK

Lexmark の純正部品と純正消耗品を使用する

Lexmark プリンタは Lexmark の純正部品および純正消耗品を使用して最高の機能を発揮するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、プリンタの寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。保証の対象にも影響します。サードパーティ製の部品や消耗品の使用による損傷は、保証の対象外となります。すべての寿命インジケータは、純正の部品および消耗品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の部品や消耗品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、Lexmark プリンタや関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

警告—破損の恐れあり: 収却プログラムの契約条項のない消耗品および部品は、リセットして再製造することができます。ただし、純正以外の消耗品または部品を使用したために発生した損傷については、製造元の保証は適用されません。適切に再生されていない消耗品および部品のカウンタをリセットするとプリンタが損傷する可能性があります。消耗品および部品のカウンタをリセットした後で、プリンタにリセットアイテムが存在することを示すエラーが表示される場合があります。

トナーカートリッジを注文する

メモ:

- 推定カートリッジ出力は、ISO/IEC 19752 規格に基づいています。
- 極端に低い印刷比率で長時間印刷すると、実際の印刷数に悪影響を与える可能性があります。

Lexmark MX321 リターンプログラムトナーカートリッジ

項目	米国、カナダ	欧州経済領域	他のアジア太平洋地域	中南米	他の欧州諸国、中東、アフリカ	オーストラリアおよびニュージーランド
リターンプログラムトナーカートリッジ	56F1000	56F2000	56F3000	56F4000	56F5000	56F6000
大容量リターンプログラムトナーカートリッジ	56F1H00	56F2H00	56F3H00	56F4H00	56F5H00	56F6H00
大容量法人向けリターンプログラムトナーカートリッジ *	56F1H0E	56F2H0E	56F3H0E	56F4H0E	56F5H0E	56F6H0E
* 契約管理されたプリンタでのみ使用できます。詳細については、Lexmark 担当者またはシステム管理者に問い合わせてください。						

Lexmark MX321 標準トナーカートリッジ

項目	グローバル
大容量標準トナーカートリッジ	56F0HA0

Lexmark MB2338 リターンプログラムトナーカートリッジ

項目	米国、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド	欧州経済領域	他のアジア太平洋地域	中南米	他の欧州諸国、中東、アフリカ
リターンプログラムトナーカートリッジ	B231000	B232000	B233000	B234000	B235000

Lexmark MB2338 標準トナーカートリッジ

項目	グローバル
正規品トナーカートリッジ	B2300A0

イメージングユニットを注文する

長期間、印刷量がきわめて低い場合、トナーが消耗する前に、イメージングユニットの部品が劣化する可能性があります。

項目	部品番号
返却プログラムイメージングユニット	56F0Z00
正規品イメージングユニット	56F0ZA0
法人向け返却プログラムイメージングユニット *	56F0Z0E

* このイメージングユニットは、契約管理されたプリンタでのみ使用できます。詳細については、Lexmark の担当者またはシステム管理者に問い合わせてください。

消耗品通知を設定する

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- ・ プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- ・ プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] > [デバイス] > [通知]をクリックします。

3 [消耗品]メニューの[消耗品のカスタム通知]をクリックします。

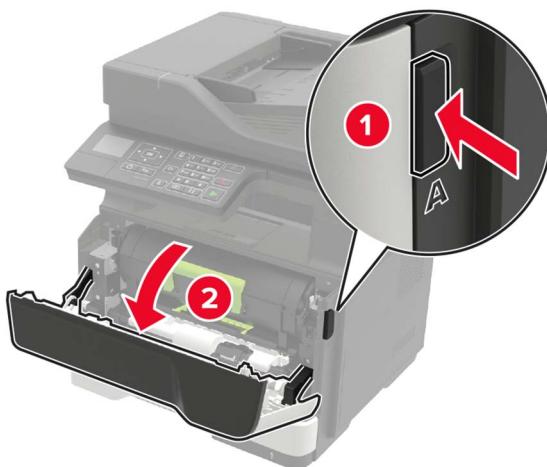
4 各消耗品の通知を選択します。

5 変更を適用します。

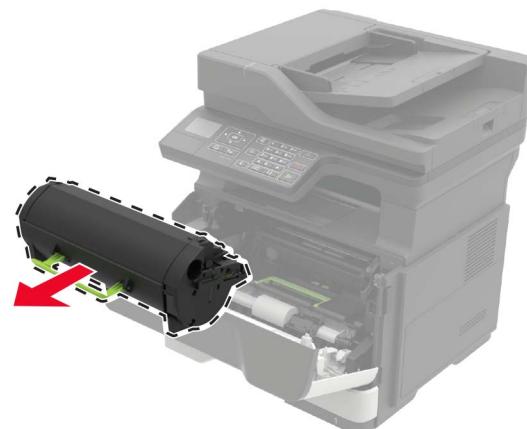
消耗品を交換する

トナーカートリッジの交換

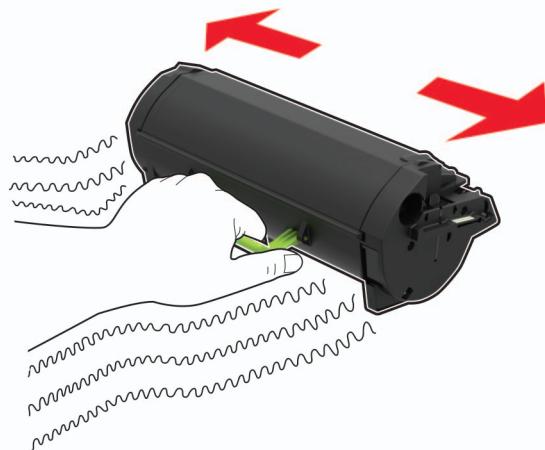
1 ドア A を開きます。



2 使用済みトナーカートリッジを取り外します。



3 新しいトナーカートリッジをパッケージから取り出して 3 回振り、カートリッジ内のトナーの偏りをなくします。



4 新しいトナーカートリッジを包装から挿入します。

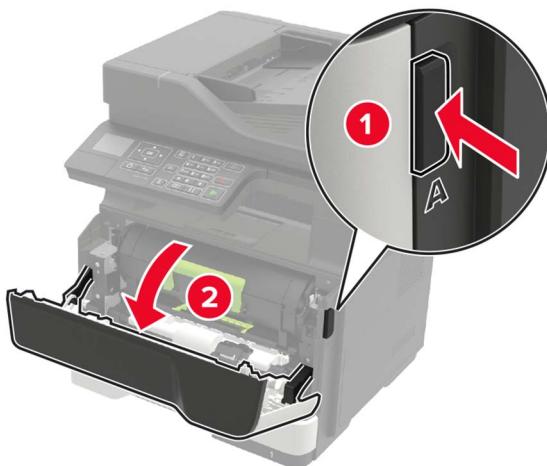
メモ: プリンタ内部に示されている矢印をガイドとして使用します。



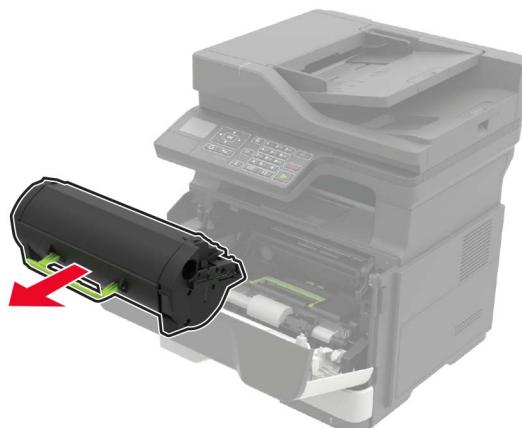
5 ドア A を閉じます。

イメージングユニットの交換

1 ドア A を開きます。



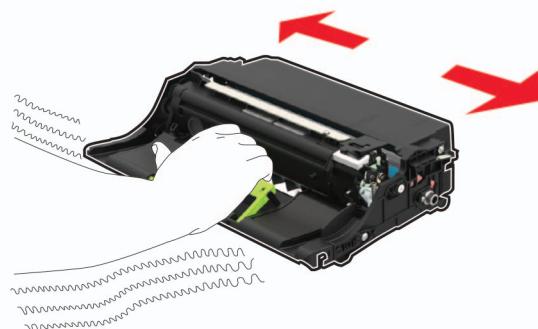
2 トナーカートリッジを取り外します。



3 使用済みイメージングユニットを取り外します。



4 新しいイメージングユニットをパッケージから取り出して 3 回振り、カートリッジ内のトナーの偏りをなくします。



警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

警告—破損の恐れあり: 感光体ドラムには触らないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。



5 新しいイメージングユニットを挿入します。

メモ: プリンタ内部に示されている矢印をガイドとして使用します。



6 トナーカートリッジを挿入します。

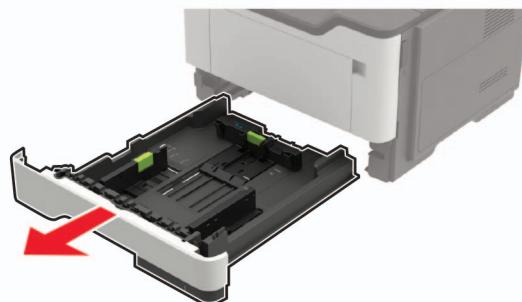
メモ: プリンタ内部に示されている矢印をガイドとして使用します。



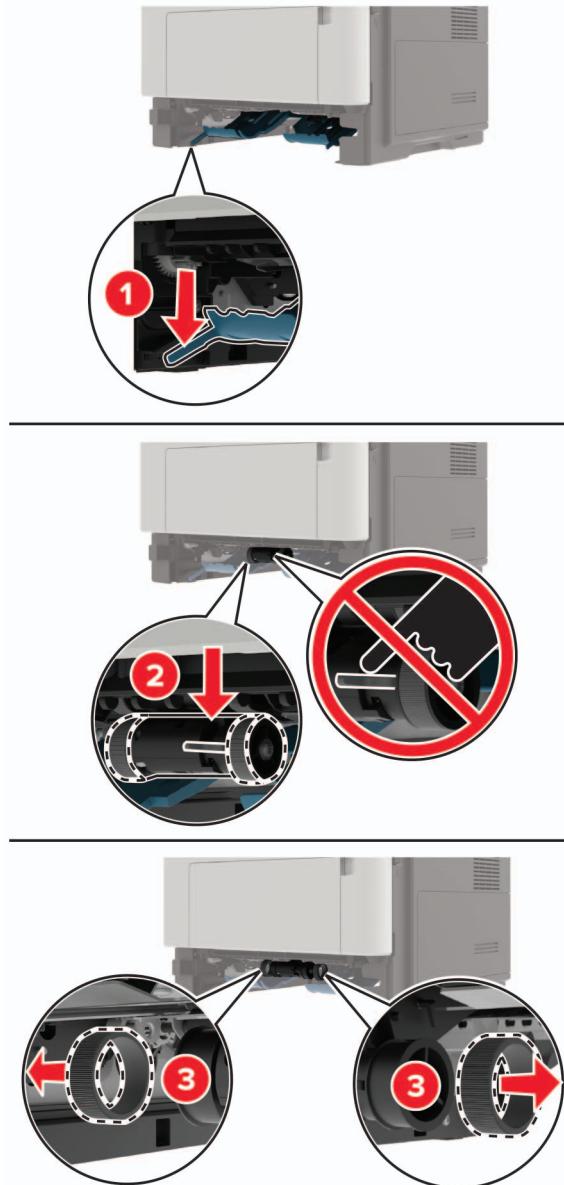
7 ドア A を閉じます。

ピックタイヤを交換する

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。
- 3 トレイを取り外します。

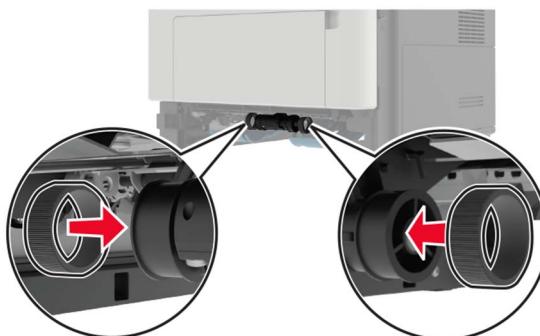


4 使用済みのピックタイヤを順番に取り外します。



5 新しいピックタイヤをパッケージから取り出します。

6 新しいピックタイヤを挿入します。



7 ドラムユニットを挿入します。

8 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

9 プリンタの電源を入れます。

ピックローラーアセンブリを交換する

1 プリンタの電源を切ります。

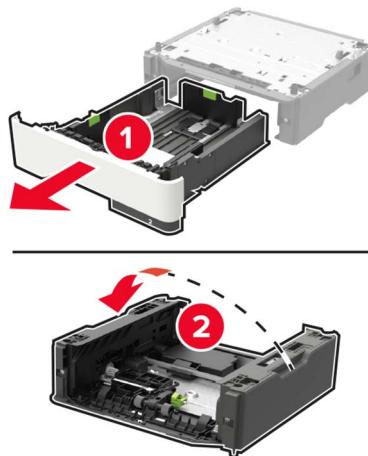
2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。

3 オプショントレイを取り外します。

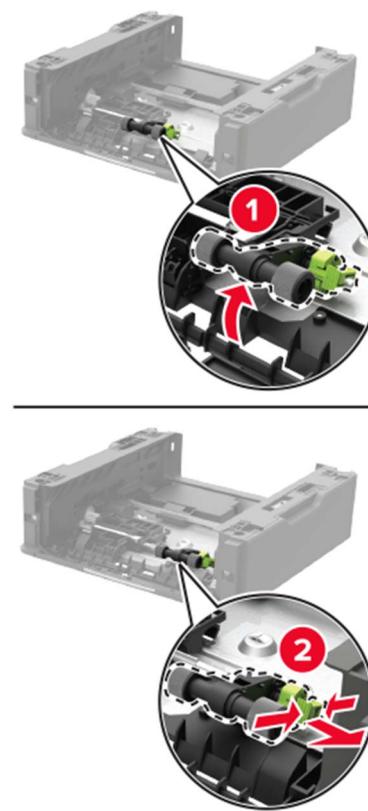
⚠ 注意—傷害の恐れあり: プリンタの重さが 20 kg(44 ポンド)以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。



4 トレイの引き出し部を取り外し、トレイのベース部を裏返します。

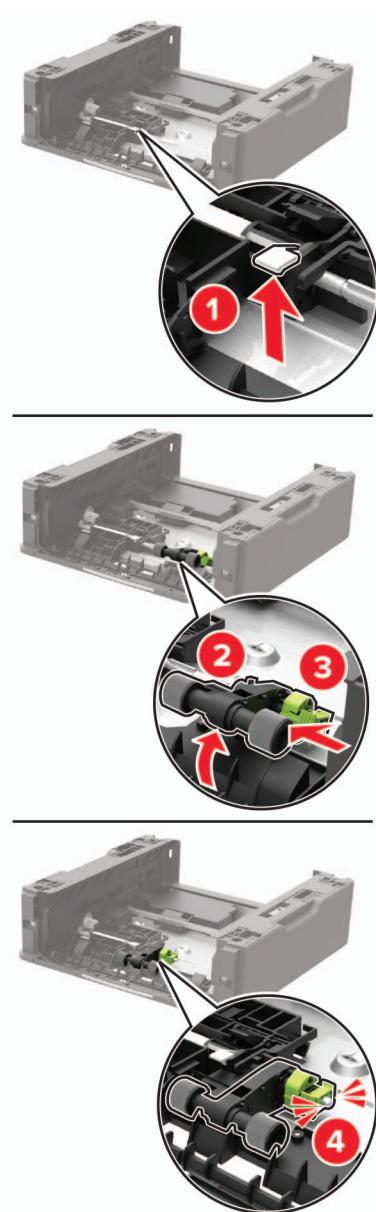


5 使用済みのピックローラーアセンブリを取り外します。



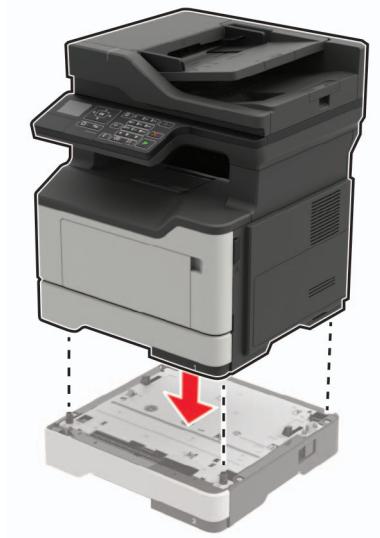
6 新しいピックローラーアセンブリをパッケージから取り出します。

7 新しいピックローラーアセンブリを挿入します。



8 トレイのベース部を裏返し、トレイの引き出し部を挿入します。

9 プリンタをオプショントレイに合わせ、プリンタユニットを所定の位置までカチッと音がするまで下ろします。



10 電源コードをプリンタに接続してから、電源コンセントに接続します。

注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

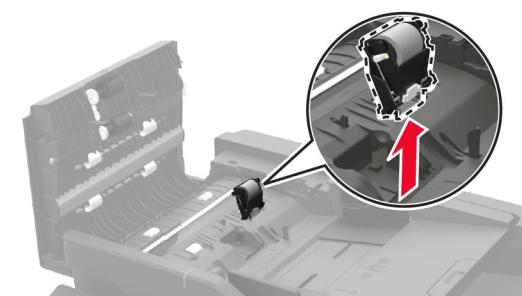
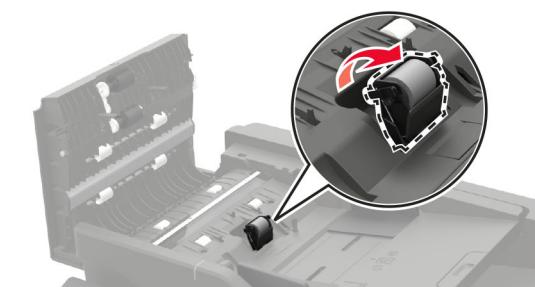
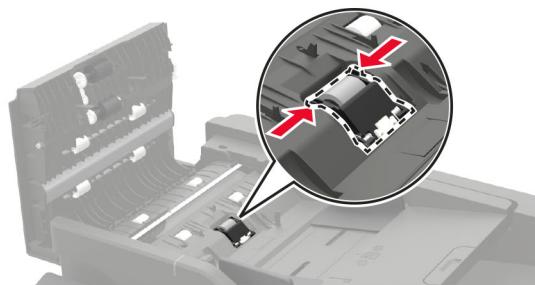
11 プリンタの電源を入れます。

ADF 区切りローラーを交換する

1 ADF カバーを開きます。



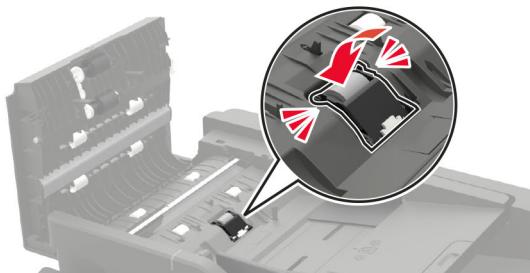
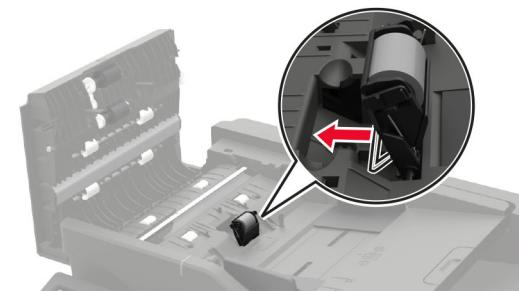
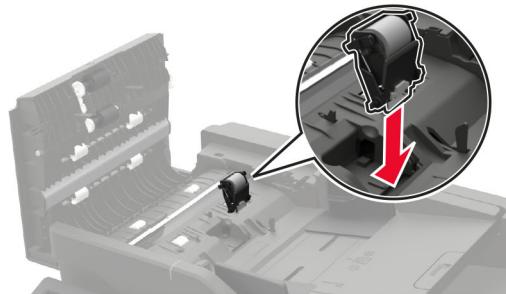
2 使用済みの ADF 区切りローラーを取り外します。



3 新しい ADF 区切りローラーを開梱します。

警告—破損の恐れあり: 損傷やプリンタの性能低下を避けるため、清潔な手で部品を取り扱ってください。

4 ADF 切りローラーを「カチッ」と音がするまで挿入します。



5 ADF カバーを閉じます。

プリンタを移動する

プリンタを別の場所に移動する

プリンタを別の場所に移動する

⚠ 注意—傷害の恐れあり: プリンタの重量が 20 kg(44 ポンド)以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品に同梱されている電源コード、または製造元が代替品として認可した電源コードのみを使用してください。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: プリンタを移動する場合は、けがやプリンタの破損を避けるため、以下のガイドラインに従ってください。

- すべてのドアとトレイが閉じられていることを確認します。
- プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。
- プリンタからコードやケーブル類をすべて取り外します。
- プリンタに別途フロアスタンド型オプショントレイまたは排紙オプションが取り付けられている場合は、それらを取り外してからプリンタを移動します。
- プリンタにキャスターベースがある場合は、慎重に新しい場所に移動します。しきいや床の割れ目を通るときは注意してください。
- プリンタにキャスターベースがなく、オプションのトレイまたは排紙オプションで構成されている場合は、排紙オプションを取り外してからプリンタをトレイから取り外します。どのオプションの場合も、プリンタと一緒に持ち上げないでください。
- 必ずプリンタの持ち手を使用してプリンタを持ち上げます。
- プリンタの移動に台車を使用する場合は、プリンタの底面全体を載せられる台車を使用してください。
- ハードウェアオプションの移動に台車を使用する場合は、オプション全体を載せられる台車を使用してください。
- プリンタは直立状態に保ってください。
- 急激な動きは避けてください。
- 下に置くときにプリンタの下に指が入らないようにしてください。
- プリンタの周囲に十分なスペースがあることを確認します。

メモ: 不適切な移動により生じたプリンタの損傷は、保証の対象にはなりません。

プリンタを輸送する

輸送の手順については、<http://support.lexmark.com> にアクセスするか、カスタマサポートにお問い合わせください。

電力と用紙を節約する

節電モードを設定する

スリープモード

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [デバイス] > [OK] > [電源管理] > [OK] > [タイムアウト時間] > [OK] > [スリープモード] > [OK]

2 プリンタがスリープモードに移行するまでのアイドル時間を設定します。

休止モード

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > [OK] > [デバイス] > [OK] > [電源管理] > [OK] > [タイムアウト時間] > [OK] > [休止モード] > [OK]

2 プリンタが休止モードになるまでの時間を選択します。

メモ:

- 印刷ジョブを送信する前に、必ずプリンタを休止モードから復帰させてください。
- プリンタを休止モードから復帰させるには、電源ボタンを押します。
- プリンタが休止モードの場合、EWS は無効です。

消耗品を節約する

- 用紙の両面に印刷します。

メモ: 両面印刷は、プリンタドライバの標準設定です。

- 1枚の用紙に複数のページを割り付けて印刷します。
- プレビュー機能を使用して、印刷前にドキュメントがどのように印刷されるか確認します。
- ドキュメントを1部だけ印刷し、内容や形式に誤りがないかどうかを確認します。

リサイクル

Lexmark 製品のリサイクルプログラム

Lexmark 製品を返却してリサイクルするには、以下の手順に従います。

1 www.lexmark.com/recycle をご覧ください。

2 リサイクルする製品を選択します。

メモ: Lexmark 回収プログラムの一覧にないプリンタ消耗品およびハードウェアの場合でも、地元のリサイクルセンターでリサイクルできる場合があります。

Lexmark 製品の梱包材をリサイクルする

Lexmark は梱包材を最小限に抑えるよう絶えず努力しています。より少ない梱包材により、Lexmark プリンタは最も効率的で、かつ環境に配慮した方法で輸送され、梱包材の廃棄量の削減に貢献しています。これらの努力は、温室効果ガスのより少ない排出、省エネルギー、天然資源の節約をもたらします。また、Lexmark では、一部の国と地域で梱包材のリサイクルも行っています。詳細については、www.lexmark.com/recycle で、お住まいの国と地域を選択してください。利用可能な梱包材リサイクルプログラムに関する情報は、製品リサイクルに関する情報の中に含まれています。

Lexmark のダンボール箱は、再生利用する施設がある地域ではすべてリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

Lexmark の梱包材に使用されている発泡スチロールは、再生利用する施設がある地域ではリサイクル可能です。その施設は、お住まいの地域にない可能性があります。

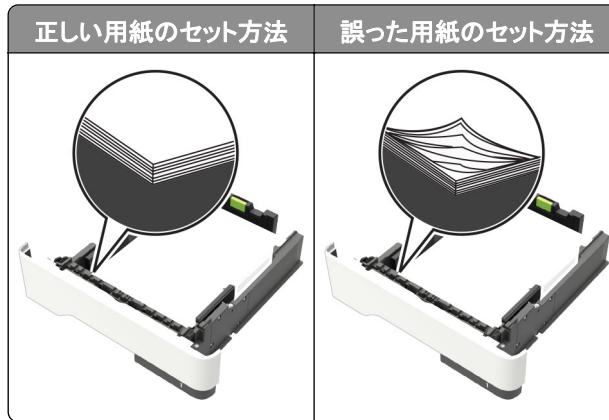
Lexmark にカートリッジを返却する際には、配達時に梱包されていたダンボール箱を再利用できます。そのダンボール箱は Lexmark がリサイクルします。

紙詰まりを取り除く

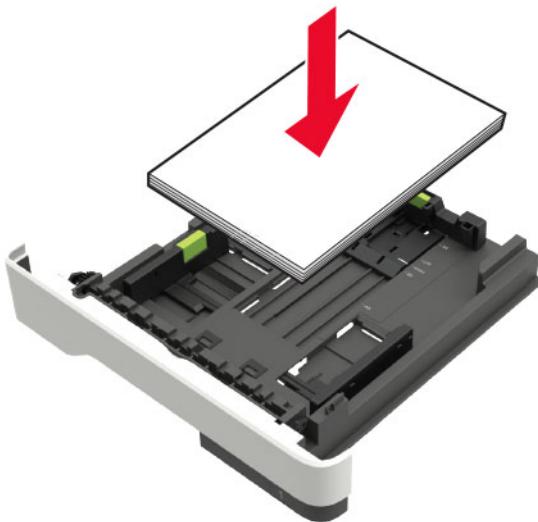
紙詰まりを防止する

用紙を正しくセットする

- 用紙はトレイに平らに置いてください。



- 印刷中はトレイに用紙をセットしたり、トレイを取り外したりしないでください。
- 過度に多い量の用紙をセットしないでください。重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようになります。
- 用紙をトレイにスライドしないでください。図のように用紙をセットします。

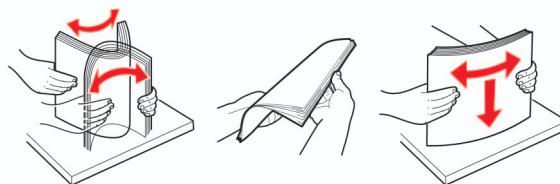


- 用紙ガイドが正しい位置にあり、用紙や封筒をきつく挟みすぎていないことを確認します。
- 用紙をセットしたらトレイをしっかりと押し込みます。

推奨用紙を使用する

- 推奨用紙または特殊紙のみを使用します。
- しわ、折り目のある用紙、湿っている用紙、曲がっている用紙、丸まっている用紙をセットしないでください。

- ほぐしたり、パラパラめくったり、端をそろえたりしてから用紙をセットします。

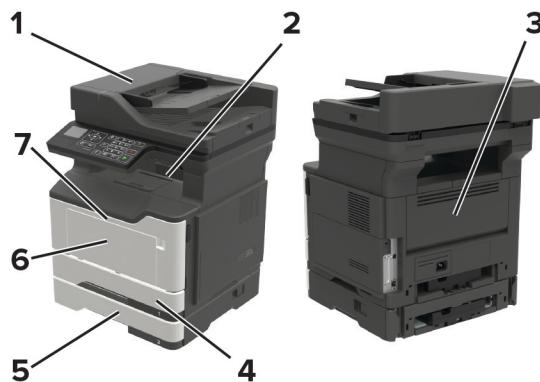


- 手で切った、またはちぎった用紙は使用しないでください。
- 用紙のサイズ、重さ、タイプが異なる用紙を混在させてセットしないでください。
- コンピュータまたはプリンタ操作パネルで、用紙のサイズおよびタイプが適切に設定されていることを確認します。
- 用紙はメーカーの推奨事項に従い保管します。

紙詰まりの場所を確認する

メモ:

- 紙詰まりアシスト機能がオンに設定されている場合、紙詰まりのページが取り除かれた後、プリンタは自動的に空白ページまたは一部分のみ印刷されているページを排出します。空白ページがあるかどうか、印刷済み出力用紙を確認します。
- [紙詰まり回復]が[オン]または[自動]に設定されている場合、プリンタは紙詰まりが発生したページを再印刷します。



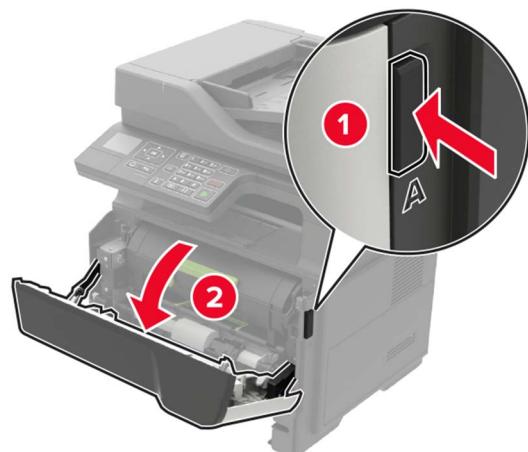
紙詰まりの場所	
1	自動原稿フィーダー
2	標準排紙トレイ
3	背面ドア
4	標準の 250 枚トレイ
5	オプションの 250 または 550 枚トレイ
6	多目的フィーダー
7	ドア A

ドア A の紙詰まり

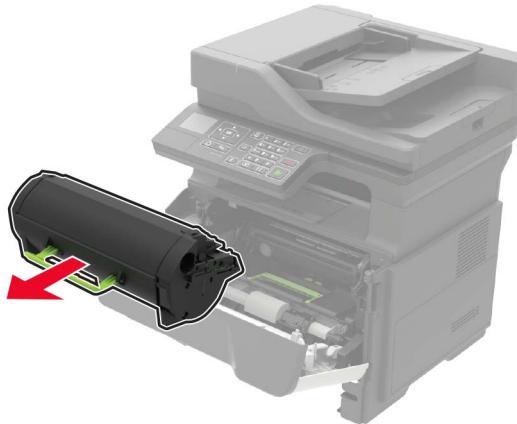
1 ドラムユニットを取り外します。



2 ドア A を開きます。



3 トナーカートリッジを取り外します。



4 イメージングユニットを取り外します。



警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。

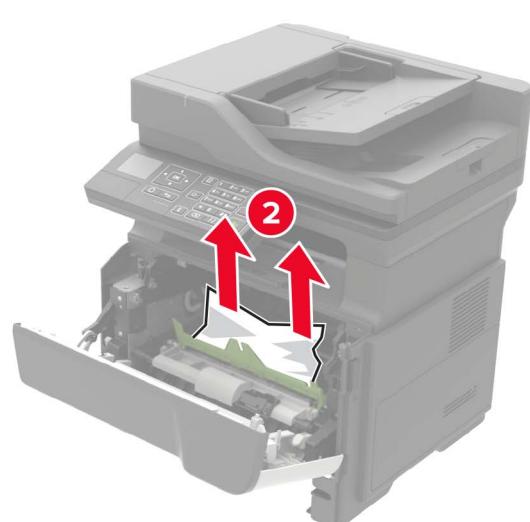
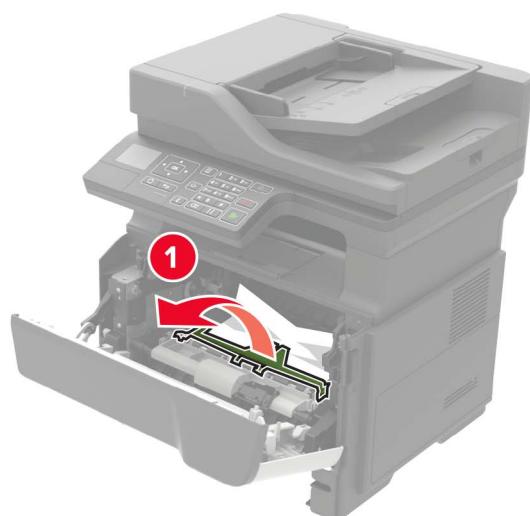
警告—破損の恐れあり: 感光体ドラムには触らないでください。触ると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。



5 詰まっている用紙を取り除きます。

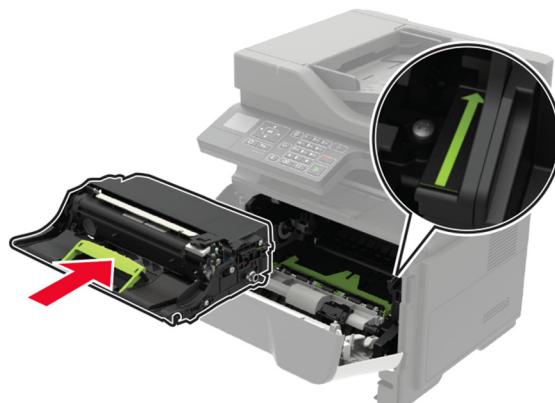
注意—表面高温: プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、表面が冷えてから触れるようにしてください。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



6 イメージングユニットを挿入します。

メモ: プリンタ内部に示されている矢印をガイドとして使用します。



7 トナーカードリッジを挿入します。

メモ: プリンタ内部に示されている矢印をガイドとして使用します。



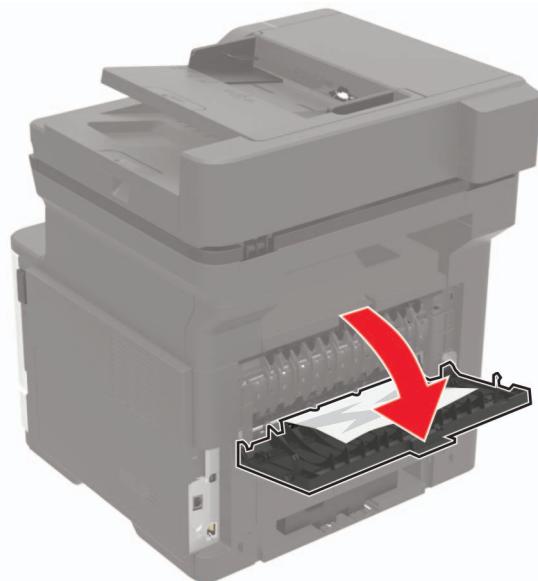
8 ドア A を閉じます。

9 トレイを挿入します。

背面ドアの紙詰まり

1 背面ドアを開きます。

 **注意—表面高温:** プリンタの内部が高温になっている場合があります。高温のコンポーネントによる負傷の危険を減らすために、手で触れる前に、表面が冷めるまで待ってください。



2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



3 背面ドアを閉じます。

標準排紙トレイの紙詰まり

詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



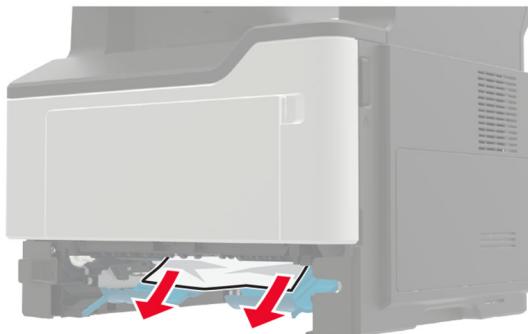
両面印刷ユニット内の紙詰まり

1 トレイを取り外します。



2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



3 トレイを挿入します。

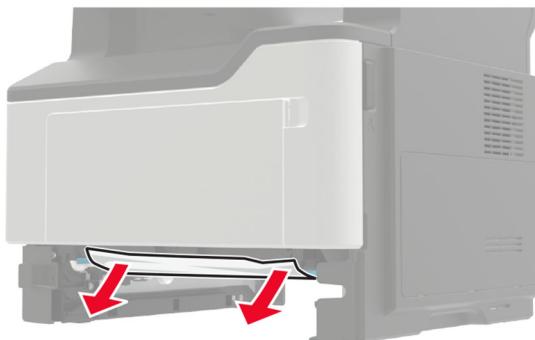
トレイの紙詰まり

1 トレイを取り外します。



2 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



3 トレイを挿入します。

多目的フィーダの紙詰まり

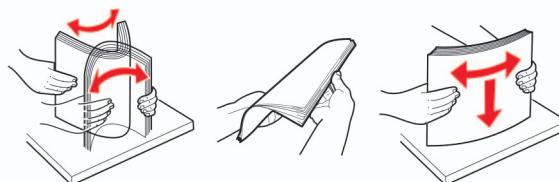
1 多目的フィーダから用紙を取り除きます。

2 つまっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。



3 用紙をほぐし、パラパラとめくってから端をそろえ、用紙をセットします。



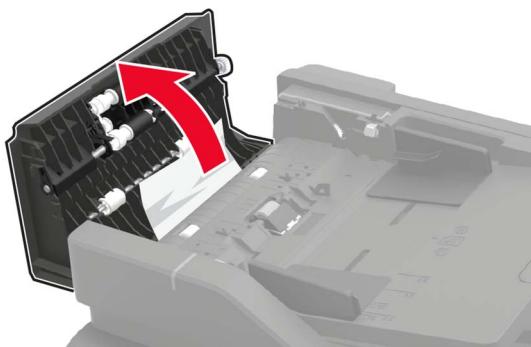
4 再度用紙をセットしてから、用紙ガイドを調節します。



ADF(自動原稿フィーダー)内の紙詰まり

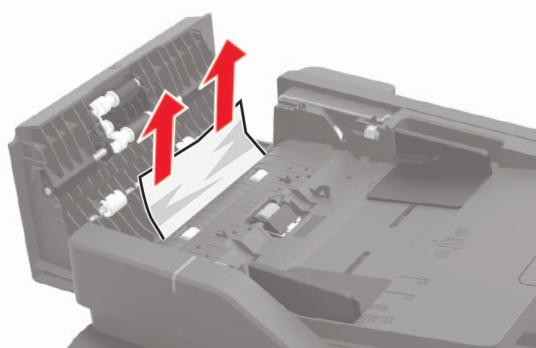
1 ADF トレイからすべての原稿を取り除いてください。

2 ADF カバーを開きます。



3 詰まっている用紙を取り除きます。

メモ: 必ずすべての紙片を取り除いてください。

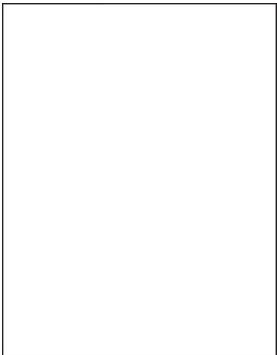


4 ADF カバーを閉じます。

問題に対処する

印刷品質の問題

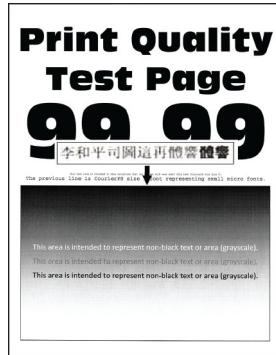
現在発生している印刷品質問題に似ている画像を探して、その下のリンクをクリックして、問題を解決する手順を確認してください。



[「空白または白のページ」、
153 ページ](#)



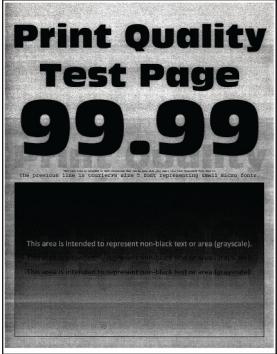
[「印刷が濃い」、154 ページ](#)



[「細かい線が正しく印刷されない」、
156 ページ](#)



[「用紙が折れ曲がったりしわ
がよったりする」、157 ペ
ージ](#)



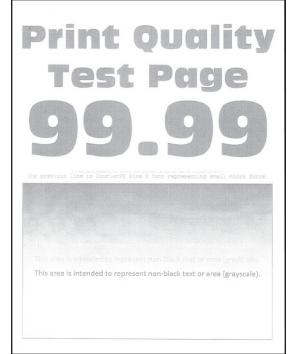
[「グレーの背景」、158 ペ
ージ](#)



[「横方向の薄い帯」、159 ページ](#)



[「余白が正しくない」、160 ページ](#)



[「印刷が薄い」、161 ページ](#)



[「まだらな印刷やドット」、
162 ページ](#)



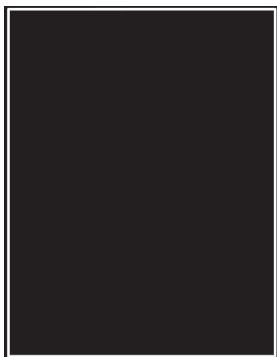
[「用紙のカール」、163 ページ](#)



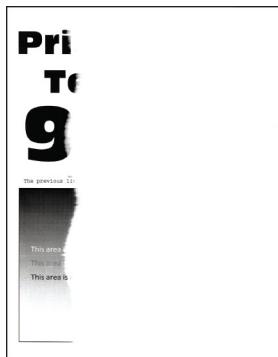
[「印刷が歪むまたは傾く」、165 ペ
ージ](#)



[「印刷不良が繰り返し发生
する」、174 ページ](#)



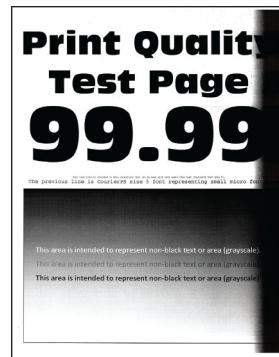
[「ページが真っ黒になる」、166 ページ](#)



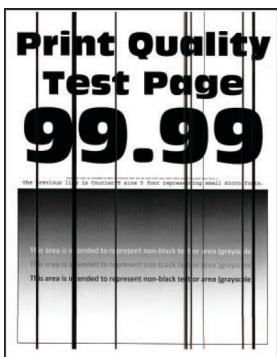
[「テキストまたは画像が切り取られる」、167 ページ](#)



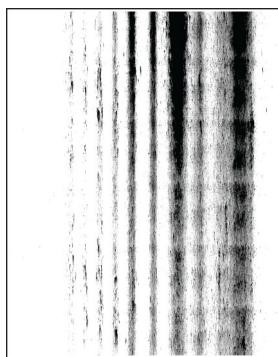
[「トナーがはがれ落ちる」、169 ページ](#)



[「縦方向の黒い帯」、169 ページ](#)



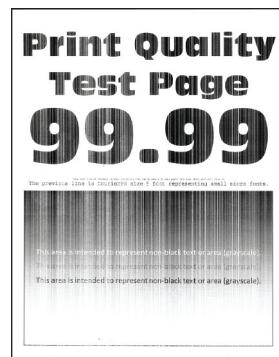
[「縦方向の黒い線またはすじ」、171 ページ](#)



[「縦方向の黒いすじが現れて印刷が抜ける」、172 ページ](#)



[「縦方向の薄い帯」、173 ページ](#)

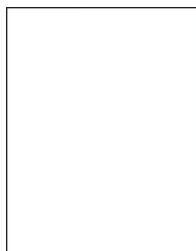


[「縦方向の白い線」、173 ページ](#)

印刷の問題

印刷品質が悪い

空白または白のページ



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。</p> <p>メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>プリンタで空白または白のページが印刷されますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <p>a イメージングユニットに残っている梱包材をすべて取り外します。</p> <p>1 トナーカートリッジ、イメージングユニットの順に取り外します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>2 イメージングユニットに破損の兆候がないかを確認し、必要に応じて交換します。</p> <p>メモ: フォトコンダクタードラムの接触面の位置がずれたり、曲がったりしていないかを確認します。</p> <p>3 トナーの偏りをなくすために、イメージングユニットをしっかりと振ります。</p> <p>4 イメージングユニット、トナーカートリッジの順に挿入します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>プリンタで空白または白のページが印刷されますか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 <p>トナーカートリッジの状況を確認し、必要に応じて交換します。</p> <p>a 操作パネルから、次のメニューを選択します。</p> <p>[状態/消耗品] > [消耗品]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>プリンタで空白または白のページが印刷されますか？</p>	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷が濃い

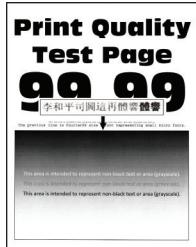


メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

アクション	はい	いいえ
手順 1 <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が濃いですか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <p>a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>b トナーの濃さを薄くします。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [トナーの濃さ]</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が濃いですか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] の順に移動します。 </p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が濃いですか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 <p>用紙の表面が粗いかどうかを確認します。</p> <p>表面が粗い用紙に印刷していますか？</p>	手順 5 に進みます。	手順 6 に進みます。
手順 5 <p>a きめの粗い用紙を普通紙と交換します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が濃いですか？</p>	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。

アクション	はい	いいえ
手順 6 <p>a 新しいパッケージの用紙をセットします。</p> <p>メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が濃いですか？</p>	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
手順 7 <p>a イメージングユニットを取り外してから、挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が濃いですか？</p>	手順 8 に進みます。	問題は解決しました。
手順 8 <p>a イメージングユニットを交換します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が濃いですか？</p>	カスタマサポートに お問い合わせください。	問題は解決しました。

細かい線が正しく印刷されない



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

アクション	はい	いいえ
手順 1 <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。</p> <p>メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>細かい線が正しく印刷されませんか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <p>a トナーの濃さを濃くします。</p> <p>操作パネルから、次のメニューを選択します。</p> <p>[設定] > [印刷] > [品質] > [トナーの濃さ]</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>細かい線が正しく印刷されませんか？</p>	カスタマサポートに お問い合わせください。	問題は解決しました。

用紙が折れ曲がったりしわがよったりする



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

アクション	はい	いいえ
手順 1 <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。</p> <p>メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>用紙が折れ曲がったりしわがよったりしますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。

アクション	はい	いいえ
手順 2 <p>a 新しいパッケージの用紙をセットします。</p> <p>メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>用紙が折れ曲がったりしわがよったりしますか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] の順に移動します。 <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>用紙が折れ曲がったりしわがよったりしますか？</p>	カスタマサポートに お問い合わせください。	問題は解決しました。

グレーの背景



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

アクション	はい	いいえ
手順 1 <p>a プリンタの電源を切って 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>b トナーの濃さを薄くします。</p> <p>操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [トナーの濃さ]</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>グレーの背景が印刷に表示されますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。</p> <p>メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>グレーの背景が印刷に表示されますか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

アクション	はい	いいえ
手順 3 <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ]の順に移動します。 <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>グレーの背景が印刷に表示されますか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 <p>a イメージングユニットを取り外してから、挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触ると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>グレーの背景が印刷に表示されますか？</p>	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 <p>a プリンタのファームウェアを更新します(⇒「ファームウェアを更新する」、206 ページ)。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>グレーの背景が印刷に表示されますか？</p>	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 <p>a イメージングユニットを交換します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>グレーの背景が印刷に表示されますか？</p>	カスタマサポートに お問い合わせください 。	

横方向の薄い帯



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>横方向の薄い帯が印刷に表示されますか？</p>	<p>カスタマサポートにお問い合わせください。</p>	問題は解決しました。

余白が正しくない



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a 用紙ガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に調整します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>余白は正しいですか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)によって、[印刷基本設定] または [印刷] ダイアログから用紙サイズを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] の順に移動します。 <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>余白は正しいですか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

印刷が薄い



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

アクション	はい	いいえ
手順 1 <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄いですか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <p>a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>b トナーの濃さを濃くします。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [印刷] > [品質] > [トナーの濃さ]</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄いですか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ:<ul style="list-style-type: none"> • トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] の順に移動します。 </p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷が薄いですか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。

アクション	はい	いいえ
手順 4 <ul style="list-style-type: none"> a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから印刷解像度を指定します。 b 解像度を 600 dpi に設定します。 c ドキュメントを印刷します。 <p>印刷が薄いですか？</p>	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 <ul style="list-style-type: none"> a イメージングユニットを取り外します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になりますことがあります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b トナーの偏りをなくすために、イメージングユニットをしっかりと振ります。 c イメージングユニットを挿入します。 d プリンタの電源を切って 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 e ドキュメントを印刷します。 <p>印刷が薄いですか？</p>	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 <ul style="list-style-type: none"> a トナーカートリッジの状態を確認します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [レポート] > [デバイス] > [デバイス統計] b 印刷ページの[消耗品情報]セクションで、トナーカートリッジの状態を確認します。 <p>トナーカートリッジの寿命は近づいていますか？</p>	手順 7 に進みます。	カスタマサポートに お問い合わせください。
手順 7 <ul style="list-style-type: none"> a トナーカートリッジを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 <p>印刷が薄いですか？</p>	カスタマサポートに お問い合わせください。	問題は解決しました。

まだらな印刷やドット

まだらな印刷やドット



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 印刷がまだらになっていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 トナー漏れの汚れがないか、プリンタをチェックします。 プリンタにトナー漏れはありませんか？	手順 4 に進みます。	手順 3 に進みます。
手順 3 a トナーカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 印刷がまだらになっていますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 イメージングユニットの状況を確認します。操作パネルから、次のメニューを選択します。 [状態/消耗品] > [消耗品] イメージングユニットの寿命は近づいていますか？	手順 5 に進みます。	カスタマサポート にお問い合わせください。
手順 5 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷がまだらになっていますか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

用紙のカール



対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a セットした用紙に対応しているかどうかを確認します。 メモ: 用紙に対応していない場合は、対応している用紙をセットします。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>用紙がカールしていますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <p>a プリンタに使用しているトナー／カートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>用紙がカールしていますか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 <p>a トレイのガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に調整します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>用紙がカールしていますか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷設定]または[印刷]ダイアログから用紙サイズと用紙タイプを指定します。 メモ:<ul style="list-style-type: none">• セットした用紙と設定が一致していることを確認します。• プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。[設定] > [用紙] > [トレイ構成設定] > [用紙サイズ/タイプ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>用紙がカールしていますか？</p>	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 <p>a 用紙を取り出して裏返し、セットし直します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>用紙がカールしていますか？</p>	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 <p>a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>用紙がカールしていますか？</p>	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

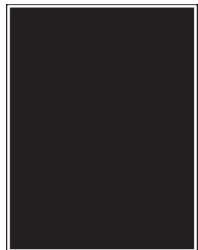
印刷が歪むまたは傾く



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

アクション	はい	いいえ
手順 1 a トレイのガイドを、セットされている用紙のサイズに合う正しい位置に調整します。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が歪んだり傾いたりしていますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a 新しいパッケージの用紙をセットします。 メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が歪んだり傾いたりしていますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 a セットした用紙に対応しているかどうかを確認します。 メモ: 用紙に対応していない場合は、対応している用紙をセットします。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が歪んだり傾いたりしていますか？	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。
手順 4 a 両面印刷の場合は、両面印刷ユニットの用紙サイズ設定が正しいかを確認します。 メモ: レター、リーガル、オフィシオ、フォリオはレターに設定する必要があります。 b ドキュメントを印刷します。 印刷が歪んだり傾いたりしていますか？	カスタマサポートに お問い合わせください 。	問題は解決しました。

ページが真っ黒になる



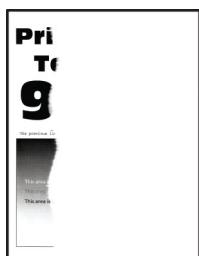
メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 まだ真っ黒のページが印刷されますか？	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 a イメージングユニットを取り外してから、挿入します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b ドキュメントを印刷します。 まだ真っ黒のページが印刷されますか？	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 3 <p>a イメージングユニットを取り外します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b 残りの梱包材をイメージングユニットからすべて取り外します。</p>  <p>メモ: チャージローラーとフォトコンダクタードラムの間に障害物がある場合、それをすべて取り除いてください。</p> <p>c イメージングユニットを挿入します。</p> <p>d ドキュメントを印刷します。</p> <p>まだ真っ黒のページが印刷されますか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 イメージングユニットに破損の兆候がないかを確認します。 イメージングユニットに破損はありませんか？	カスタマサポート にお問い合わせください。	手順 5 に進みます。
手順 5 <p>a イメージングユニットを交換します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>まだ真っ黒のページが印刷されますか？</p>	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

テキストまたは画像が切り取られる

テキストまたは画像が切り取られる



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a プリンタに使用しているトナー カートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。</p> <p>メモ: 対応するトナー カートリッジではない場合は、対応するトナー カートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>テキストまたは画像が切れて印刷されていますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <p>a イメージングユニットを取り外してから、挿入します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触ると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>テキストまたは画像が切れて印刷されていますか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 <p>a イメージングユニットを取り外します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触ると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b 残りの梱包材をイメージングユニットからすべて取り外します。</p>  <p>メモ: チャージローラーとフォトコンダクタードラムの間にある障害物をすべて取り除いてください。</p> <p>c イメージングユニットを挿入します。</p> <p>d ドキュメントを印刷します。</p> <p>テキストまたは画像が切れて印刷されていますか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 <p>a イメージングユニットを交換します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>テキストまたは画像が切れて印刷されていますか？</p>	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

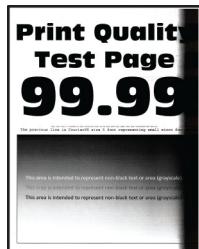
トナーがはがれ落ちる



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>トナーは摩擦で簡単にはがれ落ちますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。 メモ:<ul style="list-style-type: none"> • 設定がセットされた用紙と一致していることを確認します。 • プリンタ操作パネルで設定した設定を変更することもできます。 <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>トナーは摩擦で簡単にはがれ落ちますか？</p> </p>	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

縦方向の黒い帯



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

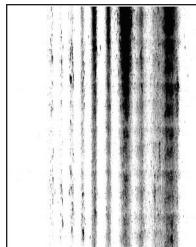
対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。</p> <p>メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>縦方向の黒い帯が印刷に表示されますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <p>a トナーカートリッジ、イメージングユニットの順に取り外します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触ると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b イメージングユニット、トナーカートリッジの順に取り付けます。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>縦方向の黒い帯が印刷に表示されますか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 <p>a イメージングユニットを取り外します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触ると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b 残りの梱包材をイメージングユニットからすべて取り外します。</p>  <p>メモ: チャージローラーとフォトコンダクタードラムの間に障害物がある場合、それをすべて取り除いてください。</p> <p>c イメージングユニットを挿入します。</p> <p>d ドキュメントを印刷します。</p> <p>縦方向の黒い帯が印刷に表示されますか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 <p>a プリンタの右側に明るい光が入っていないかを確認し、必要に応じてプリンタを移動させます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>縦方向の黒い帯が印刷に表示されますか？</p>	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

縦方向の黒い線またはすじ



対応	はい	いいえ
手順 1 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。 [設定] > [トラブルシューティング] > [スキャナの清掃] b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	手順 3 に進みます。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で、スキャナを清掃します。 詳細については、「 スキャナの清掃 」、 119 ページ を参照してください。 b ADF を使用してドキュメントをコピーします。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。
手順 3 a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するトナーカートリッジではない場合は、対応するトナーカートリッジを取り付けます。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。
手順 4 a イメージングユニットを取り外してから、挿入します。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間の露光は、印刷品質低下の原因になることがあります。 警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触れると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 a イメージングユニットを交換します。 b ドキュメントを印刷します。 縦方向の黒い線またはすじが印刷に表示されますか？	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

縦方向の黒いすじが現れて印刷が抜ける



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a イメージングユニットを取り外します。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットは、10 分間以上直射日光にさらさないでください。長時間直射日光にさらすと、印刷品質の問題が生じる可能性があります。</p> <p>警告—破損の恐れあり: イメージングユニットの下のフォトコンダクタードラムには触れないでください。触ると、今後の印刷ジョブの印刷品質に影響する可能性があります。</p> <p>b 残りの梱包材をイメージングユニットからすべて取り外します。</p>  <p>メモ: チャージローラーとフォトコンダクタードラムの間に障害物がある場合は、それをすべて取り除いてください。</p> <p>c イメージングユニットを挿入します。</p> <p>d ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷物に縦方向の黒いすじが現れて画像が抜けていますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <p>a プリンタに使用しているトナーかートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。</p> <p>メモ: 対応するトナーかートリッジではない場合は、対応するトナーかートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷物に縦方向の黒いすじが現れて画像が抜けていますか？</p>	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

縦方向の薄い帯



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>縦方向の薄い帯が印刷に表示されますか？</p>	<p>はい</p> <p>カスタマサポートにお問い合わせください。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

縦方向の白い線



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>a プリンタに使用しているトナーカートリッジが、対応する Lexmark 純正品であるかを確認します。 メモ: 対応するカートリッジではない場合は、対応するカートリッジを取り付けます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷に縦方向の白い線が表示されますか？</p>	<p>手順 2 に進みます。</p>	<p>問題は解決しました。</p>

対応	はい	いいえ
<p>手順 2</p> <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> トレイにセットされた用紙と設定が一致していることを確認します。 プリンタ操作パネルで設定を変更することもできます。 <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷に縦方向の白い線が表示されますか？</p>	<p>カスタマサポートにお問い合わせください。</p>	問題は解決しました。

印刷不良が繰り返し発生する



メモ: 問題を解決する前に、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ] の順に移動します。タッチ画面のないプリンタ機種では、OK を押して設定内を移動します。

対応	はい	いいえ
<p>手順 1</p> <p>印刷品質テストページを使用して、繰り返し発生する異常の間隔が次の値のいずれかと等しいかどうかを確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 97 mm(3.82 インチ) 47 mm(1.85 インチ) 38 mm(1.5 インチ) <p>繰り返し発生する異常の間隔は、測定値のいずれかと一致していますか？</p>	手順 2 に進みます。	間隔を記録して、 カスタマサポート にお問い合わせください。
<p>手順 2</p> <p>a イメージングユニットを交換します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>印刷不良が繰り返し発生しますか？</p>	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

印刷ジョブが印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a 印刷する原稿で[印刷]ダイアログボックスを開き、正しいプリンタが選択されているかどうかを確認します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>原稿は印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 <p>a プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。</p> <p>b ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>原稿は印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 <p>a ポートが動作し、ケーブルがコンピュータとプリンタにしっかりと接続されていることを確認します。 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>原稿は印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
手順 4 <p>a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>原稿は印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 <p>a 印刷ドライバを削除してから、再インストールします。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>原稿は印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポート に問い合わせてください。

コンフィデンシャル原稿およびその他の保持された原稿が印刷されない

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a 操作パネルから、待ちのジョブのリストに原稿が表示されるかを確認します。</p> <p>メモ: 原稿が一覧表示されない場合、[印刷して保持]オプションを使用して原稿を印刷します。</p> <p>b 原稿を印刷します。</p> <p>原稿は印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 2 印刷ジョブに、フォーマットエラーまたは無効なデータが含まれている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> • 印刷ジョブを削除し、もう一度送信します。 • PDF ファイルの場合、新しいファイルを生成してから、原稿を印刷します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 インターネットから印刷する場合、プリンタは重複している複数のジョブタイトルを読み取る可能性があります。	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
Windows の場合 <ul style="list-style-type: none"> a [印刷設定]ダイアログを開きます。 b [印刷と保持]セクションで、[重複ドキュメントを維持]を選択します。 c PIN を入力します。 d 印刷ジョブを再送信します。 Macintosh の場合 <ul style="list-style-type: none"> a ジョブは保存され、ジョブごとに違う名前が付けられます。 b ジョブを個別に送信します。 原稿は印刷されましたか？		
手順 4 <ul style="list-style-type: none"> a 一部の保持ジョブを削除して、プリンタメモリの空き容量を増やします。 b 印刷ジョブを再送信します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 <ul style="list-style-type: none"> a プリンタメモリを増設します。 b 印刷ジョブを再送信します。 原稿は印刷されましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

ジョブが誤ったトレイまたは用紙で印刷される

対応	はい	いいえ
手順 1 <ul style="list-style-type: none"> a 正しい用紙で印刷しているかどうかを確認します。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しい用紙で印刷されていますか？	手順 2 に進みます。	正しいサイズとタイプの用紙をセットします。

対応	はい	いいえ
手順 2 <p>a オペレーティングシステム(OS)に応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙サイズと用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ: プリンタ操作パネルで設定した設定を変更することもできます。次のメニューを選択します。</p>  <p>b セットした用紙と設定が一致していることを確認します。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>ドキュメントは正しい用紙で印刷されていますか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 <p>a トレイがリンクされていることを確認します。</p> <p>詳細については、「トレイのリンク」、18 ページ を参照してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>ドキュメントは正しいトレイから印刷されましたか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

時間がかかる

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a プリンタがエコモードまたは静音モードになっていないことを確認します。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>まだ印刷に時間がかかりますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <p>a オペレーティングシステムに応じて、[印刷基本設定]または[印刷]ダイアログから用紙タイプを指定します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定がトレイにセットされた用紙と一致していることを確認します。 プリンタ操作パネルの[用紙]メニューで設定を変更することもできます。 <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>まだ印刷に時間がかかりますか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 <p>a 印刷する部数を減らします。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>まだ印刷に時間がかかりますか？</p>	手順 4 に進みます。	問題は解決しました。

対応	はい	いいえ
手順 4 a プリンタケーブルをプリンタおよびコンピュータ、プリントサーバー、オプション、またはその他のネットワークデバイスにしっかりと接続します。 b ドキュメントを印刷します。 まだ印刷に時間がかかりますか？	手順 5 に進みます。	問題は解決しました。
手順 5 a 操作パネルの[印刷品質]メニューで、[印刷解像度]を[600 dpi]に設定します。 b ドキュメントを印刷します。 まだ印刷に時間がかかりますか？	手順 6 に進みます。	問題は解決しました。
手順 6 a プリンタが過熱していないことを確認します。 メモ: <ul style="list-style-type: none">• 非常に長い印刷ジョブの後には、プリンタを十分に冷めます。• プリンタの操作環境の推奨温度を超えないようにします。詳細については、「プリンタの設置場所を選択する」、10 ページ を参照してください。 b ドキュメントを印刷します。 まだ印刷に時間がかかりますか？	手順 7 に進みます。	問題は解決しました。
手順 7 a プリンタメモリを増設します。 b ドキュメントを印刷します。 まだ印刷に時間がかかりますか？	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。

プリンタが応答していない

対応	はい	いいえ
手順 1 電源コードが電源コンセントに接続されていることを確認します。  注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
プリンタは応答していますか？		
手順 2 コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていないことを確認します。	スイッチをオンにするか、ブレーカーをリセットします。	手順 3 に進みます。
コンセントがスイッチやブレーカーなどでオフになっていますか？		

対応	はい	いいえ
手順 3 プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 プリンタの電源はオンになっていますか？	手順 4 に進みます。	プリンタの電源を入れます。
手順 4 プリンタがスリープモードまたは休止モードになっていないか確認します。 プリンタがスリープモードまたは休止モードになっていませんか？	電源ボタンを押してプリンタを復帰させます。	手順 5 に進みます。
手順 5 プリンタとコンピュータをつなぐケーブルが正しいポートに接続されているかどうかを確認します。 ケーブルは正しいポートに差し込まれていますか？	手順 6 に進みます。	ケーブルを正しいポートに差し込みます。
手順 6 プリンタの電源を切ってハードウェアオプションを取り付けてから、プリンタの電源を入れます。 詳細については、オプションに同梱されているマニュアルを参照してください。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 7 に進みます。
手順 7 正しいプリントドライバをインストールします。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	手順 8 に進みます。
手順 8 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 プリンタは応答していますか？	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

トナー濃度を調整する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

 > [設定] >  > [印刷] >  > [印刷品質] > 

2 [トナー濃度]を選択してから、 を押します。

3 設定を調整して、 を押します。

ネットワーク接続の問題

EWS を開けない

アクション	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。 プリンタの電源はオンになっていますか？	手順 2 に進みます。	プリンタの電源をオンにします。
手順 2 プリンタの IP アドレスが正しいかどうかを確認します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> ホーム画面で IP アドレスを確認します。 IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた数字の 4 セットで表示されます。 プリンタの IP アドレスは正しいですか？	手順 3 に進みます。	アドレスフィールドにプリンタの正しい IP アドレスを入力します。
手順 3 サポート対象のブラウザを使用しているかどうか確認します。 <ul style="list-style-type: none"> Internet Explorer バージョン 11 以降 Microsoft Edge Safari バージョン 6 以降 Google Chrome™ バージョン 32 以降 Mozilla Firefox バージョン 24 以降 ブラウザはサポート対象ですか？	手順 4 に進みます。	サポート対象のブラウザをインストールします。
手順 4 ネットワーク接続が動作しているかどうかを確認します。 ネットワーク接続は動作していますか？	手順 5 に進みます。	管理者に問い合わせてください。
手順 5 プリンタおよびプリントサーバーへのケーブルの接続をチェックし、しっかりと固定されているか確認します。詳細については、プリンタに付属のマニュアルを参照してください。 ケーブルはしっかりと接続されていますか？	手順 6 に進みます。	ケーブルをしっかりと接続します。
手順 6 Web プロキシサーバーが無効か確認します。 Web プロキシサーバーは無効ですか？	手順 7 に進みます。	管理者に問い合わせてください。
手順 7 EWS にアクセスします。 EWS を開きましたか？	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

USB ポートを有効にする

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

> [設定] > > [ネットワーク/ポート] > > [USB] >

2 [USB ポートを有効化]を選択してから、 を押します。

プリンタの接続を確認する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

> [設定] > > [レポート] > > [ネットワーク] >

2 [ネット設定ページ]を選択してから、 を押します。

3 ネット設定ページの最初のセクションを確認し、状態が[接続]であることを確認します。

状態が[未接続]の場合、LAN 破棄が有効ではない、またはネットワークケーブルが外れているか、正常に動作していない可能性があります。サポートが必要な場合は、管理者に問い合わせてください。

内蔵オプションの問題

内蔵オプションが検出されない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 内蔵オプションは正しく動作しますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 メニュー設定ページを印刷し、[インストール済みの機能]リストに内蔵オプションがあるかどうかを確認します。 内蔵オプションはメニュー設定ページに記載されていますか？	手順 4 に進みます。	手順 3 に進みます。
手順 3 内蔵オプションがコントローラボードに正しく取り付けられていることを確認します。 a プリンタの電源を切り、電源コードをコンセントから抜きます。 b 内蔵オプションがコントローラボードの適切なコネクタに取り付けられていることを確認します。 c 電源コードをコンセントに接続し、プリンタの電源をオンにします。 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。	問題は解決しました。	手順 4 に進みます。
内蔵オプションは正しく動作しますか？		

対応	はい	いいえ
手順 4 <p>a 内蔵オプションがプリンタドライバで使用可能かどうか確認します。</p> <p>メモ: 必要に応じて、プリンタドライバで内蔵オプションを手動で追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、「[プリンタドライバの使用可能なオプションを追加する]」、205 ページ を参照してください。</p> <p>b 印刷ジョブを再送信します。</p> <p>内蔵オプションは正しく動作しますか？</p>	問題は解決しました。	[カスタマサポート] にお問い合わせください。

消耗品の問題

カートリッジを交換、プリンタの地域設定が不一致

この問題を解決するには、プリンタの地域に一致する正しい地域でカートリッジを購入するか、世界標準のカートリッジを購入します。

- 42 の後ろに続くメッセージの最初の番号は、プリンタの地域を示します。
- 42 の後ろに続くメッセージの 2 番目の番号は、カートリッジの地域を示します。

プリンタおよびトナーカートリッジの地域

地域	数値コード
世界標準または未定義の地域	0
北米(米国、カナダ)	1
欧州経済領域、西ヨーロッパ、北欧諸国、スイス	2
アジア太平洋	3
中南米	4
その他の欧州諸国、中東、アフリカ	5
オーストラリア、ニュージーランド	6
無効な地域	9

メモ: プリンタとトナーカートリッジの地域設定を検索するには、印刷品質テストページを印刷します。操作パネルから、次のメニューを選択します。[設定] > [トラブルシューティング] > [印刷品質テストページ]

Lexmark 以外の消耗品

プリンタに他社製の消耗品または部品が取り付けられています。

お使いの Lexmark プリンタは、Lexmark の純正の消耗品および部品を使用して最適に動作するように設計されています。サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、パフォーマンス、信頼性、プリンタの寿命およびイメージングコンポーネントに影響する場合があります。

すべての寿命インジケータは、純正の消耗品および部品を使用して機能するように設計されており、サードパーティ製の消耗品や部品を使用すると、予期せぬ結果になることがあります。想定された寿命を超えてイメージングコンポーネントを使用すると、Lexmark プリンタや関連するコンポーネントが損傷する可能性があります。

警告—破損の恐れあり: サードパーティ製の消耗品や部品の使用は、保証の対象に影響します。サードパーティ製の消耗品や部品の使用による損傷は、保証の対象外となる可能性があります。

これらのリスクをすべて許容し、純正でない消耗品や部品の使用をプリンタで続行するには、操作パネルで **X** と **OK** を同時に 15 秒間押し続けます。

これらのリスクを許容しない場合は、サードパーティ製の消耗品や部品をプリンタから取り外し、Lexmark の純正の消耗品や部品を取り付けます。詳細については、「[Lexmark の純正部品と純正消耗品を使用する](#)」、122 ページを参照してください。

X と **OK** を 15 秒間同時に押し続けても印刷されない場合、消耗品使用量カウンタをリセットします。

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[設定] > **OK** > [デバイス] > **OK** > [メンテナンス] > **OK** > [設定メニュー] > **OK** > [消耗品使用量とカウンタ] > **OK**

2 リセットする部品または消耗品を選択して、[スタート]を選択します。

3 警告メッセージを確認して [続行] を選択します。

4 **X** と **OK** を同時に 15 秒間押し続けて、メッセージをクリアします。

メモ: 消耗品使用量カウンタをリセットできない場合は、購入した場所に消耗品を返品します。

給紙の問題

印刷時に封筒の封が閉じられる

対応	はい	いいえ
手順 1 <ul style="list-style-type: none"> a 乾燥した場所に保管されている封筒を使用してください。 メモ: 含水率の高い封筒に印刷すると、封の部分が閉じられる可能性があります。 b 次のように印刷ジョブを送信します。 <p>印刷時に封筒の封が閉じられますか。</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <ul style="list-style-type: none"> a 用紙のタイプが [封筒] に設定されていることを確認します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。  > [設定] > OK > [用紙] > OK > [トレイ設定] > OK > [用紙サイズ/タイプ] b 次のように印刷ジョブを送信します。 <p>印刷時に封筒の封が閉じられますか。</p>	カスタマサポート にお問い合わせください 。	問題は解決しました。

部単位印刷が動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。  b [部単位]をオン「1,2,1,2,1,2」に設定してから、  を押します。 c ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しくソートされていますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 印刷するドキュメントで、[印刷]ダイアログボックスを開いて[ソート(1部ごと)]を選択します。 b ドキュメントを印刷します。 ドキュメントは正しくソートされていますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 a 印刷するページ数を減らします。 b ドキュメントを印刷します。 ページは正しくソートされていますか。	問題は解決しました。	カスタマサポートに お問い合わせください 。

トレイのリンクが動作しない

対応	はい	いいえ
手順 1 a トレイに同じサイズおよびタイプの用紙がセットされているか確認します。 b 用紙ガイドの位置が正しいか確認します。 c ドキュメントを印刷します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。  b 接続されているトレイにセットされた用紙に合った用紙サイズと用紙のタイプを設定します。 c ドキュメントを印刷します。 トレイは正しくリンクしますか。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 3 <p>a [同一用紙サイズのトレイのリンク] が [自動] に設定されていることを確認します。詳細については、「トレイのリンク」、18 ページ を参照してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>トレイは正しくリンクしますか。</p>	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

紙詰まりが頻繁に発生する

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a トレイを取り外します。</p> <p>b 用紙が正しくセットされていることを確認します。</p> <p>メモ:</p> <ul style="list-style-type: none"> 用紙ガイドが正しい位置にあることを確認します。 重ねた用紙の高さが、指定されている高さの上限を超えないようになります。 推奨用紙サイズとタイプで印刷していることを確認します。 <p>c トレイを挿入します。</p> <p>d ドキュメントを印刷します。</p> <p>紙詰まりが頻繁に発生しますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <p>a 操作パネルから、次のメニューを選択します。</p>  <p>b 用紙サイズとタイプを正しく設定します。</p> <p>c ドキュメントを印刷します。</p> <p>紙詰まりが頻繁に発生しますか？</p>	手順 3 に進みます。	問題は解決しました。
手順 3 <p>a 新しいパッケージの用紙をセットします。</p> <p>メモ: 高湿度の場合、用紙は水分を吸収します。用紙は、使用するときまで元の包装に入れて保管してください。</p> <p>b ドキュメントを印刷します。</p> <p>紙詰まりが頻繁に発生しますか？</p>	カスタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

紙詰まりが発生したページが再印刷されない

アクション	はい	いいえ
<p>1 操作パネルから、次のメニューを選択します。</p> <p>[設定] > [OK] > [デバイス] > [OK] > [通知] > [OK] > [紙詰まりしたページの再印刷] > [OK]</p> <p>2 [紙詰まりしたページの再印刷]メニューで[オン]または[自動]を選択してから、[OK]を押します。</p> <p>紙詰まりが発生したページは再印刷されましたか。</p>	問題は解決しました。	カスタマサポートにお問い合わせください。

E メールの問題

E メールを送信できない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1 プリンタの E メール SMTP 設定が正しいことを確認してください。詳細については、「E メール SMTP 設定を構成する」、28 ページ を参照してください。</p> <p>E メールを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2 正しいパスワードを使用していることを確認してください。E メールサービスプロバイダに応じて、アカウントパスワード、アプリパスワード、または認証パスワードを使用します。詳細については、「E メール SMTP 設定を構成する」、28 ページ を参照してください。</p> <p>E メールを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
<p>手順 3 プリンタがネットワークに接続されていること、ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。</p> <p>E メールを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

FAX に関するトラブル

発信者 ID が表示されない

対応	はい	いいえ
<p>発信者番号表示を有効化します。 操作パネルから、次のメニューを選択します。</p> <p>[設定] > [OK] > [FAX] > [OK] > [FAX 初期設定] > [OK] > [FAX 設定] > [OK] > [FAX 受信設定] > [OK] > [管理者用設定] > [OK] > [発信者番号表示を有効化] > [OK]</p> <p>発信者 ID が表示されますか？</p>	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

etherFAX を設定できない

対応	はい	いいえ
<p>手順 1 プリンタの接続を確認します。</p> <p>a ネットワーク設定ページを印刷します。操作パネルから、次のメニューを選択します。</p> <p>[設定] > [OK] > [レポート] > [OK] > [ネットワーク] > [OK] > [ネットワーク設定ページ] > [OK]</p> <p>b ネットワークの状態をチェックします。</p> <p>プリンタはネットワークに接続されていますか？</p>	手順 3 に進みます。	手順 2 に進みます。
<p>手順 2 プリンタがネットワークに接続されていること、ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。</p> <p>etherFAX を設定できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
<p>手順 3 etherFAX が正しく設定されていることを確認します。詳細については、「etherFAX を使用した FAX 機能の設定」、39 ページ を参照してください。</p> <p>etherFAX を設定できますか？</p>	問題は解決しました。	https://www.etherfax.net/lexmark

アナログ FAX を使用して FAX を送受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 以下の機器のケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • 電話 • ハンドセット • 留守番電話 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 発信音を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • FAX 番号に電話をかけて、正しく機能していることを確認します。 • オンフックダイヤル機能をご使用の場合は、ボリュームを上げて発信音が聞こえるかどうかを確認してください。 発信音が聞こえますか？	手順 5 に進みます。	手順 4 に進みます。
手順 4 電話の差し込み口を確認します。 <ol style="list-style-type: none"> a 差し込み口に直接アナログ電話を接続します。 b 発信音を聞いてください。 c 発信音が聞こえない場合は、別の電話ケーブルをご利用ください。 d やはり発信音が聞こえない場合は、アナログ電話を別の差し込み口に差し込んでください。 e 発信音が聞こえたら、その差し込み口にプリンタを接続してください。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 5 に進みます。
手順 5 プリンタがアナログ電話サービスまたは正しいデジタルコネクタに接続されていることを確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • 統合サービスデジタル通信網(ISDN)電話サービスを使用している場合、ISDN ターミナルアダプタのアナログ電話ポートに接続します。詳細については、ISDN プロバイダにお問い合わせください。 • DSL を使用している場合、アナログでの使用をサポートしている DSL フィルタまたはルーターに接続します。詳細については、DSL プロバイダにお問い合わせください。 • 構内交換機(PBX)電話サービスをご使用の場合は、PBX のアナログ接続部に接続しているか確認してください。アナログ接続部がない場合は、FAX 機用アナログ電話回線の設置をご検討ください。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 6 に進みます。

対応	はい	いいえ
手順 6 一時的に他の機器の接続を切断して、他の電話サービスを無効にします。 a プリンタと電話回線間の他の機器(留守番電話、コンピュータ、モデムまたは電話回線スプリッタなど)を切断します。 b 割込通話およびボイスメールを無効にします。詳細については、電話会社にお問い合わせください。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 7 に進みます。
手順 7 原稿を一度に 1 ページスキャンしてください。 a FAX 番号にダイヤルしてください。 b 原稿をスキャンします。 FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	次に問い合わせます: カスタマサポート 。

etherFAX を使用して FAX を送受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 プリンタがネットワークに接続されていること、ネットワークがインターネットに接続されていることを確認してください。 etherFAX を使用して FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 a 操作パネルから、次のメニューを選択します。  b FAX 番号を正しく入力したことを確認します。 c [FAX の転送] は、必ず [etherFAX] に設定します。 etherFAX を使用して FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 大きいドキュメントを小さいファイルサイズに分割します。 etherFAX を使用して FAX を送受信できますか？	問題は解決しました。	https://www.etherfax.net/lexmark

アナログ FAX を使用して FAX を受信できるが送信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 原稿を ADF トレイまたは原稿台に正しくセットします。 FAX を送信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 ショートカット番号を正しく設定します。 <ul style="list-style-type: none"> • ショートカット番号がダイヤルしたい電話番号に設定されていることを確認してください。 • 電話番号を手動でダイヤルします。 FAX を送信できますか？	問題は解決しました。	次に問い合わせます: カスタマサポート 。

アナログ FAX を使用して FAX を送信できるが受信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 給紙源が空でないことを確認します。 FAX を受信できますか？	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 着信音回数待機の設定をチェックします。 操作パネルから、次のメニューを選択します。  FAX を受信できますか？	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 プリンタで空白のページが印刷される場合(⇒「 空白または白のページ 」、「 153 ページ 」)。 FAX を受信できますか？	問題は解決しました。	次に問い合わせます: カスタマサポート 。

FAX の印刷品質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 印刷品質を上げます。 a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。 b [設定] > [印刷 > 品質] をクリックします。 c 設定を調整します。 d 変更を適用します。	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
FAX の印刷品質に問題はありませんか？		
手順 2 FAX の受信速度を下げてください。 a Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。 メモ: <ul style="list-style-type: none"> プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。 プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。 b [設定] > [FAX] > [アナログ FAX 設定] > [FAX 受信設定] > [管理者用設定] をクリックします。 c [送信最大ビット速度] の設定を選択します。 d 変更を適用します。	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
FAX の印刷品質に問題はありませんか？		
手順 3 トナーカードリッジを取り付けます。 詳細については、同梱されている手順シートを参照してください。	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。
FAX の印刷品質に問題はありませんか？		

FAX 送付状ページに情報がない

対応	いいえ	はい
a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。 b FAX を送信または取得します。	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。
FAX 送付状ページに情報がありませんか？		

コンピュータから FAX 送付状ページを送信できない

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a プリンタドライバが更新されていることを確認します。詳細については、「プリンタソフトウェアをインストールする」、203 ページ を参照してください。</p> <p>b FAX を送信します。</p> <p>FAX 送付状ページを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 <p>a FAX するドキュメントで、[印刷]ダイアログを開きます。</p> <p>b プリンタを選択し、[プロパティ]、[基本設定]、[オプション]、または [設定]をクリックします。</p> <p>c [FAX]をクリックし、[FAX を送信する前に設定を常に表示]をオフにします。</p> <p>d FAX を送信します。</p> <p>FAX 送付状ページを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	次に問い合わせます： カスタマサポート 。

スキャンに関するトラブル

コンピュータからスキャンできない

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a プリンタの電源を切り、約 10 秒間待機してから、プリンタの電源を入れます。</p> <p>b スキャンジョブを再送信します。</p> <p>スキャンジョブを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 <p>a プリンタおよびプリントサーバーへのケーブルがしっかりと固定されていることを確認します。 詳細については、プリンタに同梱されているセットアップマニュアルを参照してください。</p> <p>b スキャンジョブを再送信します。</p> <p>スキャンジョブを送信できますか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

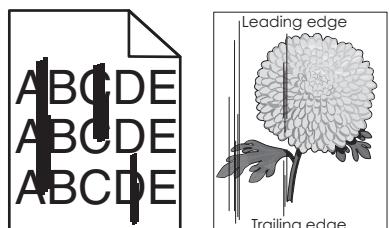
文書や写真の一部しかコピーされない

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a 文書または写真が原稿台ガラスの左上の角に表を下にしてセットされているか確認してください。</p> <p>b 文書または写真をコピーします。</p> <p>文書または写真是正しくコピーされていますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 <p>a 用紙サイズの設定がトレイにセットした用紙と合っているか確認してください。</p> <p>b 文書または写真をコピーします。</p> <p>文書または写真是正しくコピーされていますか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポート 問い合わせください 。

コピー品質が悪い

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で、原稿台ガラスと ADF ガラスを拭きます。</p> <p>b 文書または写真的表を下にし、原稿台ガラスの左上隅に合わせてセットしてください。</p> <p>c 文書または写真をコピーします。</p> <p>コピーの品質に問題はありませんか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 <p>a 文書または写真的質を確認します。</p> <p>b スキャン品質の設定を調整します。</p> <p>c 文書または写真をコピーします。</p> <p>コピーの品質に問題はありませんか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポート 問い合わせください 。

ADF からスキャンした場合に、出力紙に発生する縦方向の黒いすじ



対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a スキヤナカバーを開きます。</p> <p>b 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で、ADF ガラスと ADF カバーの裏側の白い部分を拭きます。</p> <p>c スキヤナカバーを閉じます。</p> <p>それでも縦方向のすじがスキャン文書に発生しますか？</p>	手順 2 に進みます。	問題は解決しました。
手順 2 <p>a ドア C を開きます。</p> <p>b 水で湿らせた柔らかい糸くずの出ない布で、ADF ガラスと ADF カバーの裏側の白い部分を拭きます。</p> <p>c ドアを閉じます。</p> <p>それでも縦方向のすじがスキャン文書に発生しますか？</p>	テクニカルサポートに 力 スタマサポート にお問い合わせください。	問題は解決しました。

スキャンジョブが失敗しました

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>ケーブル接続をチェック確認します。</p> <p>a イーサネットまたは USB ケーブルがコンピュータおよびプリンタにしっかりと接続されていることを確認してください。</p> <p>b スキャンジョブを再送信します。</p> <p>スキャンジョブが正常に完了しましたか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 <p>スキャンするファイルを確認します。</p> <p>a ファイル名が保存先フォルダで既に使用されていないことを確認します。</p> <p>b スキャンする文書または写真が他のアプリケーションで開かれていなことを確認します。</p> <p>c スキャンジョブを再送信します。</p> <p>スキャンジョブが正常に完了しましたか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 <p>a 保存先の設定で[タイムスタンプを追加]または[既存ファイルを上書き]チェックボックスが選択されていることを確認します。</p> <p>b スキャンジョブを再送信します。</p> <p>スキャンジョブが正常に完了しましたか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください 。

スキャナが閉じない

アクション	はい	いいえ
スキャナカバーが閉じない原因となっている障害物を取り除きます。	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。
スキャナカバーは正常に閉じましたか。		

スキャンに時間がかかり過ぎる、またはコンピュータがフリーズする

対応	はい	いいえ
スキャンを妨害しているすべてのアプリケーションを閉じます。	カスタマサポート に問い合わせてください。	問題は解決しました。
スキャンに時間がかかる、またはコンピュータが停止してしまいますか？		

スキャナが反応しない

対応	はい	いいえ
手順 1 <p>a 電源コードがプリンタと電源コンセントに接続されていることを確認します。</p> <p> 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。</p> <p>b 原稿をスキャンまたはコピーします。</p> <p>スキャナは応答していますか？</p>	問題は解決しました。	手順 2 に進みます。
手順 2 <p>a プリンタの電源が入っているかどうかを確認します。</p> <p>b ディスプレイに表示されるエラーメッセージを解決します。</p> <p>c 原稿をスキャンまたはコピーします。</p> <p>スキャナは応答していますか？</p>	問題は解決しました。	手順 3 に進みます。
手順 3 <p>a プリンタの電源を切って約 10 秒間待ってから、再び電源を入れます。</p> <p>b 原稿をスキャンまたはコピーします。</p> <p>スキャナは応答していますか？</p>	問題は解決しました。	カスタマサポート にお問い合わせください。

スキャナ登録の調整

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[] > [設定] > > [デバイス] > > [メンテナンス] > > [設定メニュー] > > [スキャナ設定]
> > [スキャナ手動登録] >

2 [印刷簡易テスト]を選択してから、 を押します。

3 原稿台に印刷簡易テストページを配置し、[フラットベッド登録]をタッチします。

4 [コピー簡易テスト]を選択してから、 を押します。

5 コピー簡易テストページを原稿と比較します。

メモ: テストページの余白が原稿と異なる場合は、[左余白]と[上余白]を調整します。

6 コピー簡易テストページの余白が原稿と一致するまで、[手順 4](#) および [手順 5](#) を繰り返します。

ADF 登録を調整する

1 操作パネルから、次のメニューを選択します。

[] > [設定] > > [デバイス] > > [メンテナンス] > > [設定メニュー] > > [スキャナ設定]
> > [スキャナ手動登録] >

2 [印刷簡易テスト]を選択してから、 を押します。

3 ADF トレイに印刷簡易テストページをセットします。

4 [正面 ADF 登録]または[背面 ADF 登録]をタッチします。

メモ:

- 前面 ADF 登録を調整するには、短辺方向から ADF ヘテストページ面を上にしてセットします。
- 背面 ADF 登録を調整するには、短辺方向から ADF ヘテストページ面を下にしてセットします。

5 [コピー簡易テスト]を選択してから、 を押します。

6 コピー簡易テストページを原稿と比較します。

メモ: テストページの余白が原稿と異なる場合は、[水平方向調整]と[上余白]を調整します。

7 コピー簡易テストページの余白が原稿と一致するまで、[手順 5](#) および [手順 6](#) を繰り返します。

カスタマサポートに問い合わせる

カスタマサポートに連絡する前に、次の情報を確認してください。

- ・プリンタの問題
- ・エラーメッセージ
- ・プリンタ機種とシリアル番号

Go to <http://support.lexmark.com> メールまたはチャットによるサポートを受けるか、マニュアル、サポートドキュメント、ドライバ、およびその他のダウンロードのライブラリを参照するには、<http://support.lexmark.com> にアクセスしてください。

電話によるテクニカルサポートもご利用いただけます。米国またはカナダの場合、1-800-539-6275 までお電話ください。その他の国または地域については、<http://support.lexmark.com> で入手できます。

アップグレードと移行

ハードウェア

使用可能な内蔵オプション

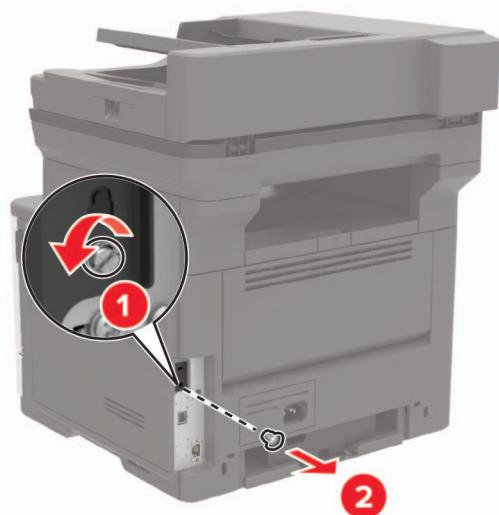
- ユーザーフラッシュメモリ
- フォントカード

メモリカードを取り付ける

 **注意—感電危険:** 感電の危険を回避するため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切ります。
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。
- 3 コントローラボードのアクセスカバーを開きます。

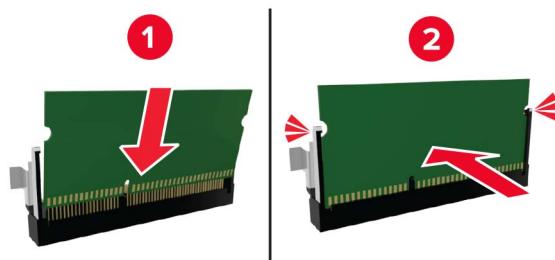
警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コントローラボードのコンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



4 メモリカードを開梱します。

警告—破損の恐れあり: カードの端に沿った接点に触れないでください。

5 メモリカードを、所定の位置でカチッと音がするまで挿入します。



6 コントローラボードのアクセスカバーを閉じます。

7 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します

 **注意—傷害の恐れあり:** 火災や感電の危険をさけるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

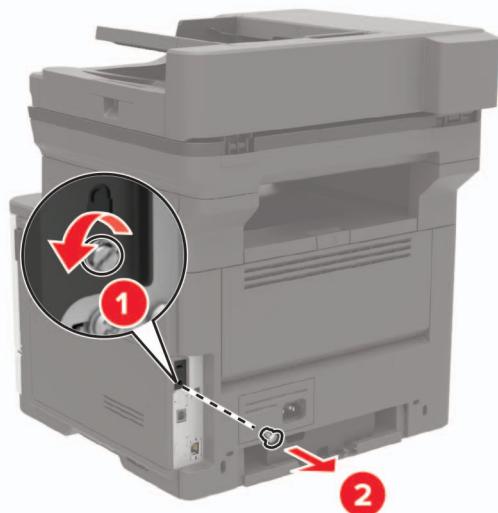
8 プリンタの電源を入れます。

オプションカードを取り付ける

 **注意—感電危険:** 感電の危険を避けるため、プリンタの設定後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを設置する場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

- 1 プリンタの電源を切ります。**
- 2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜いてください。**
- 3 コントローラボードのアクセスカバーを開きます。**

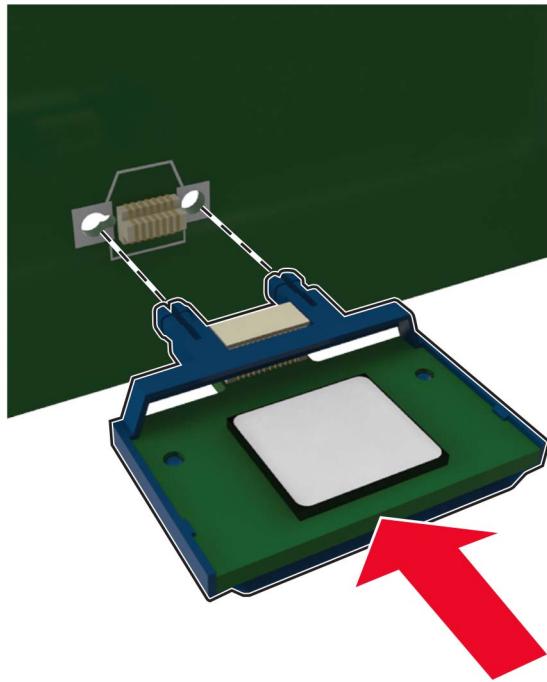
警告—破損の恐れあり: コントローラボードの電気コンポーネントは、静電気により簡単に損傷します。コンポーネントまたはコネクタに触れる前に、プリンタの金属面を触ります。



4 オプションカードを開梱します。

警告—破損の恐れあり: カードの端に沿った接点に触れないでください。

5 カードを所定の位置にしっかりと押し入れます。



メモ: カードのコネクタ全体がコントローラボードに触れ、水平になっている必要があります。

警告—破損の恐れあり: カードを正しく取り付けない場合、カードとコントローラボードが損傷する恐れがあります。

6 アクセスカバーを閉じます。

7 電源コードをプリンタに接続し、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くの、正しく接地され定格を守ったコンセントに、電源コードを接続します。

8 プリンタの電源を入れます。

オプショントレイを取り付ける

⚠ 注意—感電危険: 感電の危険を避けるため、プリンタのセットアップ後コントローラボードにアクセスしたり、オプションのハードウェアまたはメモリデバイスを取り付ける場合には、作業を進める前にプリンタの電源を切り、電源コードを抜きます。他のデバイスがプリンタに接続されている場合は、他のデバイスの電源も切り、プリンタに接続しているケーブルを抜きます。

1 プリンタの電源を切ります。

2 電源コードをコンセントから抜き、次にプリンタから抜きます。

3 オプショントレイを梱包から取り出し、梱包材をすべて取り除きます。

メモ: オプショントレイがすでに取り付けられている場合は、プリンタを持ち上げる前にトレイのロックを解除してください。トレイとプリンタを同時に持ち上げないでください。

4 プリンタをオプショントレイに合わせ、プリンタユニットを所定の位置までカチッと音がするまで下ろします。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: プリンタの重さが 20 kg(44 ポンド)以上ある場合、安全に持ち上げるには 2 名以上の人が必要になることがあります。



5 電源コードをプリンタに接続してから、電源コンセントに接続します。

⚠ 注意—傷害の恐れあり: 火災や感電の危険を避けるため、製品の設置場所の近くでアクセスしやすく、正しく接地され定格を守ったコンセントに電源コードを接続します。

6 プリンタの電源を入れます。

プリントドライバにトレイを追加し、印刷ジョブで使用できるようにします。詳細については、「[プリントドライバの使用可能なオプションを追加する](#)」、205 ページ を参照してください。

ソフトウェア

プリンタソフトウェアをインストールする

メモ:

- プリンタドライバはソフトウェインストーラパッケージに含まれています。
- macOS バージョン 10.7 以降が搭載されている Macintosh コンピュータの場合は、ドライバをインストールせずに AirPrint 対応プリンタで印刷できます。カスタム印刷機能が必要な場合は、プリンタドライバをダウンロードします。

1 ソフトウェインストーラパッケージのコピーを取得します。

- プリンタに付属のソフトウェア CD から
- www.lexmark.com/downloads にアクセスします。

2 インストーラを実行して、コンピュータの画面の手順に従います。

FAX ドライバをインストールする

- 1 www.lexmark.com/downloads にアクセスし、プリンタ機種を検索して、適切なインストーラパッケージをダウンロードします。
- 2 コンピュータで、[プリンタのプロパティ]をクリックし、[設定]タブに移動します。
- 3 [FAX]を選択してから[適用]をクリックします。

コンピュータにプリンタを追加する

開始する前に、次のいずれかを実行します。

- プリンタとコンピュータを同じネットワークに接続します。詳細情報(⇒「[プリンタを Wi-Fi ネットワークに接続する](#)」、[115 ページ](#))。
- コンピュータをプリンタに接続します。詳細については、「[コンピュータをプリンタに接続する](#)」、[118 ページ](#) を参照してください。
- USB ケーブルを使用してプリンタをコンピュータに接続します。詳細については、「[ケーブルを接続する](#)」、[12 ページ](#) を参照してください。

メモ: USB ケーブルは付属していません。

Windows の場合

- 1 コンピュータから、プリントドライバをインストールします。

メモ: 詳細については、「[プリンタソフトウェアをインストールする](#)」、[203 ページ](#) を参照してください。

- 2 [プリンタとスキャナ]を開き、[プリンタまたはスキャナを追加]をクリックします。

- 3 プリンタ接続に応じて、次のいずれかを実行します。

- 一覧からプリンタを選択し、[デバイスの追加]をクリックします。
- [wi-fi ダイレクトプリンタを表示する]をクリックし、プリンタを選択して、[デバイスの追加]をクリックします。
- [プリンタが一覧にない場合]をクリックして、[プリンタを追加]ウィンドウで次の手順を実行します。
 - a [TCP/IP アドレスまたはホスト名を使ってプリンタを追加する]を選択し、[次へ]をクリックします。
 - b [ホスト名または IP アドレス]フィールドにプリンタの IP アドレスを入力し、[次へ]をクリックします。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。
- c プリンタドライバ選択してから、[次へ]をクリックします。
- d [現在インストールされているプリントドライバを使用する(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックします。
- e プリンタ名を入力し、[次へ]をクリックします。
- f プリンタ共有オプションを選択し、[次へ]をクリックします。
- g [終了]をクリックします。

Macintosh の場合

- 1 コンピュータで、[プリンタとスキャナ]を開きます。

- 2 + をクリックし、プリンタを選択します。

3 [使用]メニューからプリントドライバを選択します。

メモ:

- Macintosh のプリントドライバを使用するには、[AirPrint]または[Secure AirPrint]のいずれかを選択します。
- カスタム印刷機能を使用する場合は、Lexmark のプリントドライバを選択します。ドライバをインストールするには、「プリンタソフトウェアをインストールする」、203 ページを参照してください。

4 プリンタを追加します。

プリントドライバの使用可能なオプションを追加する

Windows の場合

1 プリンタフォルダを開きます。

2 更新するプリンタを選択して、次のいずれかを実行します。

- Windows 7 以降の場合は、[プリンタのプロパティ]を選択します。
- それ以前のバージョンの場合は、[プロパティ]を選択します。

3 [設定]タブに移動して、[今すぐ更新 - プリンタに照会]を選択します。

4 変更を適用します。

Macintosh の場合

1 アップルメニューの[システム環境設定]からお使いのプリンタに移動して、[オプションとサプライ]を選択します。

2 ハードウェアオプションの一覧に移動して、設置済みのオプションを追加します。

3 変更を適用します。

ファームウェア

設定ファイルをエクスポートまたはインポートする

プリンタの構成設定をテキストファイルにエクスポートしてから、それをインポートし、他のプリンタに設定を適用できます。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 EWS から、[構成をエクスポート]または[構成をインポート]をクリックします。

3 画面に表示される手順に従います。

4 プリンタがアプリケーションをサポートする場合は、次の手順を実行します。

- a [アプリ] > をクリックし、アプリケーションの > [設定]を選択します。
- b [エクスポート]または[インポート]をクリックします。

ファームウェアを更新する

一部のアプリケーションを正しく動作させるためには、デバイスファームウェアの最小レベルが必要になります。

デバイスファームウェアの更新の詳細については、Lexmark 担当者にお問い合わせください。

1 Web ブラウザを開き、アドレスフィールドにプリンタの IP アドレスを入力します。

メモ:

- プリンタのホーム画面でプリンタの IP アドレスを確認します。IP アドレスは、123.123.123.123 のように、ピリオドで区切られた 4 つの数字の組み合わせとして表示されます。
- プロキシサーバーを使用している場合は、一時的に無効にし、Web ページを正しく読み込んでください。

2 [設定] >> [デバイス] > [ファームウェアを更新]をクリックします。

3 次のいずれかを実行します。

- [更新を確認] > [同意します。更新を開始します]をクリックして、更新を開始します。
- フラッシュファイルをアップロードします。

メモ: 最新のファームウェア入手するには、www.lexmark.com/downloads にアクセスし、使用しているプリンタ機種を検索します。

a フラッシュファイルを参照します。

メモ: ファームウェアの zip ファイルが解凍されていることを確認します。

b [アップロード] > [開始]をクリックします。

通知

製品情報

製品名:

Lexmark MB2338adw、Lexmark MX321adn、Lexmark MX321adw MFP

機種番号:

7017

モデル:

276、278

版通知

2024 年 7 月

この章に記載された内容は、これらの条項と地域法とに矛盾が生じる国では適用されないものとします。Lexmark International, Inc. は本ドキュメントを「現状有姿」で提供し、明示的または默示的であるかを問わず、商品性および特定目的に対する適合性の默示的保証を含み、これに限定されないその他すべての保証を否認します。一部の地域では特定の商取引での明示的または默示的な保証に対する免責を許可していない場合があり、これらの地域ではお客様に対して本条項が適用されない場合があります。

本ドキュメントには、不正確な技術情報または誤植が含まれている場合があります。ここに記載された情報は定期的に変更され、今後のバージョンにはその変更が含まれます。記載された製品またはプログラムは、任意の時期に改良または変更が加えられる場合があります。

本ドキュメントで特定の製品、プログラム、またはサービスについて言及している場合でも、すべての国々でそれらが使用可能であることを默示的に意味しているものではありません。特定の製品、プログラム、またはサービスについてのすべての記述は、それらの製品、プログラム、またはサービスのみを使用することを明示的または默示的に示しているものではありません。既存の知的財産権を侵害しない、同等の機能を持つすべての製品、プログラム、またはサービスを代替して使用することができます。製造元が明示的に指定した以外の製品、プログラム、またはサービスと組み合わせた場合の動作の評価および検証は、ユーザーの責任において行ってください。

Lexmark テクニカルサポートについては、<http://support.lexmark.com> を参照してください。

消耗品とダウンロードについては、<http://www.lexmark.com> を参照してください。

© 2018 Lexmark International, Inc.

All rights reserved.

商標

Lexmark、Lexmark ロゴ、MarkNet は、米国およびその他の国における Lexmark International, Inc. の商標または登録商標です。

Gmail、Android、Google Play、Google Chrome は Google LLC の商標です。

Macintosh, Safari, and AirPrint are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. App Store and iCloud are service marks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. Use of the Works

with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Mopria® のワードマークは、米国およびその他の国における Mopria Alliance, Inc. の登録商標または未登録商標です。無断使用は固く禁じられています。

PCL® は Hewlett-Packard Company の登録商標です。PCL は、Hewlett-Packard Company のプリンタ製品に含まれるプリンタコマンド(言語)および機能のセットの表示です。このプリンタは PCL 言語に対応します。このことは、プリンタがさまざまなアプリケーションプログラムで使用される PCL コマンドを認識し、プリンタがコマンドに対応する機能をエミュレートすることを意味します。

PostScript は米国およびその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Wi-Fi® および Wi-Fi Direct® は、Wi-Fi Alliance® の登録商標です。

その他すべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

ライセンスに関する通知

この製品に関するライセンスについての通知はすべて、インストールソフトウェア CD の CD:\NOTICES ディレクトリから表示できます。

騒音レベル

次の計測は ISO 7779 に従って実施され、ISO 9296 に準拠した手順で報告されました。

メモ: 製品によっては適用されないモードがあります。

1 メートルの平均音圧 (dBA)	
印刷中	片面: 54 両面: 53
スキャン中	54
コピー中	54
レディ状態	14

値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com をご覧ください。

Environmental labeling for packaging

Per Commission Regulation Decision 97/129/EC Legislative Decree 152/2006, the product packaging may contain one or more of the following symbols.

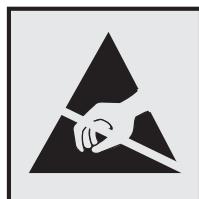
	This symbol indicates that the packaging may contain corrugated fiberboard.
	This symbol indicates that the packaging may contain non-corrugated fiberboard.
	This symbol indicates that the packaging may contain paper.

For more information, go to www.lexmark.com/recycle, and then choose your country or region. Information on available packaging recycling programs is included with the information on product recycling.

製品の廃棄

プリンタまたは消耗品は、一般の家庭ごみと一緒に捨てないでください。廃棄とリサイクルの方法については、お住まいの地方自治体にお問い合わせください。

静電気感知に関する通知



このマークは、静電気に敏感な部品であることを示します。このマークの周辺に触れる前に、マークから離れた場所のプリンタの金属フレームに触れてください。

紙詰まりの除去や消耗品の交換などのメンテナンス作業時に、静電気放電による損傷を防ぐため、マークがない場合でも、プリンタ内部に手を入れたり触れたりする前に、プリンタの露出している金属製フレームに触れてください。

国際エネルギースター・プログラム(ENERGY STAR)

ENERGY STAR® のマークが付いている Lexmark 製品、または起動画面でこのマークが表示される Lexmark 製品は、製造日時点でアメリカ環境保護庁(EPA)の ENERGY STAR 基準に準拠しています。



温度に関する情報

動作環境温度	10 ~ 32°C (50 ~ 90°F)
輸送時の温度	-20 ~ 40°C (-4 ~ 104°F)
保管時の温度と相対湿度	0 ~ 40°C (32 ~ 104°F) 8 ~ 80% RH

レーザーについて

本機は、米国においてクラス I(1)レーザー製品に対する DHHS 21 CFR, Chapter I, Subchapter J の要件に準拠し、その他の国では IEC 60825-1 の要件に準拠するクラス I レーザー製品として認可されています。2014

クラス I レーザー製品は、危険性がないとみなされています。レーザーシステムとプリンタは、通常の操作、ユーザーによるメンテナンス、または所定のサービス条件の下で、ユーザーがクラス I レベルを超えるレーザー放射に絶対にさらされないように設計されています。プリンタには、以下の仕様のレーザーを含む、メンテナンス不可能なプリントヘッドアセンブリがあります。

クラス : IIIb (3b) AlGaNnP

公称出力電力(ミリワット) : 15

波長(ナノメートル) : 650 ~ 670

電力消費量

製品の消費電力

次の表に、本製品の電力消費特性を示します。

メモ: 製品によっては適用されないモードがあります。

モード	説明	消費電力(W)
印刷	製品が入力データからハードコピー出力を生成しているとき。	片面: 520 両面: 325
コピー	製品が原稿のハードコピー出力を生成しているとき。	550

モード	説明	消費電力(W)
スキャン	製品が原稿のスキャンを行っているとき。	14.5
準備完了	印刷ジョブを待機中	10.5
スリープモード	製品が高レベルのパワーセーブモードの状態にあるとき。	1.3
休止モード	製品が低レベルのパワーセーブモードの状態にあるとき。	0.1
オフ	製品の電源コードがコンセントに差し込まれていて、電源スイッチはオフの状態のとき。	0.1

上記の表に示されている電力消費レベルは、時間的平均測定値です。瞬間的な電力は、この平均値を大きく上回る場合があります。

値は変更される場合があります。最新の値については、www.lexmark.com をご覧ください。

スリープモード

この製品には、スリープモードと呼ばれる省電力モードがあります。スリープモードでは、長時間アイドル状態になった場合、電力消費量を下げることで、電力を節約します。[スリープモードタイムアウト]という一定期間の間に本機が使用されない場合、自動的にスリープモードになります。

本機の工場出荷時のデフォルト[スリープモードタイムアウト](分): 15

設定メニューを使用し、[スリープモードタイムアウト]を 1 ~ 120 分の間に変更できます。印刷速度が 1 分あたり 30 ページ以下の場合、タイムアウトは 60 分まで設定できます。[スリープモードタイムアウト]を低い値に設定すると電力消費量を下げることができます、本機の応答時間が長くなる場合があります。[スリープモードタイムアウト]を高い値に設定すると、応答が速くなりますが、電力消費量が多くなります。

休止モード

この製品には、休止モードと呼ばれる超低電力動作モードがあります。休止モードで動作中は、他のシステムやデバイスの電源を安全に切れる状態です。

休止モードに切り替えるには、次のいずれかの方法を使用します。

- 休止モードを使用する
- 電力モードの定期実行を使用する

すべての国または地域におけるこの製品の工場出荷時の休止タイムアウト値 3 日

ジョブが印刷された後から休止モードに切り替わるまでプリンタが待機する時間は、1 時間～1 か月の範囲で設定できます。

EPEAT に登録されているイメージング機器製品に関する注意事項:

- 休止モードまたはオフモードの場合、待機電力レベルになります。
- 本製品は、自動的に待機電力レベル(1 W 以下)に下がります自動スタンバイ機能(休止またはオフ)は、製品出荷時に有効になっています。

オフモード

オフモードでも、わずかながら電力を消費します。製品の電力消費を完全になくすには、電源コードをコンセントから抜いてください。

総消費電力

本製品の総消費電力を見積もある必要がある場合があります。消費電力はワット単位で示されているので、総消費電力を計算するには、プリンタの各モードでの消費電力に使用時間を乗じます。プリンタの総消費電力は、各モードでの消費電力の合計です。

通信端末機器の規制に関する通知

このセクションでは、アナログファクシミリカードを含む製品の規制に関する情報を提供しています。

Lexmark 規制タイプ/モデル番号:

LEX-M14-002 または LEX-M03-002

日本における通信に関する通知

内蔵のオプションモデムは日本の電気通信法に準拠し、以下の証明書番号によって電気通信端末機器審査協会による認証を受けています。

A18-0046001 または A11-0160001

	Lexmark International, Inc.
	LEX-M14-002 または LEX-M03-002
	A18-0046001 または A11-0160001

ワイヤレス製品に関する規制通知

このセクションに記載されている規制情報はワイヤレスモデルにのみ適用されます。

お使いのモデルがワイヤレスモデルかどうかを判別できない場合は <http://support.lexmark.com> を参照してください。

モジュールコンポーネントに関する通知事項

ワイヤレスモデルには、以下のモジュールコンポーネントのいずれか 1 点が搭載されています。

Lexmark 規制タイプ/モデル番号 LEX-M07-001、FCC ID:IYLLEXM07001、Industry Canada IC:2376A-LEXM07001

Lexmark 規制タイプ/モデル番号 LEX-M08-001、FCC ID:IYLLEXM08001、カナダ産業省(IC)規則:2376A-LEXM08001

お使いの製品に搭載されているモジュールコンポーネントを確認するには、実際の製品に貼付されているラベルを参照してください。

高周波エネルギーの放射に対する被爆

この装置の高周波放射出力は、FCC およびその他の監督機関の高周波エネルギーに対する被爆制限値よりはるかに低いものです。アンテナおよび人体から本機器までの距離を最低 20 cm(8 インチ)確保することにより、FCC の高周波エネルギーに対する被爆制限を満たすことができます。

日本の VCCI 規定

製品にこのマークが表示されている場合、次の要件を満たしています。



この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

索引

数字

1枚の用紙に複数ページをコピーする 27

アルファベット

ADF からスキャンしたときに出力に縦方向の濃い縞が入る 193

ADF(自動原稿フィーダ)内の紙詰まり 150

ADF セパレーターローラー
交換 134

ADF 登録
調整 196

ADF 登録を調整する 196

ADF を使用
コピー 25

AirPrint
使用 23

etherFAX、使用する
FAX 機能を設定する 39

etherFAX を使用した FAX 機能の設定 39

etherFAX を使用して FAX を送受信できない 189

E メール

ショートカットを作成する 35

送信 36

原稿台ガラスを使用 28

自動原稿フィーダ(ADF)の使用 28

E メール機能

セットアップ 28

E メールサーバー
設定 28

E メールサーバー設定を構成する 28

E メールサービスプロバイダ 28

E メールショートカットを作成する 35

E メールに関するトラブルシューティング

E メールを送信できない 186

E メールを送信する 36

E メールを送信できない 186

Fax

スケジュール 45

送信 44

転送 47

保留 47

FAX

原稿台ガラスを使用 44
自動原稿フィーダ(ADF)の使用 44

ショートカットを作成する 46
日付および時刻の設定 44

Fax 宛先ショートカットを作成 46

FAX 解像度

変更 46

FAX 送付状ページに情報がない 191

FAX ドライバ

設置 204

FAX ドライバをインストールする 204

FAX の初期設定

国または地域固有 41

標準電話回線接続 39

FAX の設定

国または地域固有 41

標準電話回線接続 39

FAX の濃度

調整 46

FAX の濃度を調整する 46

FAX の保留 47

FAX の問題に対処する

etherFAX を使用して FAX を送受信できない 189

etherFAX を設定できない 187

FAX 送付状ページに情報がない 191

アナログ FAX を使用して FAX を送受信できない 190

アナログ FAX を使用して FAX を送受信できない 188

アナログ FAX を使用して FAX を送信できない 190

コンピュータから FAX 送付状ページを送信できない 192

受信した FAX の印刷品質が悪い 191

発信者 ID が表示されない 187

FAX ポート 12

FAX ログ

印刷 47

FAX を送信 44

FAX を転送する 47

FCC 通知 213

FTP アドレス

ショートカットを作成する 50

FTP サーバー

スキャン 51

FTP ショートカットを作成する 50

HTTP/FTP の設定メニュー 104

Lexmark ScanBack ユーティリティ

使用 49

Lexmark 以外の消耗品 182

Lexmark の純正部品と純正消耗品 122

Lexmark の純正部品と純正消耗品を使用する 122

Lexmark モバイル印刷

使用 23

LINE ポート 12

Mopria プリントサービス 23

RJ11 アダプタ 41

SMTP 設定

設定 28

USB ポート 12

有効化 181

USB ポートを有効にする 181

Wi-Fi Protected Setup

ワイヤレスネットワーク 116

wifi ダイレクト

設定 117

モバイルデバイスから印刷する 24

有効化 117

wifi ダイレクトを設定する 117

wifi ダイレクトを有効化 117

Wi-Fi ネットワーク

無効化 118

Wi-Fi ネットワークの無効化 118

あ行

アダプタプラグ 41

厚紙のサイズを設定する 15

アナログ FAX

セットアップ 38

アナログ FAX を使用して FAX を送受信できない 188

アナログ FAX を使用して FAX を送信できるが受信できない 190

安全に関する情報 6, 7, 8

イーサネットポート 12
イメージングユニット
交換 126
注文 123
印刷
FAX ログ 47
Mopria プリントサービスを使用する 23
wifi ダイレクトを使用する 24
コンピュータから 23
品質テストページ 112
フォントサンプルリスト 24
メニュー設定ページ 112
モバイルデバイスから 23, 24
印刷が薄い 161
印刷が濃い 154
印刷が歪む 165
印刷後の背景がグレーになる 158
印刷ジョブが印刷されない 175
印刷の縦方向のすじ 171
印刷のドット 162
印刷の問題に対処する
印刷が遅い 177
印刷時に封筒の封が閉じられる 183
印刷ジョブが印刷されない 175
紙詰まりが発生したページが再印刷されない 186
コンフィデンシャルドキュメントおよびその他の保留ドキュメントが印刷されない 175
ジョブが正しくないトレイから印刷される 176
ジョブが正しくない用紙で印刷される 176
正しくないマージン 160
トレイのリンクが動作しない 184
頻繁な紙詰まり 185
部単位印刷が動作しない 184
印刷品質の問題 152
印刷品質の問題に対処する
印刷が薄い 161
印刷が濃い 154
印刷が歪む 165
印刷後の背景がグレーになる 158
印刷品質の問題 152
空白または白のページ 153
繰り返し発生する異常 174
細かい線が正しく印刷されない 156
縦方向の薄い帯 173

縦方向の黒い帯 169
縦方向の黒いすじが現れて印刷が抜ける 172
縦方向の黒い線またはすじ 171
縦方向の白い線 173
トナーが簡単にはがれ落ちる 169
ページが真っ黒になる 166
まだらな印刷やドット 162
文字または画像が切り取られる 167
歪んだ印刷 165
用紙が折れ曲がったりしわがよつたりする 157
用紙が巻いてしまう 163
横方向の薄い帯 159
印刷物に縦の濃い線が出力される 171
インジケータランプ
状態について理解する 14
オプションカード
設置 200
オプションカードを取り付ける 200

か行

解像度を変更する
Fax 46
カスタマサポート
問い合わせ 196
カスタマサポートに問い合わせる 196
カートリッジを交換してください。プリンタの地域設定が一致しません 182
紙詰まり
防止 140
紙詰まりが発生したページが再印刷されない 186
紙詰まり、取り除く
自動原稿フィーダ(ADF)内 150
多目的フィーダー 149
トレイ 149
標準排紙トレイ内 147
両面印刷ユニット内 148
背面アクセスドア内 146
紙詰まりの場所を特定する 141
紙詰まりを取り除く
ドア A 内 142
紙詰まりを防止する 140
環境設定 137
揮発性
記述 114

揮発性に関する記述 114
揮発性メモリ 114
消去 113
空白ページ 153
ケーブル
USB 12
イーサネット 12
ケーブルを接続する 12
原稿台ガラス
使用 25, 28, 44, 49
原稿台ガラスを使用 25, 28, 44, 49
コピー 25
個人 ID 番号方式 116
コピー
原稿台ガラスを使用 25
自動原稿フィーダ(ADF)の使用 25
ショートカットを作成する 27
用紙の両面 26
レターへッド紙 26
コピーの拡大 26
コピーの区切りとしてセパレータ紙を挿入する
コピー 27
コピーの縮小 26
コピーの問題に対処する
コピー品質が悪い 193
スキャナが応答しない 195
文書や写真の一部分しかコピーされない 193
コピーを作成する 25
細かい線が正しく印刷されない 156
コントロールパネル
使用 13
コンピュータ
プリンタに接続する 118
コンピュータから FAX 送付状ページを送信できない 192
コンピュータから印刷する 23
コンピュータ、スキャン先 49
コンピュータにプリンタを追加する 204
コンピュータをプリンタに接続する 118

さ行

サイズの異なる用紙、コピー 25
サイズの異なる用紙をコピーする 25
サポートされている FAX 37

サポートされている用紙サイズ 19
サポートされている用紙タイプ 20
サポートされている用紙の重さ 21
自動原稿フィーダー(ADF)
 使用 25, 28, 44, 49
自動原稿フィーダ(ADF)の使
用 25, 28, 44, 49
写真
 コピー 25
写真をコピーする 25
消耗品
 状態を確認する 121
 節約 138
消耗品使用量カウンタ
 リセット 182
消耗品使用量カウンタをリセットす
る 182
消耗品通知
 設定 123
消耗品通知を設定する 123
消耗品を交換する
 イメージングユニット 126
 トナーカートリッジ 124
消耗品を節約する 138
消耗品を注文する
 トナーカートリッジ 122
初期状態のデフォルトを復元す
る 114
ショートカットコピーを作成する 27
ショートカットを作成する
 E メール 35
 Fax 宛先 46
 FTP アドレス 50
 コピー 27
 ネットワークフォルダ 51
シリアル番号、プリンタ
 確認 10
 白い線 173
 白のページ 153
スキャナ
 清掃 119
 スキャナが閉じない 195
 スキャナを清掃する 112, 119
スキャン
 FTP サーバーへ 51
 原稿台ガラスを使用 49
 コンピュータ 49
 自動原稿フィーダ(ADF)の使
 用 49
 スキャンの品質問題 193

スキャンの問題に対処する
 ADF からスキャンしたときに出力
 に縦方向の濃い縞が入る 193
 コピー品質が悪い 193
 コンピュータからスキャンできな
 い 192
 スキャナが応答しない 195
 スキャンジョブが失敗しまし
 た 194
 スキャンに時間がかかりすぎ
 る 195
 スキャンによってコンピュータがフ
 リーズする 195
 文書や写真の一部分しかコピー
 されない 193
スケジュールした FAX 45
スリープモード
 設定 137
清掃
 プリンタの外観 118
 プリンタの内部 118
セキュリティスロット
 場所 113
セキュリティスロットの場所 113
設定ファイルをインポートする
 内蔵 Web サーバーを使用す
 る 205
設定ファイルをエクスポートする
 内蔵 Web サーバーを使用す
 る 205
セットアップ
 アナログ FAX 38
専用紙
 用紙サイズを設定する 15
 用紙タイプを設定する 15
騒音レベル 208
操作パネルを使用する 13

た行

対処、印刷品質
 印刷が薄い 161
 印刷が濃い 154
 印刷が歪む 165
 印刷後の背景がグレーにな
 る 158
 空白または白のページ 153
 繰り返し発生する異常 174
 細かい線が正しく印刷されな
 い 156
 縦方向の薄い帯 173
 縦方向の黒い帯 169

縦方向の黒いすじが現れて印刷
 が抜ける 172
縦方向の黒い線またはすじ 171
縦方向の白い線 173
トナーが簡単にはがれ落ち
 る 169
ページが真っ黒になる 166
まだらな印刷やドット 162
文字または画像が切り取られ
 る 167
歪んだ印刷 165
用紙が折れ曲がったりしわがよつ
 たりする 157
用紙が巻いてしまう 163
横方向の薄い帯 159
正しくないマージン 160
多目的フィーダー
 用紙をセット 17
多目的フィーダ内の紙詰まり 149
着信識別サービス、FAX
 有効化 43
着信識別サービスへの接続 43
注文
 イメージングユニット 123
丁合印刷する 26
調整
 スキャナ登録 196
通知 208, 209, 210, 211, 213
[データ完全消去]メニュー 61
電源ボタンのランプ
 状態について理解する 14
電力節約モード
 設定 137
ドア A 内の紙詰まり 142
ドキュメント、印刷
 コンピュータから 23
 モバイルデバイスから 23
トナーカートリッジ
 交換 124
 注文 122
トナーの濃さ
 調整 179
トナーの濃さを調整する 179
トラブルシューティング、E メール
 E メールを送信できない 186
トレイ
 設置 202
 用紙をセット 15
 リンク 18
 リンク解除 18
トレイ内の紙詰まり 149
トレイのリンク 18

トレイのリンク解除 18

な行

内蔵 Web サーバーを開けない 180
内蔵オプション
 設置 200
 フォントカード 198
 メモリカード 198
 ユーザー・フラッシュメモリ 198
内蔵オプション、追加
 プリントドライバ 205
内蔵オプションを追加する
 プリントドライバ 205
内部オプションが検出されません 181
夏時間
 設定 44
夏時間を設定する 44
二酸化炭素排出量に関する通知 208, 213
ネットワーク設定ページを印刷する 181
ネットワークフォルダ
 ショートカットを作成する 51

は行

ハイバネートモード
 設定 137
背面アクセスマウントアッセンブリ 146
ハードウェアオプション
 トレイ 202
ハードウェアオプション、追加
 プリントドライバ 205
ハードウェアオプションを追加する
 プリントドライバ 205
ピックタイヤ
 交換 128
ピックタイヤの交換 128
ピックローラーアセンブリ
 交換 130
ピックローラーアセンブリを交換する 130
日付/時刻
 FAX 設定 44
ファームウェア、更新 206
ファームウェアを更新する 206
封筒のサイズを設定する 15
封筒をセットする
 多目的フィーダー 17

フォントサンプルリスト
 印刷 24
フォントサンプルリストを印刷する 24
不揮発性メモリ 114
 消去 113
複数のページをコピーする 27
複数部をソートする 26
部単位印刷が動作しない 184
プッシュボタン方式 116
部品と消耗品の状況を確認する 121
部品を交換する
 ADF セパレーターローラー 134
プリンタ
 最小スペース 10
 設置場所を選択する 10
 搬送 137
プリンタオプションの問題に対処する
 内蔵オプションが検出されない 181
プリンタが応答していない 178
プリンタ構成 11
プリンタ情報
 確認 9
プリンタ設定
 工場出荷状態に復元 114
プリンタ設定を出荷時初期設定に復元する 114
プリンタソフトウェア
 設置 203
プリンタソフトウェアをインストールする 203
プリンタに関する情報を見つける 9
プリンタの状況 14
プリンタのシリアル番号
 確認 10
プリンタの清掃 118
プリンタの接続を確認する 181
プリンタの設置場所を選択する 10
プリンタの部品
 状態を確認する 121
プリンタポート 12
プリンタメッセージ
 Lexmark 以外の消耗品 182
 カートリッジを交換してください。プリンタの地域設定が一致しません 182
プリンタメニュー 52
プリンタメモリを消去する 113

プリンタを移動する 10, 136
プリンタを接続する
 ワイヤレスネットワークに 115
プリンタを着信音に割り当てる 43
プリンタを搬送する 137

プリントドライバ
 設置 203
 ハードウェアオプション、追加 205
プリントドライバをインストールする 203
ヘルプメニュー 112

ま行

まだらな印刷 162
迷惑 FAX
 ロック 47
迷惑 FAX のロック 47
メニュー
 802.1x 103
E メール初期値設定 85
E メール設定 84
FAX 111
FAX 受信設定 79
FAX 送信設定 76
FAX 送付状ページ 82
FAX モード 75
FAX ログ設定 82
FTP 初期値設定 91
Google クラウド プリント 105
HTML 68
HTTP/FTP の設定 104
IPSec 102
LPD 設定 103
PCL 66
PDF 66
PostScript 66
SNMP 101
TCP/IP 100
ThinPrint 104
USB 105
Web リンク設定 90
wifi ダイレクト 106
XPS 65
イーサネット 98
一般 FAX 設定 75
印刷 111
印刷品質 63
エコモード 54
遠隔操作パネル 54
カスタムスキャンサイズ 71
画像 69

基本設定 53
工場出荷状態に復元 58
このプリンタについて 61
コピー初期設定 71
コンフィデンシャル印刷設定 109
ショートカット 111
ジョブアカウント 64
スピーカー設定 83
セキュリティ監査ログ 106
設定メニュー 58
セットアップ 63
その他 110
ソリューション LDAP 設定 109
通知 55
デバイス 110
電源管理 56
匿名データの収集 57
トレイ構成設定 69
ネットワーク 111
ネットワークの概要 95
ホーム画面アイコンの表示 61
未使用時の消去 61
メニュー設定ページ 110
モバイルサービスの管理 110
問題に対処する 112
ユニバーサル設定 70
用紙の種類 71
レイアウト 62
ログイン制限 108
ワイヤレス 96
メニュー設定ページ
 印刷 112
メモリ
 プリンタに取り付けられたタイプ 114
メモリカード
 設置 198
メモリカードを取り付ける 198
モバイルデバイス
 印刷 23, 24
 プリンタに接続する 117
モバイルデバイスを接続する
 プリンタに 117
問題に対処する
 印刷品質の問題 152
 内蔵 Web サーバーを開けない 180
 プリンタが応答していない 178
問題に対処する、FAX
 etherFAX を使用して FAX を送受信できない 189
 etherFAX を設定できない 187

FAX 送付状ページに情報がない 191
アナログ FAX を使用して FAX を送受信できない 188
アナログ FAX を使用して FAX を送信できない 190
コンピュータから FAX 送付状ページを送信できない 192
受信した FAX の印刷品質が悪い 191
発信者 ID が表示されない 187
問題に対処する、印刷
 印刷が遅い 177
 印刷時に封筒の封が閉じられる 183
 印刷ジョブが印刷されない 175
 紙詰まりが発生したページが再印刷されない 186
 コンフィデンシャルドキュメントおよびその他の保留ドキュメントが印刷されない 175
 ジョブが正しくないトレイから印刷される 176
 ジョブが正しくない用紙で印刷される 176
 正しくないマージン 160
 トレイのリンクが動作しない 184
 頻繁な紙詰まり 185
 部単位印刷が動作しない 184
問題に対処する、コピー
 コピー品質が悪い 193
 スキャナが応答しない 195
 スキャナが閉じない 195
 文書や写真の一部分しかコピーされない 193
問題に対処する、スキャン
 ADF からスキャンしたときに出力に縦方向の濃い縞が入る 193
 コピー品質が悪い 193
 コンピュータからスキャンできない 192
 スキャナが応答しない 195
 スキャナが閉じない 195
 スキャンジョブが失敗しました 194
 文書や写真の一部分しかコピーされない 193
問題に対処する、プリンタオプション
 内蔵オプションが検出されない 181

や行

歪んだ印刷 165
ユニバーサル用紙設定
 設定 15
ユニバーサル用紙設定を構成する 15
用紙が巻いてしまう 163
用紙節約 27
用紙にしわがよる 157
用紙の折れ曲がり 157
用紙の種類メニュー 71
用紙をセット
 多目的フィーダー 17
用紙をトレイにセットする 15

ら行

ラベルのサイズを設定する 15
リサイクル
 Lexmark 梱包 138
 Lexmark 製品 138
リセット
 消耗品使用量カウンタ 182
両面印刷ユニット内の紙詰まり 148
両面コピー 26
留守番電話
 セットアップ 39
レターヘッド
 コピー 26

わ行

ワイヤレスネットワーク 115
Wi-Fi Protected Setup 116
プリンタに接続する 115
無効化 118
ワイヤレスネットワークに接続する
 PIN 方式を使用する 116
 プッシュボタン方式を使用する 116
ワイヤレスメニュー 96